

宇治市教育振興基本計画策定のための

アンケート調査

集計報告書

平成 25 年 5 月

宇 治 市

目 次

調査概要	1
調査結果	3
1. 市立幼稚園 4 歳児クラスの保護者	4
回答者について	4
1-1. 幼稚園の教育について	5
1-2. 進学する小学校について	8
1-3. 宇治市の教育行政への意見・提案	10
2. 小・中学生の保護者	11
回答者について	11
2-1. 小・中学校の教育について	13
2-2. 家庭・学校・地域との連携について	22
2-3. いじめの問題への対策について	26
2-4. 宇治市の教育行政への意見・提案	28
3. 小・中学生	29
回答者について	29
3-1. 学校のことについて	31
3-2. 日常生活のことについて	36
3-3. いじめのことについて	40
3-4. 地域のことについて	44
4. 市立幼稚園長	47
4-1. 教育内容について	47
4-2. 学社連携について	48
4-3. 教員の資質向上に関する事	49
4-4. 宇治市の教育行政に関する事	50
5. 学校長、小中一貫教育コーディネーター	51
5-1. 教育内容について	51

5-2 . 学社連携について	53
5-3 . いじめに関すること	55
5-4 . 非行・不登校対策に関すること	56
5-5 . 教員の資質向上に関すること	57
5-6 . 宇治市の教育行政に関すること	57
6 . 適応指導教室職員、特別支援教育コーディネーター、指導主事	58
6-1 . ご自身の活動について	58
6-2 . 活動分野における課題と改善策について	59
6-3 . 家庭・学校・地域との連携について	62
7 . 団体代表者	64
7-1 . 団体の活動について	64
7-2 . 活動分野における課題と改善策について	66
7-3 . 家庭・学校・地域との連携について	70
8 . 市民	72
回答者について	72
8-1 . 生涯学習について	76
8-2 . 図書館について	80
8-3 . 歴史・文化財について	83
8-4 . スポーツ環境について	91
8-5 . 家庭・学校・地域との連携について	96
8-6 . 人権について	102
8-7 . 宇治市の教育行政への意見・提案	103

調査概要

1. 調査の目的

この調査は、今年度に策定する「宇治市教育振興基本計画」の基礎資料として、市民及び関係者の市教育行政に対する意見・提案を把握するために実施したものである。

2. 調査の実施概要

調査の実施概要は以下のとおり。

調査対象	配布数	回答数	回答率	調査期間・調査方法
市立幼稚園 4 歳児クラスの保護者	105	93	88.6%	平成 25 年 3 月 11 日 ~ 平成 25 年 3 月 19 日 幼稚園、学校を通じて 配付・回収
小・中学生の保護者	953	678	71.1%	
小学生・中学生	953	924	97.0%	
市立幼稚園長	4	4	100.0%	
学校長 小中一貫教育コーディネーター	64	54	84.4%	
適応指導教室職員 特別支援教育コーディネーター 指導主事	47	32	68.1%	
教育関係団体代表者	15	15	100.0%	
市民	1,000	372	37.2%	平成 25 年 3 月 11 日 ~ 平成 25 年 4 月 3 日 郵送配付・回収
合計	3,141	2,172	69.2%	

3. 報告書の読み方

報告書を読む際の留意点は以下のとおり。

「n」は「Number of case」の略で、設問の回答者数（構成比算出の母数）を示す。

設問の中には回答者が限定される「限定設問」があり、その場合の「n」（設問の回答者数）は該当者数となる。

「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示す。

本文及び図表の数値は、回答者数（限定設問においては該当者数）を 100% として算出し、小数第 1 位（小数第 2 位以下を四捨五入）で示す。複数回答の設問では各比率合計が 100% を超えることがある。

図表中の「0.0」は四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示す。

設問の回答者数（該当者数）が少数の場合の比率は統計的誤差が大きい可能性があり、数値の取扱いには注意が必要となる。

選択肢の語句が長い場合は省略した表現を用いている。

地域別集計は、小・中学校それぞれを 3 地域（中宇治、西宇治、東宇治）に区分している。地域別の人数は地域を回答していない人がいるため、地域別人数の合計と全体の人数は一致しない場合がある。

その他のクロス集計（回答者属性別集計）についても、属性を回答していない人がいるため、各項目人数の合計と全体の人数は一致しない場合がある。

調查結果

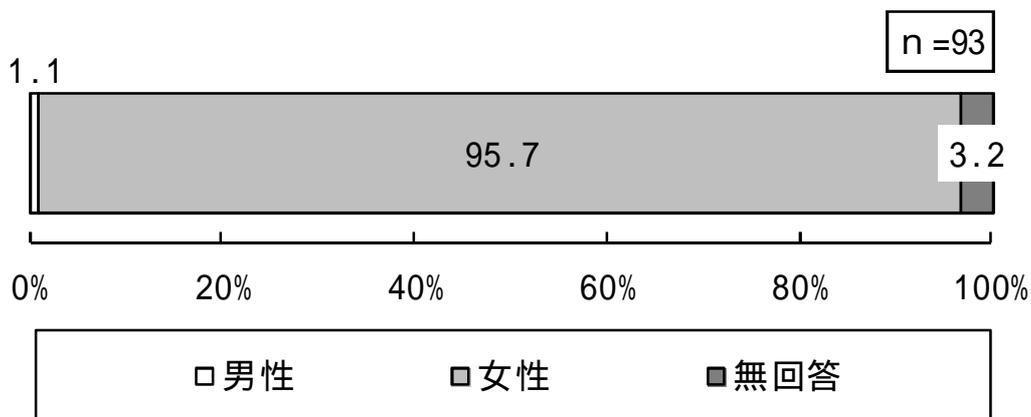
1 . 市立幼稚園4歳児クラスの保護者

回答者について

問1 はじめに、あなた自身にあてはまる番号を選んで下さい。(それぞれ1つに)

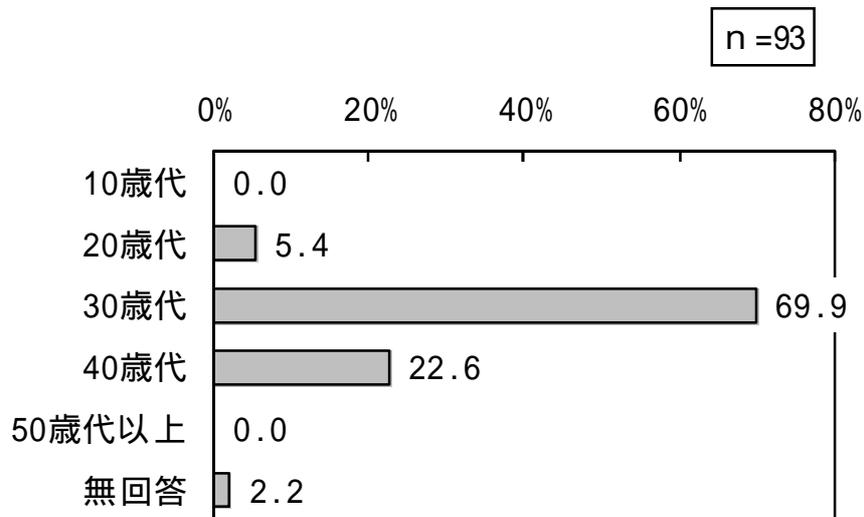
ア 性別

性別は、「女性」95.7%、「男性」1.1%。



イ 年齢

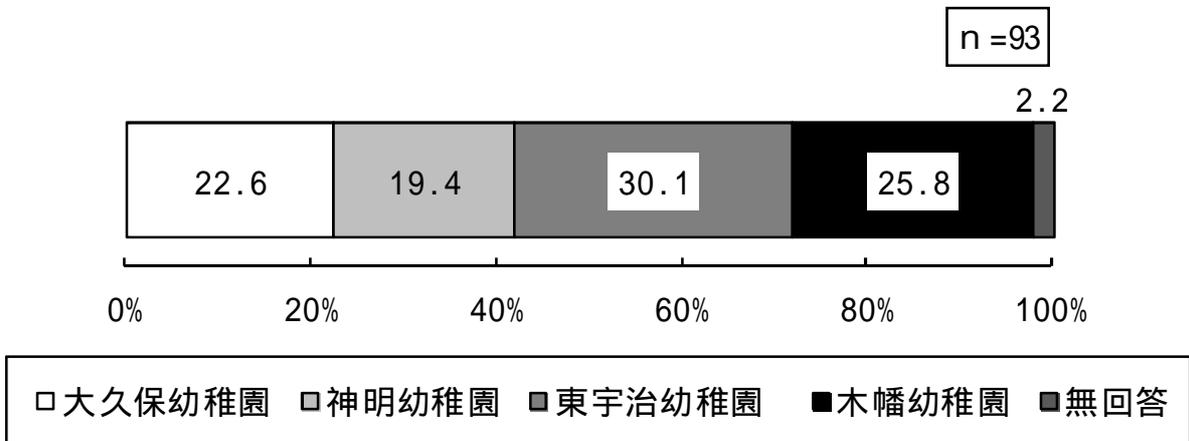
年齢は、「30歳代」69.9%が最も多く、次いで「40歳代」22.6%、「20歳代」5.4%と続く。



【 1 . 市立幼稚園 4 歳児クラスの保護者】

ウ お子さんの幼稚園

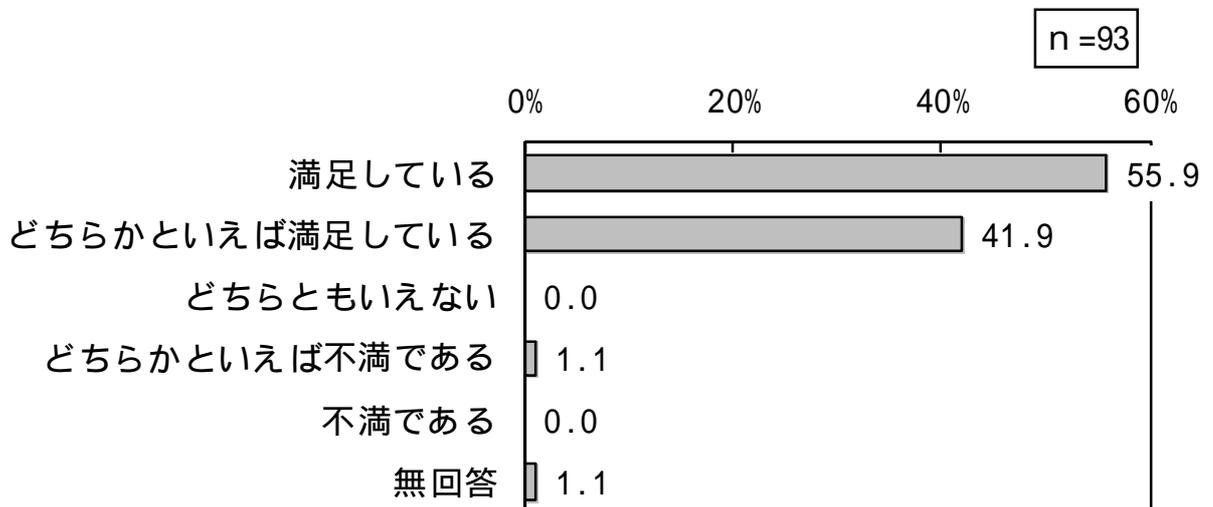
お子さんの幼稚園は、「東宇治幼稚園」30.1%が最も多く、次いで「木幡幼稚園」25.8%、「大久保幼稚園」22.6%と続く。



1 - 1 . 幼稚園の教育について

問2 お子さんが通っている幼稚園の教育について、全体としては満足していますか。(1つに)

子どもが通っている幼稚園の教育についての満足度は、「満足している」97.8% (「満足している」55.9% + 「どちらかといえば満足している」41.9%)。



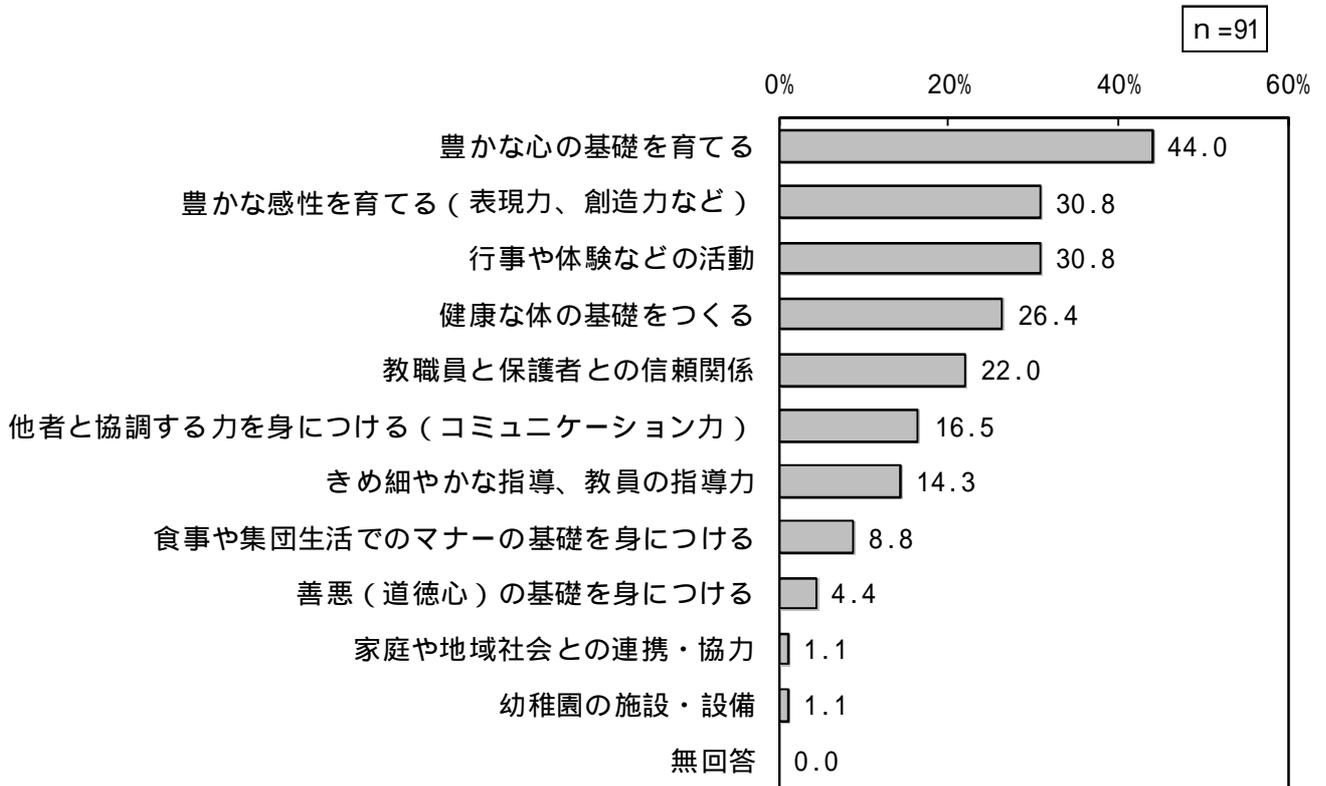
問2 付問 問2で「どちらかといえば不満である」または「不満である」と答えた人に聞きます。どのような点に不満を感じますか。(主なもの2つまでに)

子どもが通っている幼稚園の教育について不満な方のうち、不満な点は「きめ細やかな指導、教員の指導力」、「教職員と保護者との信頼関係」ともに 100.0%となっている。(回答者1人)

【 1 . 市立幼稚園 4 歳児クラスの保護者】

問2付問 問2で「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えた人に聞きます。どのような点に満足していますか。(主なものを2つまでに)

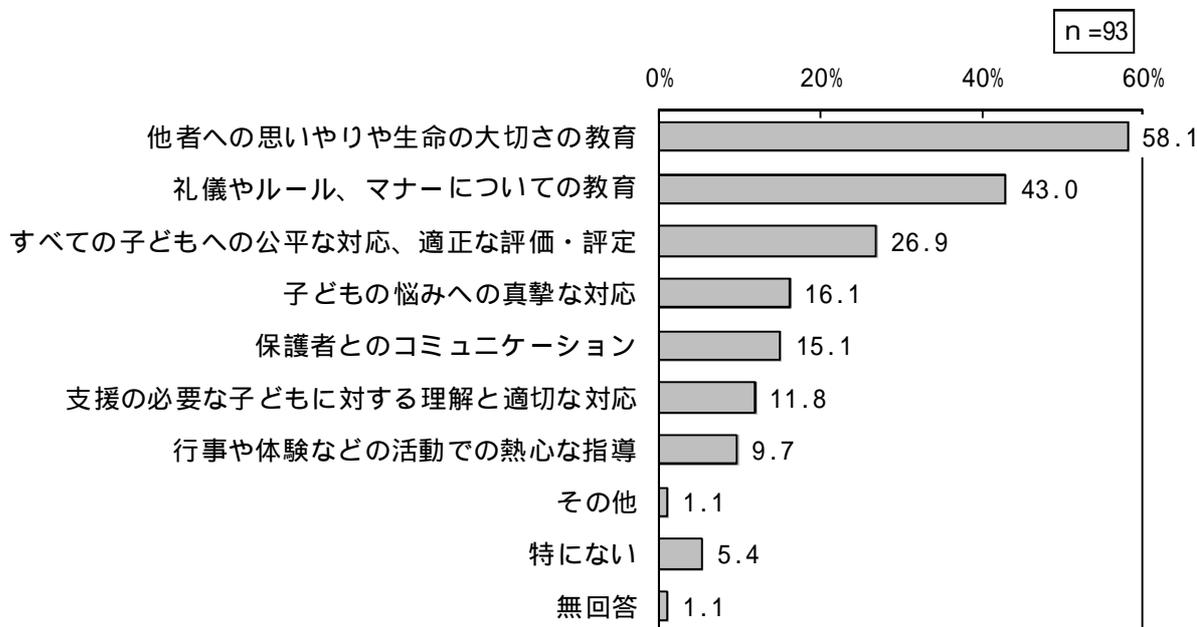
子どもが通っている幼稚園の教育について、満足している方のうち、満足している点は、「豊かな心の基礎を育てる」44.0%が最も多く、次いで「豊かな感性を育てる」、「行事や体験などの活動」とともに30.8%、「健康な体の基礎をつくる」26.4%と続く。



【 1 . 市立幼稚園 4 歳児クラスの保護者 】

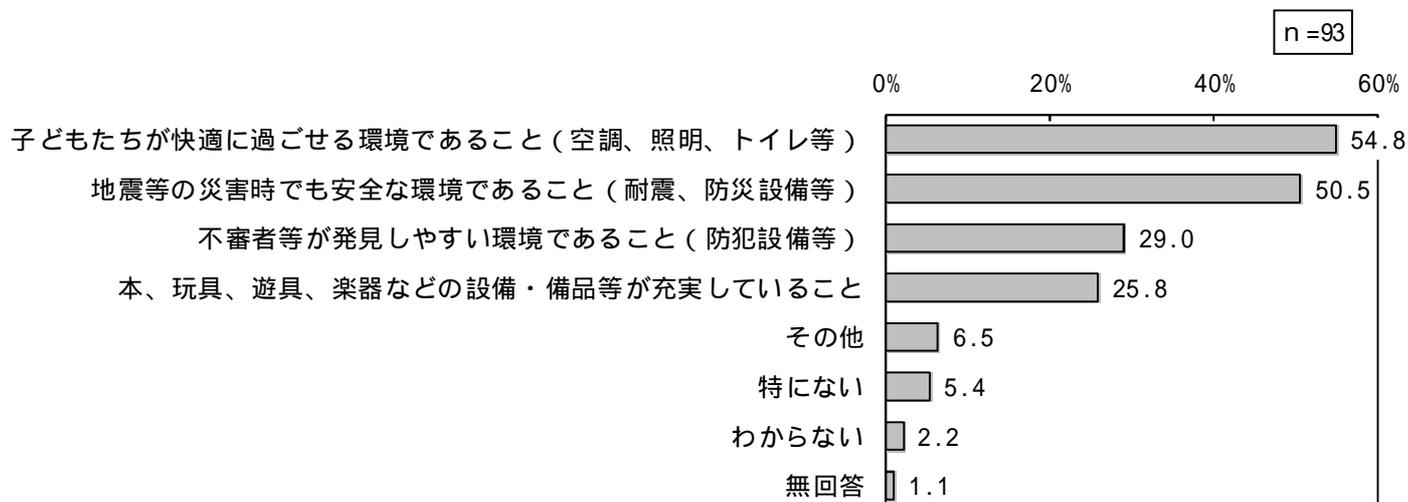
問3 幼稚園の教職員に、特に期待することはありますか。（主なもの2つまでに ）

幼稚園の教職員に期待することは、「他者への思いやりや生命の大切さの教育」58.1%が最も多く、次いで「礼儀やルール、マナーについての教育」43.0%、「すべての子どもへの公平な対応、適正な評価・評定」26.9%と続く。



問4 幼稚園の施設・設備で、特に充実して欲しいことはありますか。（主なもの2つまで ）

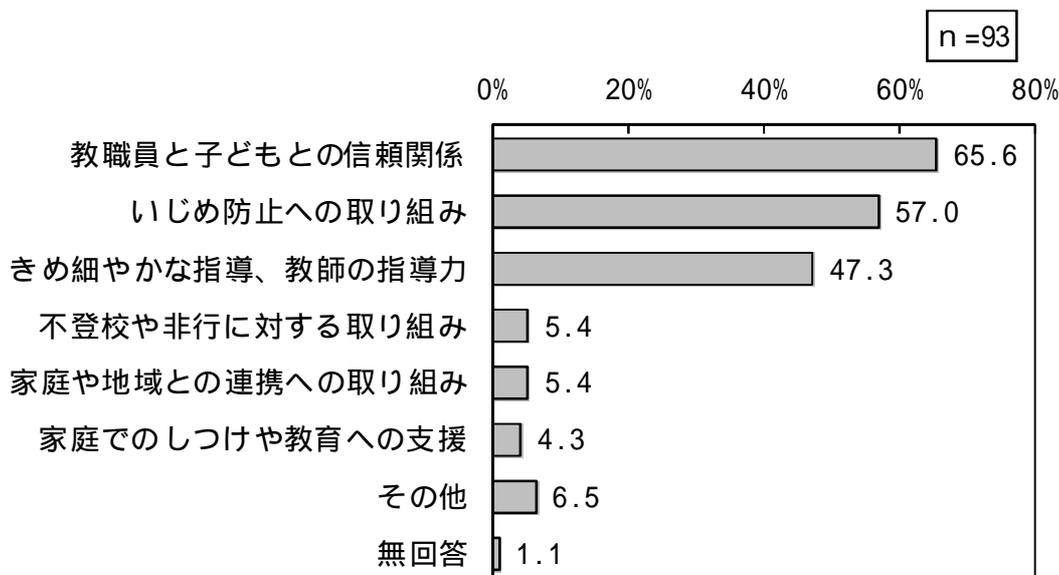
幼稚園の施設・設備で特に充実して欲しいことは、「子どもたちが快適に過ごせる環境であること」54.8%が最も多く、次いで「地震等の災害時でも安全な環境であること」50.5%、「不審者等が発見しやすい環境であること」29.0%と続く。



1 - 2 . 進学する小学校について

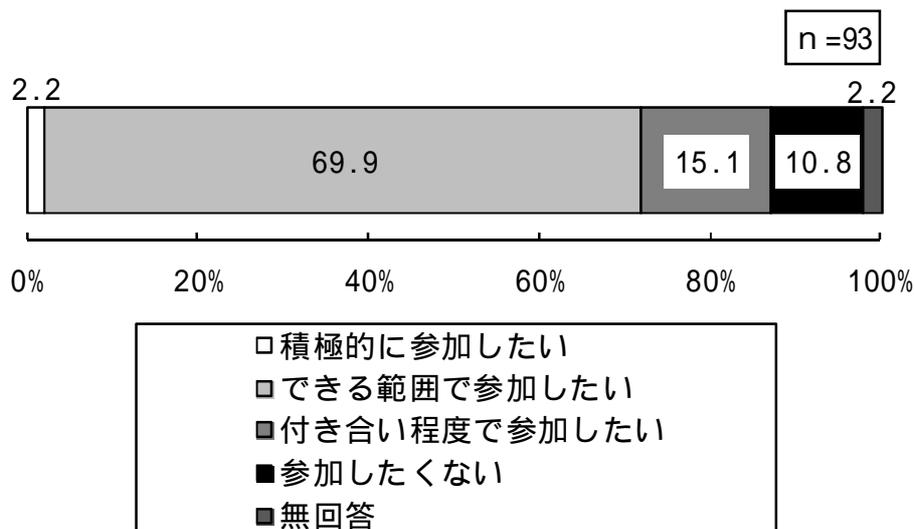
問5 お子さんが進学する学校には、学力以外でどのようなことを望みますか。(主なもの2つまで)

子どもが進学する学校で、学力以外に望むことは、「教職員と子どもとの信頼関係」65.6%が最も多く、次いで「いじめ防止への取り組み」57.0%、「きめ細やかな指導、教師の指導力」47.3%と続く。



問6 小学校では、PTA 活動に参加したいと思いますか。(1つに)

小学校での PTA 活動への参加について、「できる範囲で参加したい」69.9%が最も多く、次いで「付き合い程度で参加したい」15.1%、「参加したくない」10.8%と続く。



【 1 . 市立幼稚園 4 歳児クラスの保護者】

問7 学齢期の子どもたちの成長・発達のための、家庭及び保護者・学校・地域の役割分担について、
項目毎に最も重要な役割と思うものに「1」を、次いで重要な役割に「2」をつけてください。

<p>ケース1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目</p>	<p>ア 学力の基礎・基本を身につける エ いじめを決して許さない態度を育てる オ 良好な人間関係をつくる力を育てる キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にすることを育てる</p>
<p>ケース2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目</p>	<p>イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる カ 自発的に行動する意欲を育てる ク 生まれ育った地域を愛することを育てる ケ 自然を大切にすることを育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける</p>

(上段：人数 下段：割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
網掛けは最重要、重要それぞれの第1位									
ア 学力の基礎・基本を身につける	93 100.0	12 12.9	79 84.9	0 0.0	2 2.2	78 83.9	8 8.6	0 0.0	7 7.5
イ 社会のマナーやルールを教える	93 100.0	76 81.7	14 15.1	0 0.0	3 3.2	12 12.9	70 75.3	1 1.1	10 10.8
ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる	93 100.0	80 86.0	11 11.8	0 0.0	2 2.2	10 10.8	73 78.5	1 1.1	9 9.7
エ いじめを決して許さない態度を育てる	93 100.0	34 36.6	57 61.3	0 0.0	2 2.2	53 57.0	29 31.2	2 2.2	9 9.7
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	93 100.0	36 38.7	55 59.1	0 0.0	2 2.2	53 57.0	29 31.2	3 3.2	8 8.6
カ 自発的に行動する意欲を育てる	93 100.0	55 59.1	35 37.6	0 0.0	3 3.2	33 35.5	50 53.8	2 2.2	8 8.6
キ 運動能力や体力を向上させる	93 100.0	14 15.1	74 79.6	2 2.2	3 3.2	68 73.1	12 12.9	6 6.5	7 7.5
ク 生まれ育った地域を愛することを育てる	93 100.0	48 51.6	17 18.3	24 25.8	4 4.3	25 26.9	44 47.3	16 17.2	8 8.6
ケ 自然を大切にすることを育てる	93 100.0	66 71.0	19 20.4	5 5.4	3 3.2	18 19.4	59 63.4	5 5.4	11 11.8
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	93 100.0	89 95.7	3 3.2	0 0.0	1 1.1	3 3.2	82 88.2	0 0.0	8 8.6
サ 他国の文化を大切にすることを育てる	93 100.0	19 20.4	62 66.7	6 6.5	6 6.5	51 54.8	15 16.1	16 17.2	11 11.8

1 - 3 . 宇治市の教育行政への意見・提案

問8 市の教育行政に対するご意見・ご提案がありましたら、ぜひ、お聴かせ下さい。（自由記入）

（複数意見の要約記載）

要望（3年保育、預かり（延長）保育、支援の必要な児童への対応、私立幼稚園との格差是正）

教職員に対する感謝 など

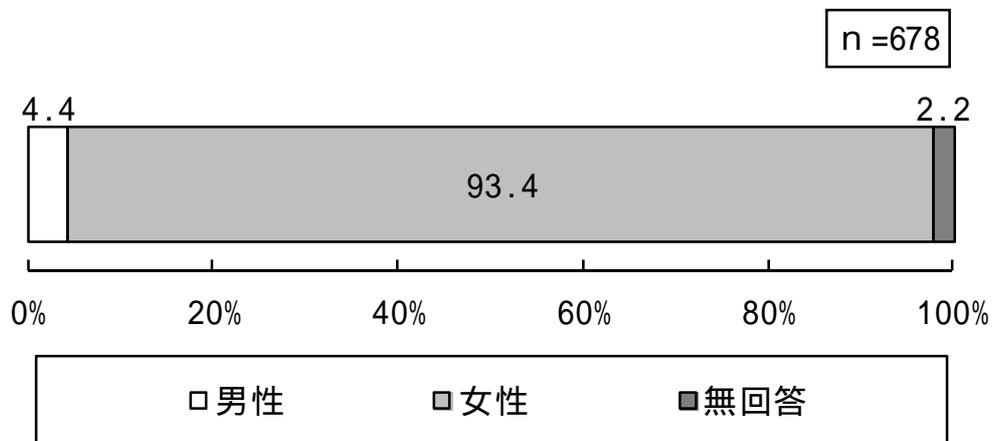
2 . 小・中学生の保護者

回答者について

問1 はじめに、あなた自身にあてはまる番号を選んで下さい。(それぞれ1つに)

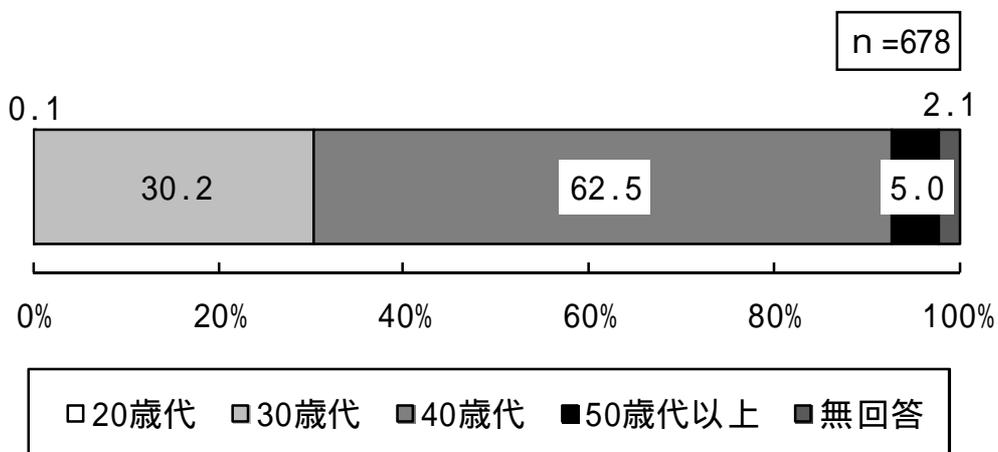
ア 性別

性別は、「女性」93.4%、「男性」4.4%。



イ 年齢

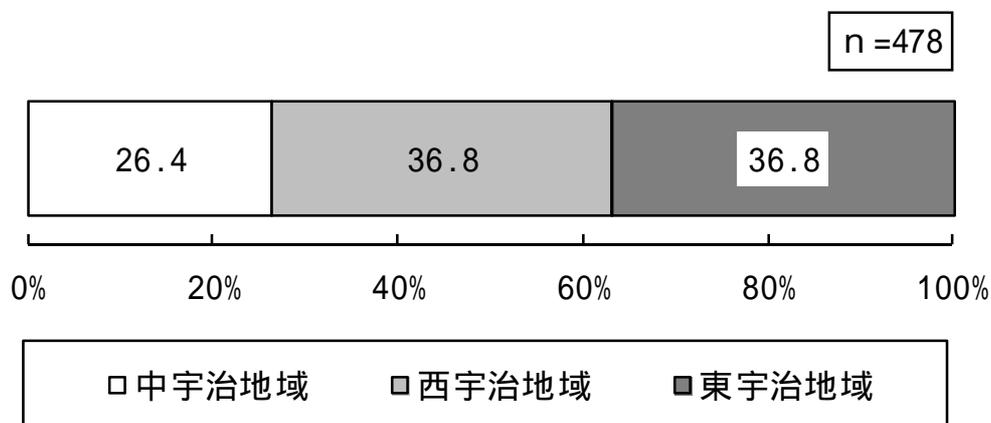
年齢は、「40歳代」62.5%が最も多く、次いで「30歳代」30.2%、「50歳代以上」5.0%と続く。



【 2 . 小・中学生の保護者】

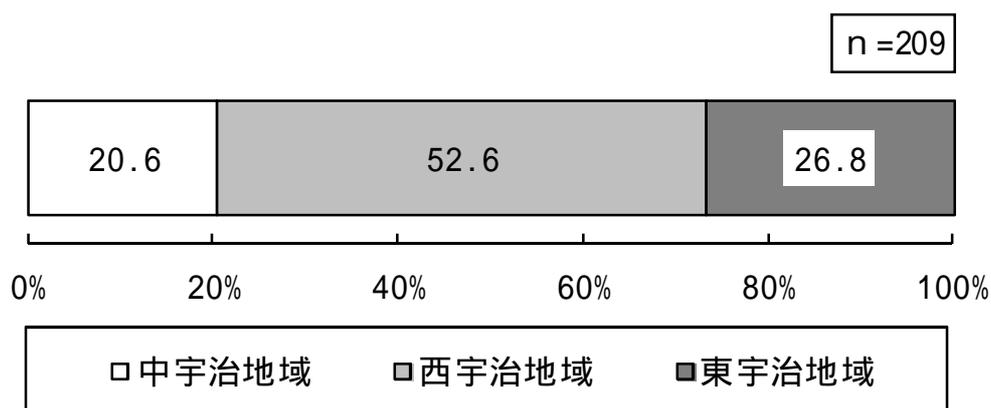
ウ 調査票を提出する小学校【3地域に区分】（小学生保護者のみ）

調査票を提出する小学校は、「西宇治地域」、「東宇治地域」ともに 36.8%、「中宇治地域」26.4%。
（無回答者除く）



エ 調査票を提出する中学校【3地域に区分】（中学生保護者のみ）

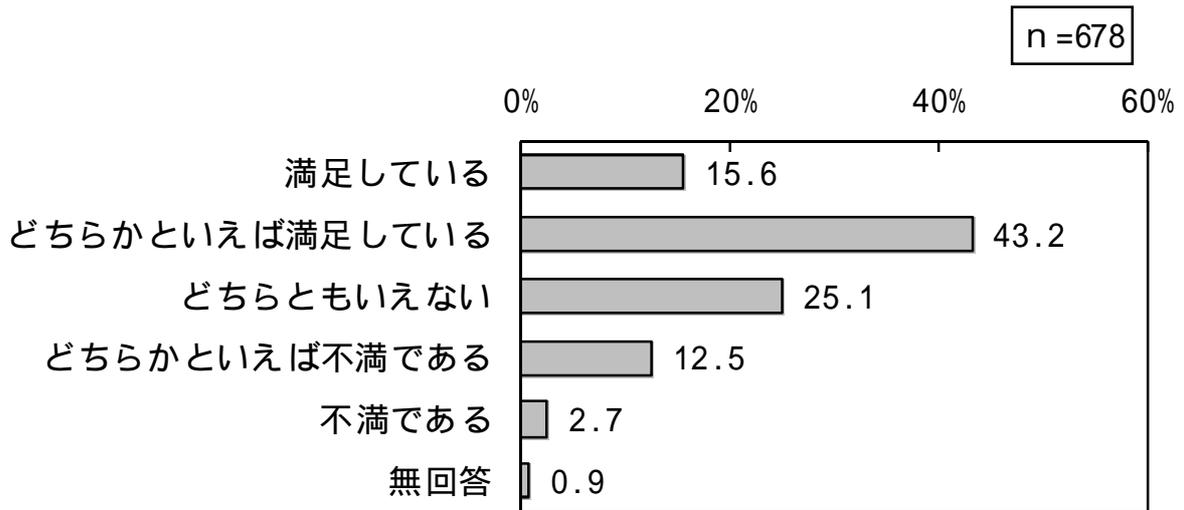
調査票を提出する中学校は、「西宇治地域」52.6%、「東宇治地域」26.8%、「中宇治地域」20.6%。
（無回答者除く）



2-1.小・中学校の教育について

問2 お子さんが通っている小学校・中学校の教育について、全体としては満足していますか。(1つに)

子どもが通っている小・中学校の教育の満足度は、「どちらかといえば満足している」43.2%が最も多く、次いで「どちらともいえない」25.1%、「満足している」15.6%と続く。

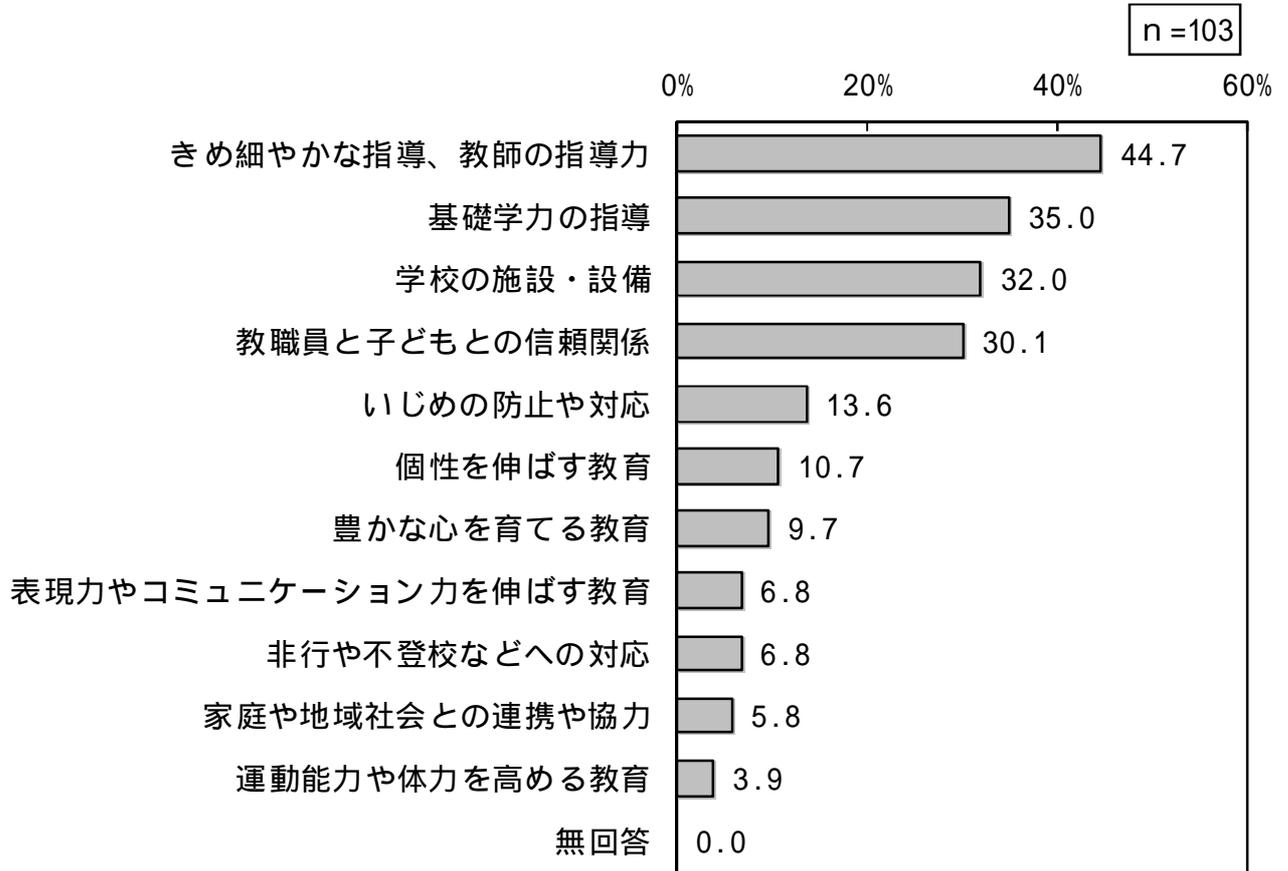


		合計	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	無回答
上段：人数（人） 下段：割合（％）								
太字数値は、 各地域の第1位								
全体		678 100.0	106 15.6	293 43.2	170 25.1	85 12.5	18 2.7	6 0.9
地域別	中宇治地域	162 100.0	40 24.7	77 47.5	28 17.3	13 8.0	3 1.9	1 0.6
	西宇治地域	280 100.0	26 9.3	110 39.3	83 29.6	47 16.8	14 5.0	0 0.0
	東宇治地域	224 100.0	40 17.9	103 46.0	56 25.0	24 10.7	1 0.4	0 0.0

【 2 . 小・中学生の保護者】

問2付問 問2で「どちらかといえば不満である」または「不満である」と答えた人に聞きます。
 どのような点に不満を感じますか。(主なもの2つまでに)

子どもが通っている小・中学校の教育について不満(「どちらかといえば不満である」または「不満である」)である方のうち、不満を感じる点は、「きめ細やかな指導、教師の指導力」44.7%が最も多く、次いで「基礎学力の指導」35.0%、「学校の施設・設備」32.0%と続く。

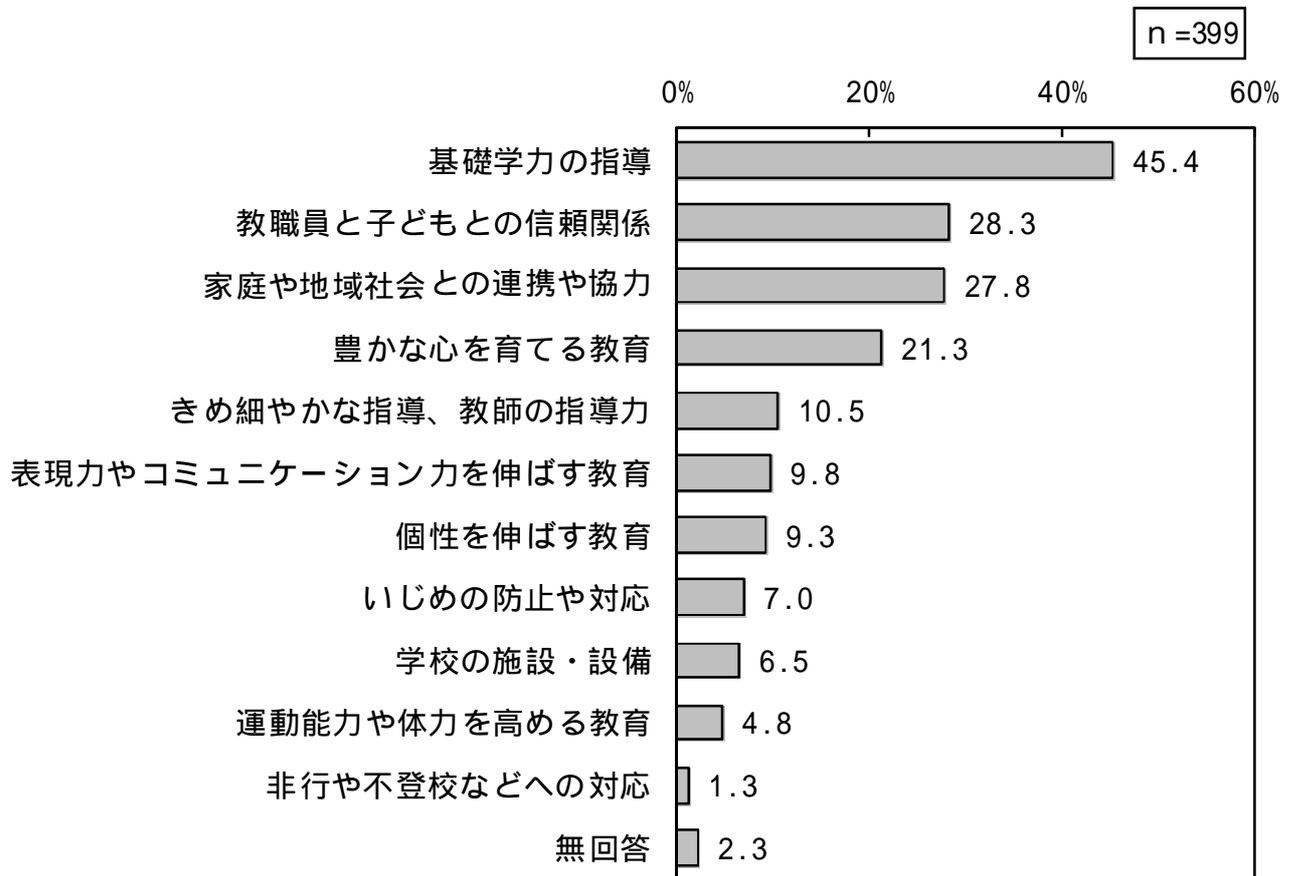


上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	基礎学力の指導	個性を伸ばす教育	豊かな心を育てる教育	表現力やコミュニケーション力を伸ばす教育	運動能力や体力を高める教育	きめ細やかな指導、教師の指導力	教職員と子どもとの信頼関係	いじめの防止や対応	非行や不登校などへの対応	家庭や地域社会との連携や協力	学校の施設・設備	無回答
太字数値は、各地域の第1位														
全体		103 100.0	36 35.0	11 10.7	10 9.7	7 6.8	4 3.9	46 44.7	31 30.1	14 13.6	7 6.8	6 5.8	33 32.0	0 0.0
地域別	中宇治地域	16 100.0	5 31.3	3 18.8	2 12.5	1 6.3	0 0.0	9 56.3	3 18.8	3 18.8	1 6.3	1 6.3	4 25.0	0 0.0
	西宇治地域	61 100.0	26 42.6	7 11.5	6 9.8	4 6.6	1 1.6	27 44.3	19 31.1	8 13.1	4 6.6	4 6.6	21 34.4	0 0.0
	東宇治地域	25 100.0	5 20.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	10 40.0	9 36.0	3 12.0	2 8.0	1 4.0	8 32.0	0 0.0

【 2 . 小・中学生の保護者】

問2付問 問2で「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えた人に聞きます。どのような点に満足していますか。(主なもの2つまでに)

子どもが通っている小・中学校の教育について満足(「満足している」または「どちらかといえば満足している」)である方のうち、満足を感じる点は、「基礎学力の指導」45.4%が最も多く、次いで「教職員と子どもとの信頼関係」28.3%、「家庭や地域社会との連携や協力」27.8%と続く。

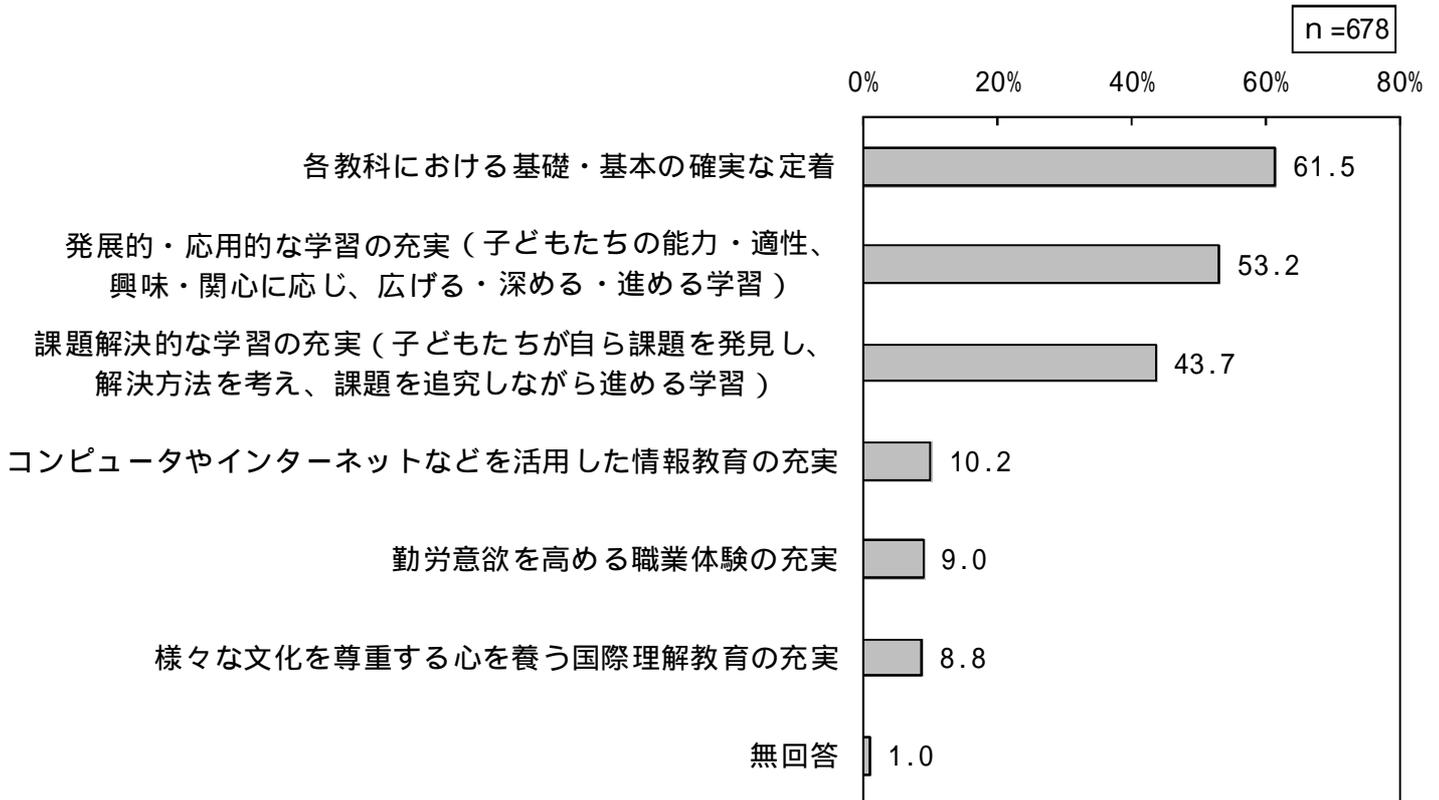


地域別	上段：人数(人) 下段：割合(%)	合計	基礎学力の指導	個性を伸ばす教育	豊かな心を育てる教育	表現力やコミュニケーション力を伸ばす教育	運動能力や体力を高める教育	きめ細やかな指導 教師の指導力	教職員と子どもとの 信頼関係	いじめの防止や対応	非行や不登校など への対応	家庭や地域社会との 連携や協力	学校の施設・設備	無回答
			太字数値は、 各地域の第1位											
全体	399 100.0	181 45.4	37 9.3	85 21.3	39 9.8	19 4.8	42 10.5	113 28.3	28 7.0	5 1.3	111 27.8	26 6.5	9 2.3	
中宇治地域	117 100.0	66 56.4	10 8.5	27 23.1	14 12.0	5 4.3	14 12.0	34 29.1	9 7.7	2 1.7	26 22.2	7 6.0	1 0.9	
西宇治地域	136 100.0	48 35.3	9 6.6	25 18.4	13 9.6	4 2.9	14 10.3	46 33.8	8 5.9	1 0.7	39 28.7	7 5.1	6 4.4	
東宇治地域	143 100.0	67 46.9	18 12.6	33 23.1	12 8.4	10 7.0	14 9.8	33 23.1	10 7.0	2 1.4	46 32.2	10 7.0	2 1.4	

問3 お子さんが通っている小・中学校の教育において、特に取り組んで欲しいことは何ですか。（それぞれの領域毎に、主なもの2つまでに）

ア 知育

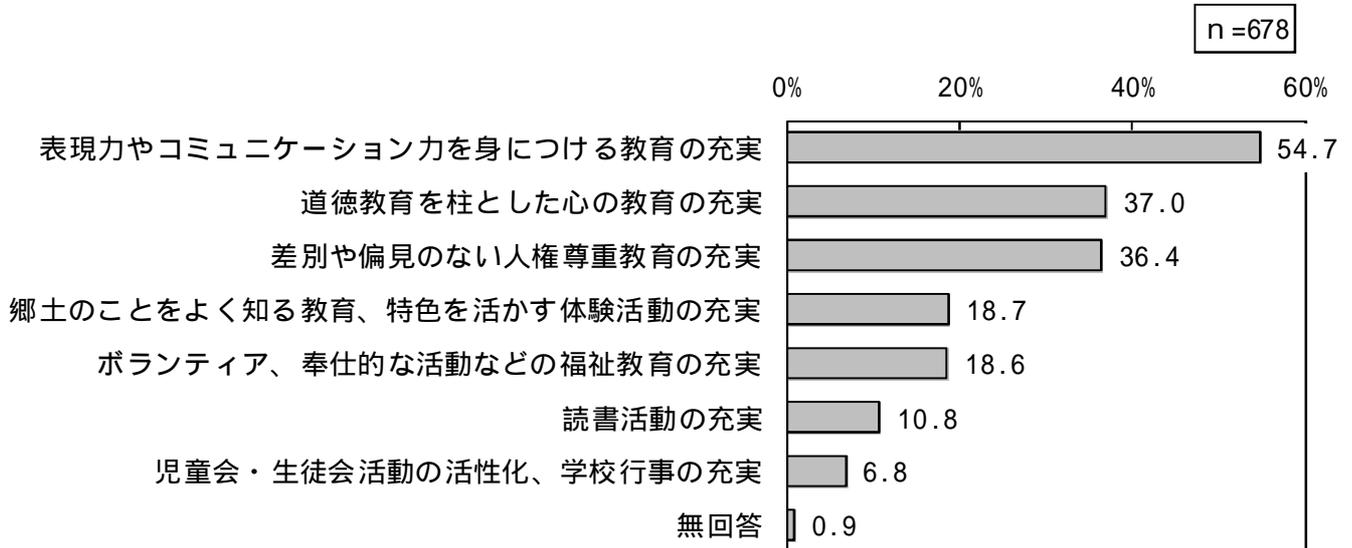
知育に関して特に取り組んで欲しいことは、「各教科における基礎・基本の確実な定着」61.5%が最も多く、次いで「発展的・応用的な学習の充実」53.2%、「課題解決的な学習の充実」43.7%と続く。



上段：人数（人） 下段：割合（%）		合計	各教科における基礎・基本の確実な定着	発展的・応用的な学習の充実	課題解決的な学習の充実	様々な文化を尊重する心を養う国際理解教育の充実	コンピュータやインターネットなどを活用した情報教育の充実	勤労意欲を高める職業体験の充実	無回答
太字数値は、各地域の第1位									
全体		678 100.0	417 61.5	361 53.2	296 43.7	60 8.8	69 10.2	61 9.0	7 1.0
地域別	中宇治地域	162 100.0	106 65.4	87 53.7	68 42.0	16 9.9	13 8.0	12 7.4	3 1.9
	西宇治地域	280 100.0	162 57.9	153 54.6	123 43.9	26 9.3	35 12.5	25 8.9	2 0.7
	東宇治地域	224 100.0	144 64.3	118 52.7	102 45.5	17 7.6	17 7.6	22 9.8	0 0.0

イ 徳育

徳育に関して特に取り組んで欲しいことは、「表現力やコミュニケーション力を身につける教育の充実」54.7%が最も多く、次いで「道德教育を柱とした心の教育の充実」37.0%、「差別や偏見のない人権尊重教育の充実」36.4%と続く。

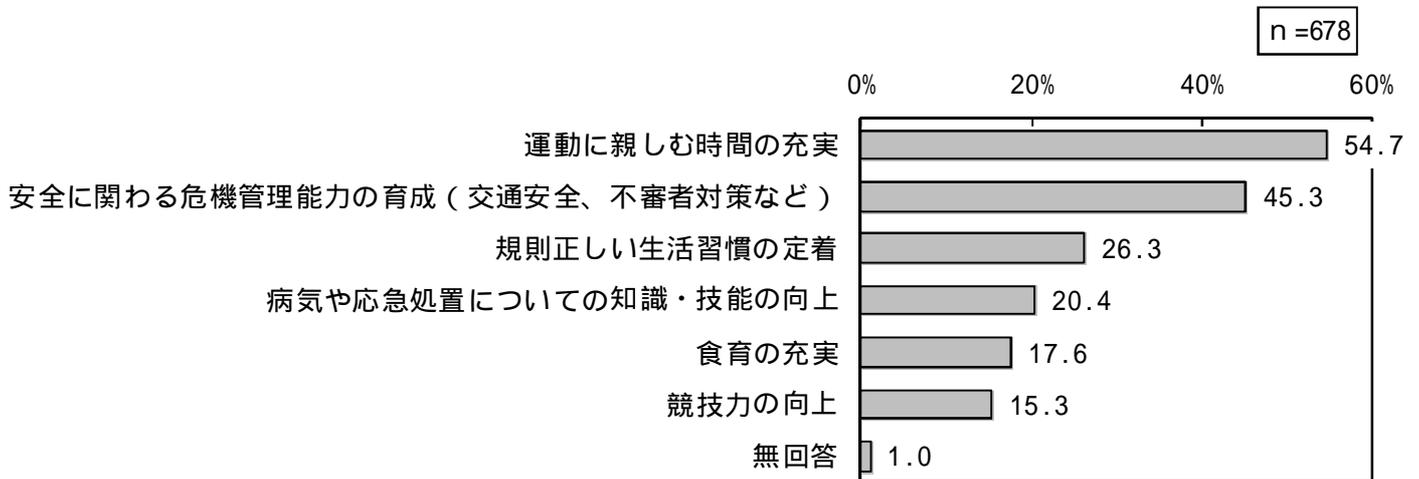


上段：人数（人） 下段：割合（%）		合計	郷土のことをよく知る教育、特色を活かす体験活動の充実	差別や偏見のない人権尊重教育の充実	道德教育を柱とした心の教育の充実	ボランティア、奉仕的な活動などの福祉教育の充実	表現力やコミュニケーション力を身につける教育の充実	児童会・生徒会活動の活性化、学校行事の充実	読書活動の充実	無回答
全体		678	127	247	251	126	371	46	73	6
		100.0	18.7	36.4	37.0	18.6	54.7	6.8	10.8	0.9
地域別	中宇治地域	162	40	50	64	26	90	6	21	2
		100.0	24.7	30.9	39.5	16.0	55.6	3.7	13.0	1.2
	西宇治地域	280	43	108	107	57	144	24	28	2
	100.0	15.4	38.6	38.2	20.4	51.4	8.6	10.0	0.7	
	東宇治地域	224	43	87	77	41	130	16	24	0
	100.0	19.2	38.8	34.4	18.3	58.0	7.1	10.7	0.0	

【 2 . 小・中学生の保護者】

ウ 体育・健康

体育・健康に関して特に取り組んで欲しいことは、「運動に親しむ時間の充実」54.7%が最も多く、次いで「安全に関わる危機管理能力の育成」45.3%、「規則正しい生活習慣の定着」26.3%と続く。

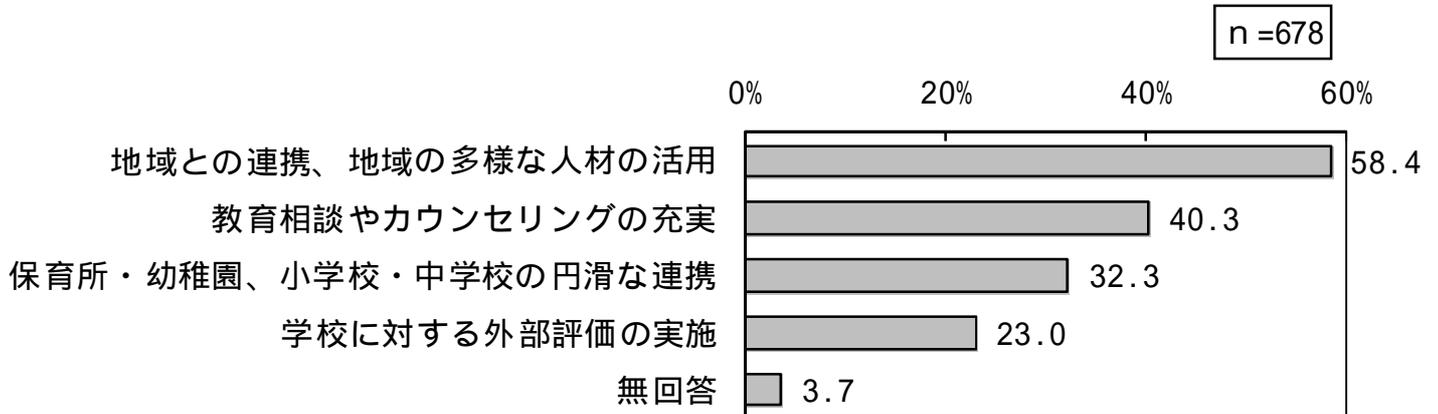


上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	運動に親しむ時間の充実	競技力の向上	規則正しい生活習慣の定着	食育の充実	病気や応急処置についての知識・技能の向上	安全に関わる危機管理能力の育成（交通安全、不審者対策など）	無回答
全体		678 100.0	371 54.7	104 15.3	178 26.3	119 17.6	138 20.4	307 45.3	7 1.0
地域別	中宇治地域	162 100.0	101 62.3	23 14.2	35 21.6	35 21.6	34 21.0	63 38.9	4 2.5
	西宇治地域	280 100.0	142 50.7	43 15.4	78 27.9	39 13.9	65 23.2	136 48.6	0 0.0
	東宇治地域	224 100.0	122 54.5	37 16.5	64 28.6	43 19.2	37 16.5	106 47.3	1 0.4

【 2 . 小・中学生の保護者】

工 環境

環境に関して特に取り組んで欲しいことは、「地域との連携、地域の多様な人材の活用」58.4%が最も多く、次いで「教育相談やカウンセリングの充実」40.3%、「保育所・幼稚園、小学校・中学校の円滑な連携」32.3%と続く。

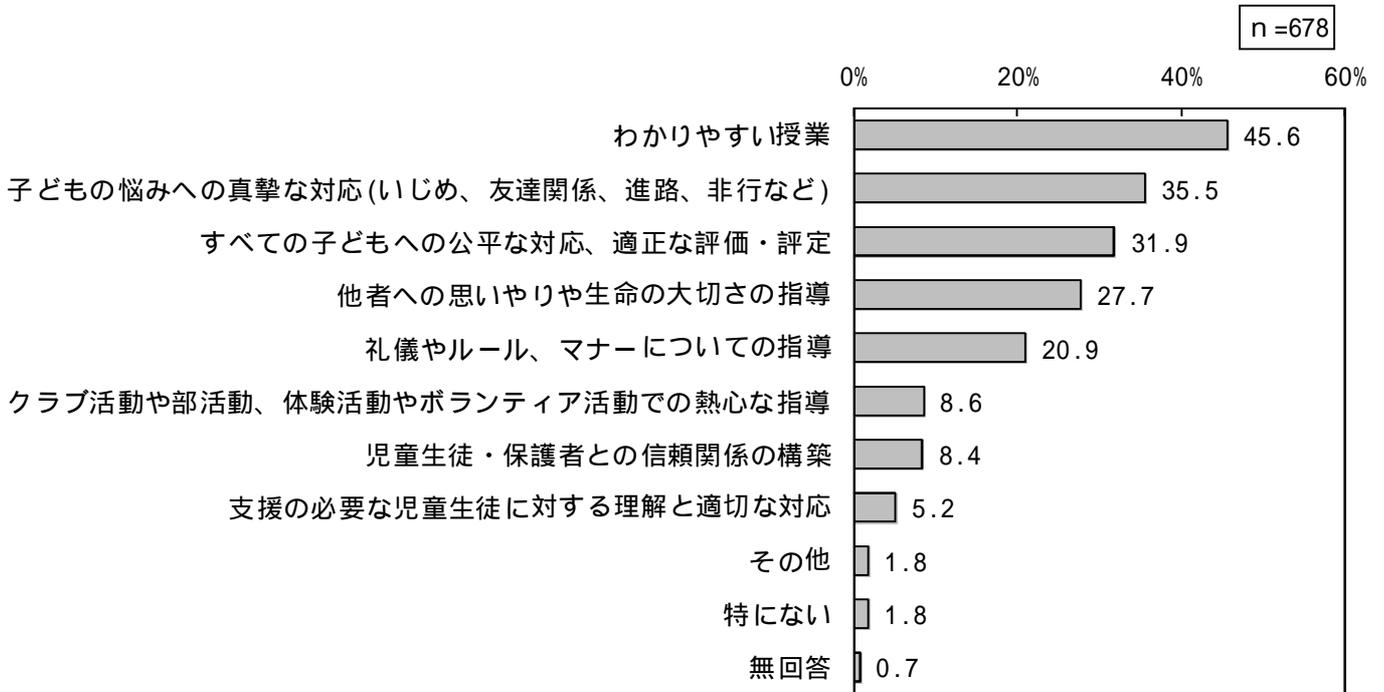


上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	地域との連携、 人材の活用 地域の多様な	教育相談や カウンセリングの 充実	保育所・幼稚園、 小学校・中学校 の円滑な連携	学校に対する 外部評価の実施	無回答
全体		678 100.0	396 58.4	273 40.3	219 32.3	156 23.0	25 3.7
地域別	中宇治地域	162 100.0	106 65.4	45 27.8	63 38.9	35 21.6	5 3.1
	西宇治地域	280 100.0	143 51.1	128 45.7	85 30.4	74 26.4	9 3.2
	東宇治地域	224 100.0	142 63.4	98 43.8	67 29.9	46 20.5	7 3.1

【 2 . 小・中学生の保護者】

問4 お子さんが通っている小・中学校の教職員について、特に期待することはありますか。（主なものの2つまでに）

教職員に期待することは、「わかりやすい授業」45.6%が最も多く、次いで「子どもの悩みへの真摯な対応」35.5%、「すべての子どもへの公平な対応、適正な評価・評定」31.9%と続く。

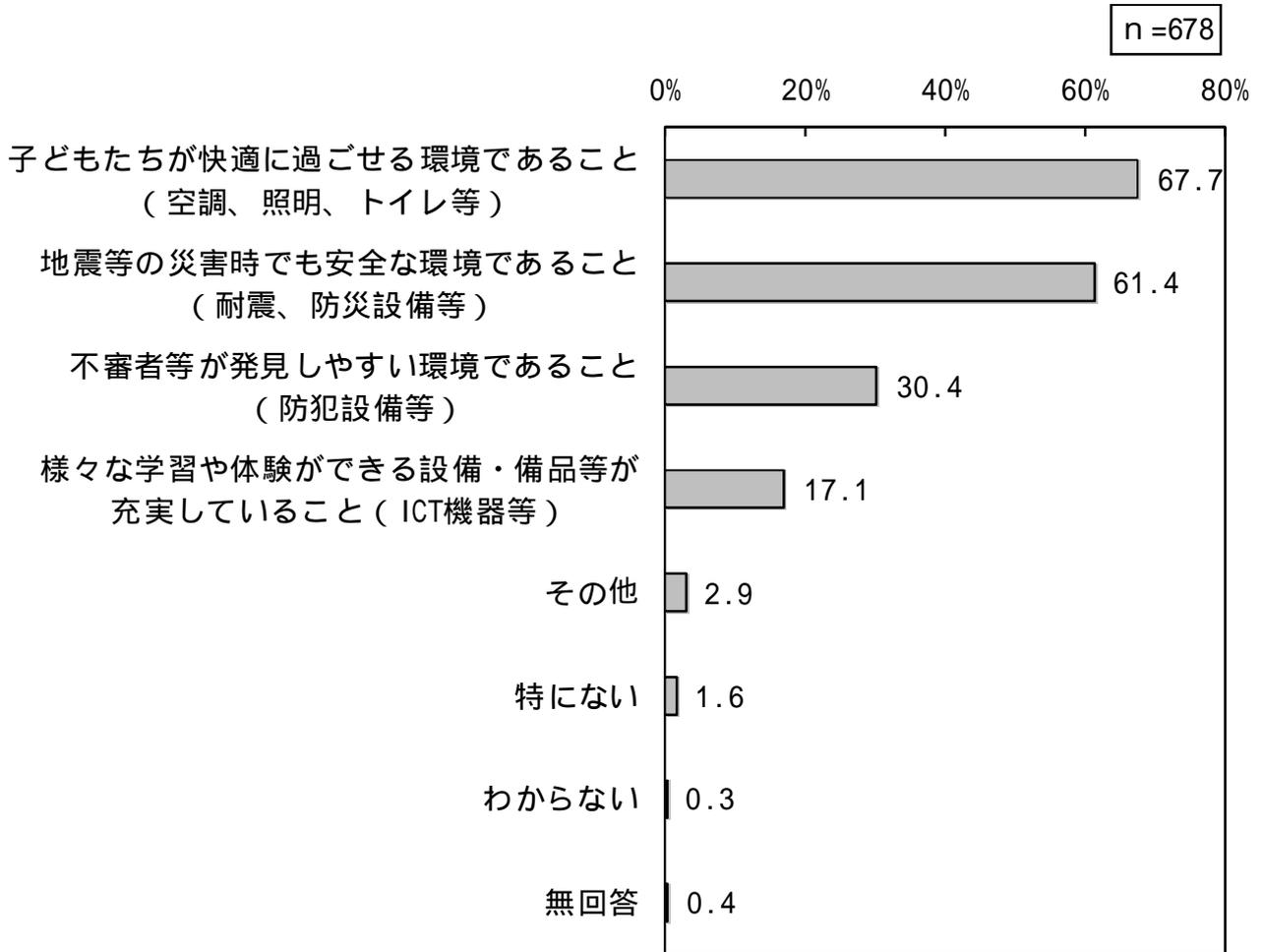


地域別	上段：人数（人） 下段：割合（%）	合計	わかりやすい授業	他者への思いやりや生命の大切さの指導	礼儀やルール、マナーについての指導	すべての子どもへの公平な対応 適正な評価・評定	子どもの悩みへの真摯な対応(いじめ、友達関係、進路、非行など)	支援の必要な児童生徒に対する理解と適切な対応	児童生徒・保護者との信頼関係の構築	クラブ活動や部活動、体験活動やボランティア活動での熱心な指導	その他	特にない	無回答
全体	678 100.0	309 45.6	188 27.7	142 20.9	216 31.9	241 35.5	35 5.2	57 8.4	58 8.6	12 1.8	12 1.8	5 0.7	
中宇治地域	162 100.0	69 42.6	44 27.2	31 19.1	62 38.3	61 37.7	7 4.3	14 8.6	12 7.4	3 1.9	1 0.6	1 0.6	
西宇治地域	280 100.0	126 45.0	77 27.5	67 23.9	84 30.0	94 33.6	14 5.0	25 8.9	27 9.6	5 1.8	5 1.8	1 0.4	
東宇治地域	224 100.0	109 48.7	63 28.1	41 18.3	67 29.9	83 37.1	14 6.3	18 8.0	17 7.6	4 1.8	6 2.7	1 0.4	

【 2 . 小・中学生の保護者】

問5 学校の施設・設備について、整備を優先すべきことは何だと考えますか。（主なもの2つまで）

学校の施設・設備について、整備を優先すべきことは、「空調、照明、トイレ等」67.7%が最も多く、次いで「耐震、防災設備等」61.4%、「防犯設備等」30.4%と続く。



上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	子どもたちが快適に過 せる環境であること	地震等の災害時でも安全 な環境であること	様々な学習や体験が できる設備・備品等が 充実していること	不 審 者 等 が 発 見 し や す い 環 境 で あ る こ と	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		678 100.0	459 67.7	416 61.4	116 17.1	206 30.4	20 2.9	11 1.6	2 0.3	3 0.4
地域別	中宇治地域	162 100.0	102 63.0	102 63.0	27 16.7	59 36.4	2 1.2	2 1.2	1 0.6	1 0.6
	西宇治地域	280 100.0	197 70.4	170 60.7	47 16.8	86 30.7	14 5.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0
	東宇治地域	224 100.0	154 68.8	138 61.6	40 17.9	58 25.9	3 1.3	7 3.1	1 0.4	0 0.0

太字数値は、各地域の第1位

2-2. 家庭・学校・地域との連携について

問6 子どもたちの成長・発達のための、家庭及び保護者・学校・地域の役割分担について、項目毎に最も重要な役割と思うものに「1」を、次いで重要な役割に「2」をつけて下さい。

ア 小学生の保護者

ケース1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目	ア 学力の基礎・基本を身につける エ いじめを決して許さない態度を育てる オ 良好な人間関係をつくる力を育てる キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にすることを育てる
ケース2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目	イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる ク 生まれ育った地域を愛することを育てる ケ 自然を大切にすることを育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける
ケース3 子どもたちの成長・発達において、「学校」と「家庭」が同等に最も重要な役割を担う項目 ポイント差+10%以内	カ 自発的に行動する意欲を育てる

(上段：人数 下段：割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
網掛けは最重要、重要それぞれの第1位 ア 学力の基礎・基本を身につける	478 100.0	43 9.0	421 88.1	1 0.2	13 2.7	408 85.4	42 8.8	1 0.2	27 5.6
イ 社会のマナーやルールを教える	478 100.0	390 81.6	66 13.8	6 1.3	16 3.3	60 12.6	367 76.8	23 4.8	28 5.9
ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる	478 100.0	407 85.1	50 10.5	6 1.3	15 3.1	47 9.8	385 80.5	17 3.6	29 6.1
エ いじめを決して許さない態度を育てる	478 100.0	187 39.1	269 56.3	4 0.8	18 3.8	247 51.7	181 37.9	16 3.3	34 7.1
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	478 100.0	197 41.2	251 52.5	8 1.7	22 4.6	218 45.6	193 40.4	38 7.9	29 6.1
カ 自発的に行動する意欲を育てる	478 100.0	238 49.8	212 44.4	6 1.3	22 4.6	195 40.8	236 49.4	22 4.6	25 5.2
キ 運動能力や体力を向上させる	478 100.0	67 14.0	351 73.4	39 8.2	21 4.4	305 63.8	90 18.8	53 11.1	30 6.3
ク 生まれ育った地域を愛することを育てる	478 100.0	225 47.1	148 31.0	82 17.2	23 4.8	145 30.3	224 46.9	80 16.7	29 6.1
ケ 自然を大切にすることを育てる	478 100.0	345 72.2	86 18.0	21 4.4	26 5.4	83 17.4	310 64.9	52 10.9	33 6.9
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	478 100.0	441 92.3	20 4.2	0 0.0	17 3.6	19 4.0	422 88.3	6 1.3	31 6.5
サ 他国の文化を大切にすることを育てる	478 100.0	102 21.3	330 69.0	18 3.8	28 5.9	263 55.0	109 22.8	66 13.8	40 8.4

【 2 . 小・中学生の保護者】

イ 中学生の保護者

<p>ケース 1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目</p>	<p>ア 学力の基礎・基本を身につける エ いじめを決して許さない態度を育てる カ 自発的に行動する意欲を育てる キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にする心を育てる</p>
<p>ケース 2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目</p>	<p>イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にする心を育てる ク 生まれ育った地域を愛する心を育てる ケ 自然を大切にする心を育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける</p>
<p>ケース 3 子どもたちの成長・発達において、「学校」と「家庭」が同等に最も重要な役割を担う項目 ポイント差+-10%以内</p>	<p>オオ 良好な人間関係をつくる力を育てる</p>

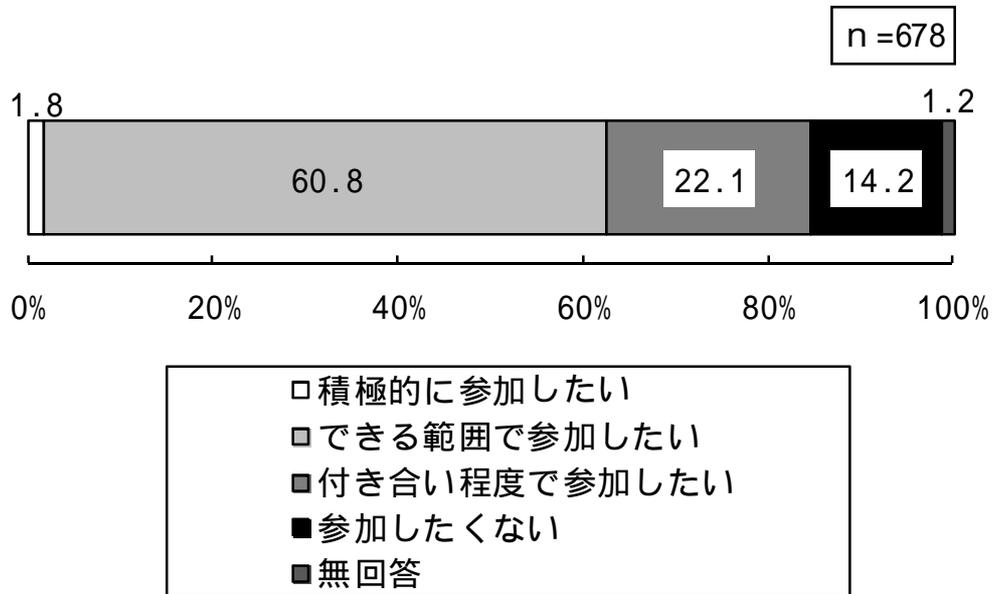
(上段：人数 下段：割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
網掛けは最重要、重要それぞれの第1位									
ア 学力の基礎・基本を身につける	209 100.0	22 10.5	178 85.2	0 0.0	9 4.3	170 81.3	21 10.0	0 0.0	18 8.6
イ 社会のマナーやルールを教える	209 100.0	170 81.3	26 12.4	3 1.4	10 4.8	26 12.4	150 71.8	16 7.7	17 8.1
ウ 思いやりや他人を大切にする心を育てる	209 100.0	172 82.3	27 12.9	1 0.5	9 4.3	24 11.5	162 77.5	7 3.3	16 7.7
エ いじめを決して許さない態度を育てる	209 100.0	82 39.2	115 55.0	0 0.0	12 5.7	107 51.2	78 37.3	5 2.4	19 9.1
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	209 100.0	93 44.5	102 48.8	3 1.4	11 5.3	89 42.6	91 43.5	10 4.8	19 9.1
カ 自発的に行動する意欲を育てる	209 100.0	83 39.7	113 54.1	1 0.5	12 5.7	107 51.2	79 37.8	7 3.3	16 7.7
キ 運動能力や体力を向上させる	209 100.0	19 9.1	167 79.9	8 3.8	15 7.2	150 71.8	25 12.0	18 8.6	16 7.7
ク 生まれ育った地域を愛する心を育てる	209 100.0	87 41.6	61 29.2	47 22.5	14 6.7	76 36.4	76 36.4	40 19.1	17 8.1
ケ 自然を大切にする心を育てる	209 100.0	151 72.2	36 17.2	9 4.3	13 6.2	31 14.8	114 54.5	45 21.5	19 9.1
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	209 100.0	190 90.9	7 3.3	1 0.5	11 5.3	10 4.8	180 86.1	1 0.5	18 8.6
サ 他国の文化を大切にする心を育てる	209 100.0	46 22.0	133 63.6	14 6.7	16 7.7	109 52.2	53 25.4	31 14.8	16 7.7

【 2 . 小・中学生の保護者】

問7 お子さんが通っている小・中学生が地域との連携を進める活動（PTA 活動を含む）に、参加したいと思いませんか。（1つに ）

地域との連携を進める活動に参加したいかは、「できる範囲で参加したい」60.8%が最も多く、次いで「付き合い程度で参加したい」22.1%、「参加したくない」14.2%と続く。

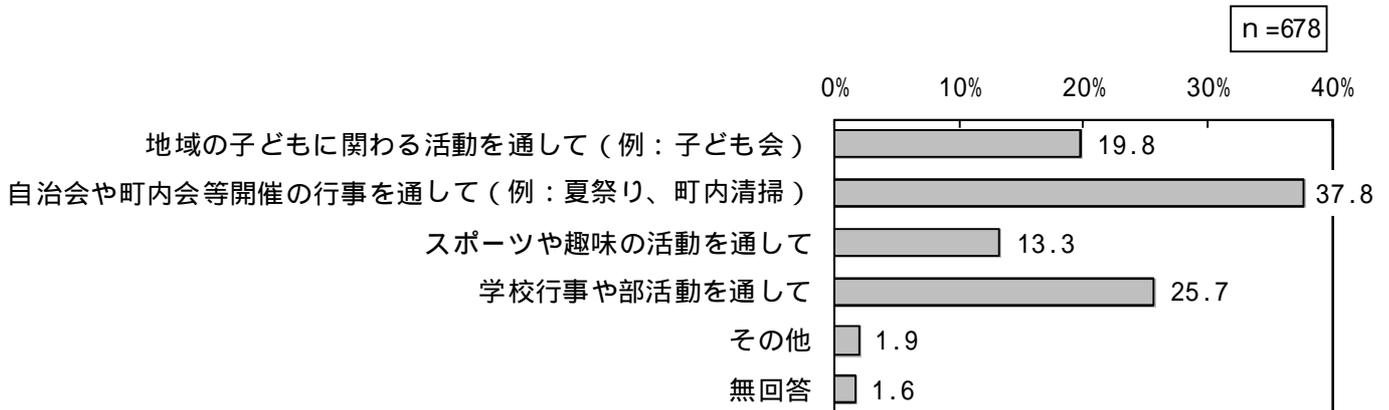


		合計	積極的に参加したい	できる範囲で参加したい	付き合い程度で参加したい	参加したくない	無回答
上段：人数（人） 下段：割合（％）							
太字数値は、 各地域の第1位							
全体		678 100.0	12 1.8	412 60.8	150 22.1	96 14.2	8 1.2
地域別	中宇治地域	162 100.0	0 0.0	109 67.3	27 16.7	25 15.4	1 0.6
	西宇治地域	280 100.0	8 2.9	155 55.4	77 27.5	38 13.6	2 0.7
	東宇治地域	224 100.0	4 1.8	141 62.9	45 20.1	31 13.8	3 1.3

【 2 . 小・中学生の保護者】

問8 市では、家庭や学校はもとより、地域や周囲の大人も一緒になって子どもを見守り、時代を担う大人に育てる環境づくりを進めています。あなたは、子どもと地域の大人が関わりを持つきっかけとして、どのような方法が最もよいと思いますか。(1つに)

子どもと地域の大人が関わりを持つきっかけとして最良だと思う方法は、「自治会や町内会等開催の行事を通して」37.8%が最も多く、次いで「学校行事や部活動を通して」25.7%、「地域の子どもに関わる活動を通して」19.8%と続く。

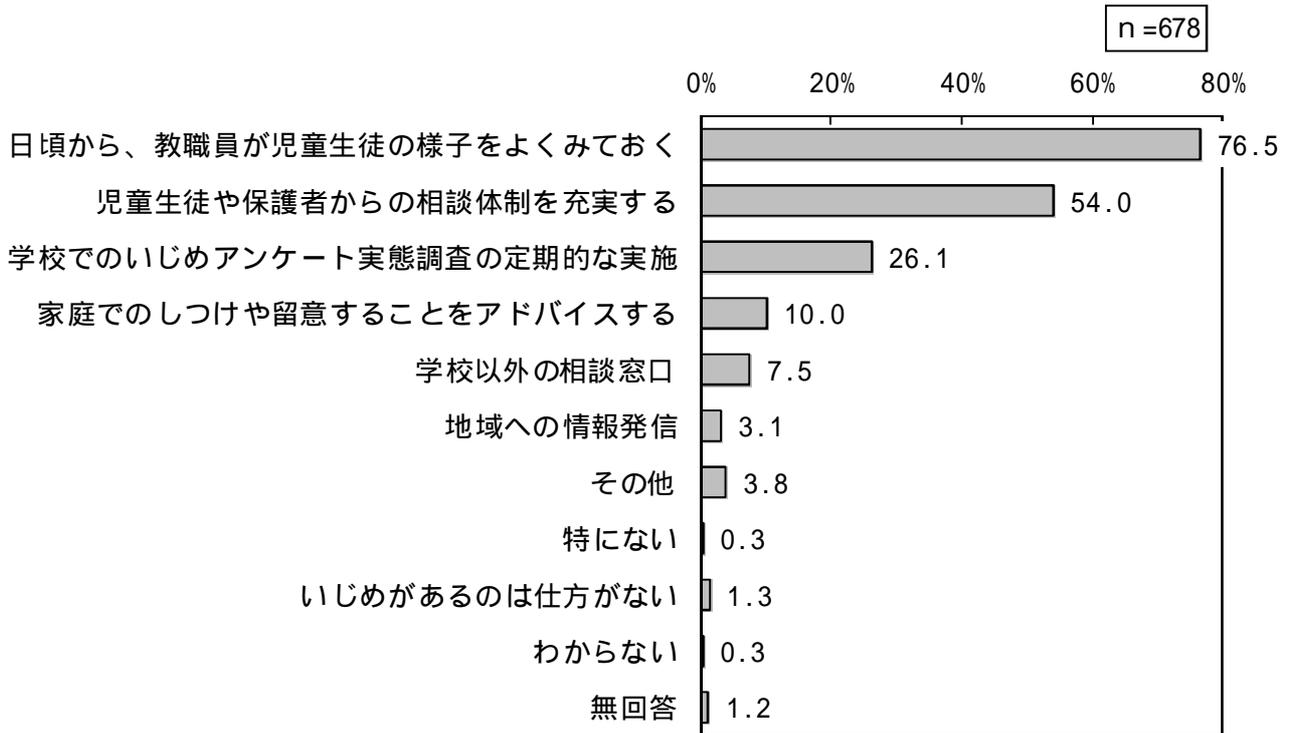


上段: 人数 (人) 下段: 割合 (%)		合計	地域の子どもに関わる活動を通して (例: 子ども会)	自治会や町内会等開催の行事を通して (例: 夏祭り、町内清掃)	スポーツや趣味の活動を通して	学校行事や部活動を通して	その他	無回答
全体		678 100.0	134 19.8	256 37.8	90 13.3	174 25.7	13 1.9	11 1.6
地域別	中宇治地域	162 100.0	28 17.3	66 40.7	27 16.7	37 22.8	3 1.9	1 0.6
	西宇治地域	280 100.0	56 20.0	107 38.2	32 11.4	76 27.1	7 2.5	2 0.7
	東宇治地域	224 100.0	49 21.9	82 36.6	28 12.5	58 25.9	3 1.3	4 1.8

2-3. いじめの問題への対策について

問9 「いじめ」をなくすために、学校に期待することは何ですか。(主なもの2つまでに)

「いじめ」をなくすために、学校に期待することは、「日頃から、教職員が児童生徒の様子をよくみておく」76.5%が最も多く、次いで「児童生徒や保護者からの相談体制を充実する」54.0%、「学校でのいじめアンケート実態調査の定期的な実施」26.1%と続く。

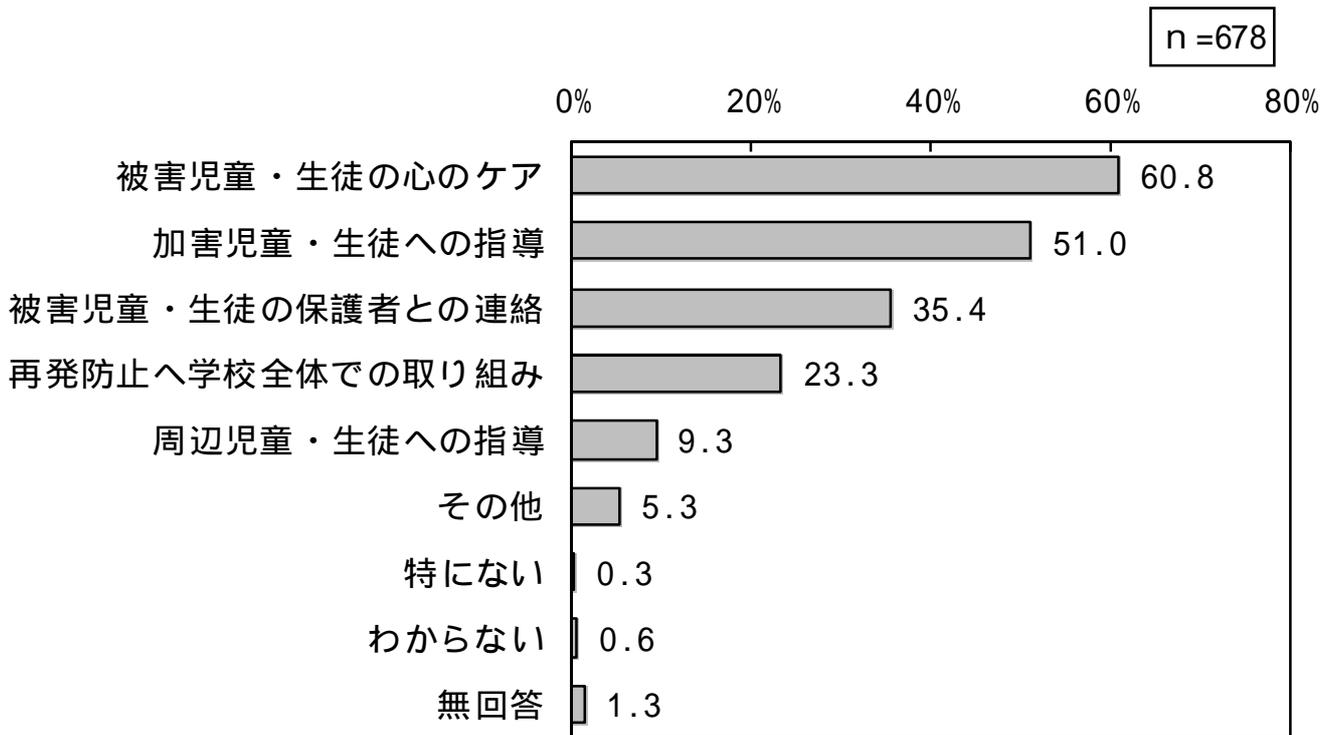


上段：人数(人) 下段：割合(%)	合計	日頃から、教職員が児童生徒の様子をよくみておく	児童生徒や保護者からの相談体制を充実する	家庭でのしつけや留意することをアドバイスする	地域への情報発信	学校でのいじめアンケート実態調査の定期的な実施	学校以外の相談窓口	その他	特にない	いじめがあるのは仕方がない	わからない	無回答
		太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位	太字数値は、各地域の第1位
全体	678	519	366	68	21	177	51	26	2	9	2	8
	100.0	76.5	54.0	10.0	3.1	26.1	7.5	3.8	0.3	1.3	0.3	1.2
地域別	中宇治地域	162	129	96	17	30	9	7	0	2	0	1
		100.0	79.6	59.3	10.5	3.1	18.5	5.6	4.3	0.0	1.2	0.6
	西宇治地域	280	209	144	31	8	85	24	9	1	3	2
	100.0	74.6	51.4	11.1	2.9	30.4	8.6	3.2	0.4	1.1	0.4	0.7
東宇治地域	224	175	123	20	7	59	18	9	1	3	1	2
	100.0	78.1	54.9	8.9	3.1	26.3	8.0	4.0	0.4	1.3	0.4	0.9

【2.小・中学生の保護者】

問10 万が一、「いじめ」が発生した時、まず、最初に学校に求めたいことは何ですか。（主なもの2つまでに）

「いじめ」発生時に最初に学校に求めたいことは、「被害児童・生徒の心のケア」60.8%が最も多く、次いで「加害児童・生徒への指導」51.0%、「被害児童・生徒の保護者との連絡」35.4%と続く。



上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	被害児童・生徒の心のケア	加害児童・生徒への指導	周辺児童・生徒への指導	被害児童・生徒の保護者との連絡	再発防止へ学校全体での取り組み	その他	特にない	わからない	無回答
全体		678 100.0	412 60.8	346 51.0	63 9.3	240 35.4	158 23.3	36 5.3	2 0.3	4 0.6	9 1.3
地域別	中宇治地域	162 100.0	103 63.6	90 55.6	15 9.3	53 32.7	30 18.5	6 3.7	0 0.0	0 0.0	3 1.9
	西宇治地域	280 100.0	166 59.3	144 51.4	25 8.9	110 39.3	69 24.6	16 5.7	1 0.4	1 0.4	1 0.4
	東宇治地域	224 100.0	138 61.6	107 47.8	21 9.4	76 33.9	57 25.4	12 5.4	1 0.4	3 1.3	2 0.9

2 - 4 . 宇治市の教育行政への意見・提案

問9 市の教育行政に対するご意見・ご提案がありましたら、ぜひ、お聴かせ下さい。（自由記入）

（複数意見の要約記載）

ア 学校について

学校施設の改修（特にトイレ、空調設備）

児童生徒の安全を守る環境

学力の向上（土曜授業の実施）

児童生徒一人ひとりをよく見て欲しい、1学級の人数削減

保護者と話す機会の増加 など

イ 教職員について

指導力や意欲に差がみられる、ひいきや不公平な指導がみられる

児童生徒一人ひとりをよく見て欲しい

乱暴な言葉遣いの是正

障害や病気に対する一層の理解 など

ウ 市教育委員会について

学校や教員に対する指導の充実

教育委員会の役割がわからない

教育現場をよく見て欲しい

学校とは異なる相談機関としての機能強化

市内での教育環境の違いの是正

給食の充実（中学校での給食実施、給食内容の充実）

いじめ問題に対する適切な対応 など

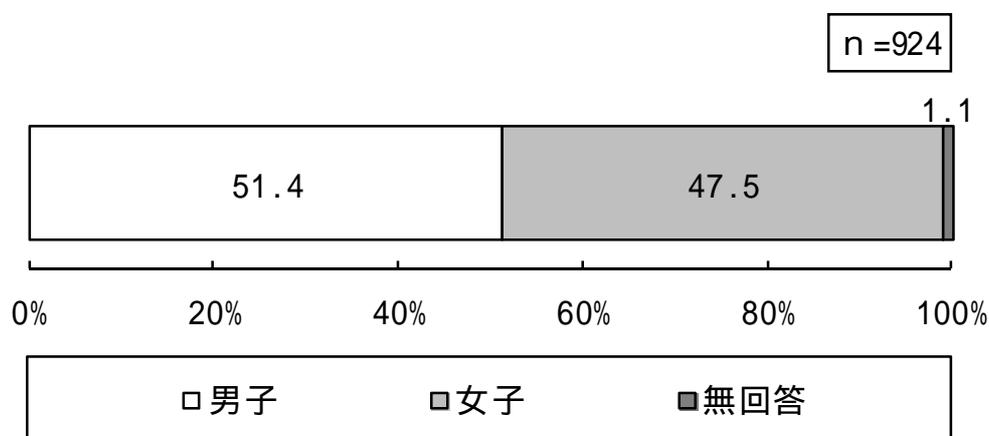
3.小・中学生

回答者について

問1 はじめに、あなた自身にあてはまる番号を選んで下さい。(それぞれ1つに)

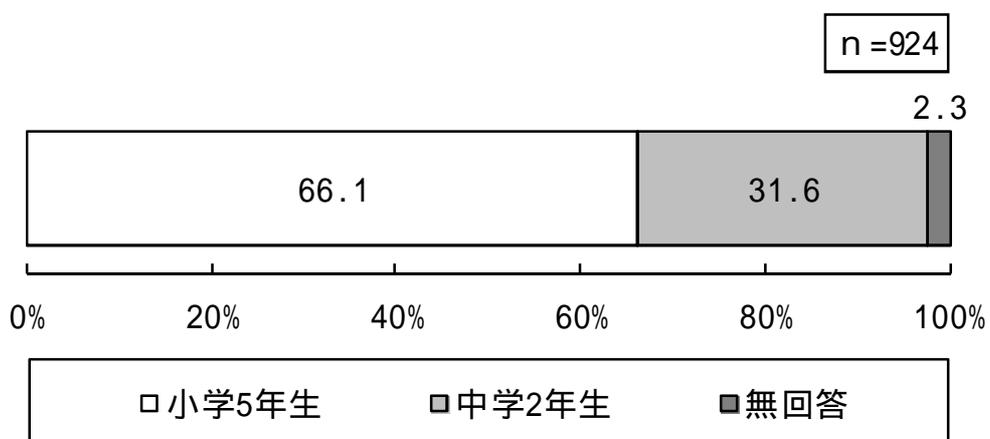
ア 性別

性別は、「男子」51.4%、「女子」47.5%。



イ 学年

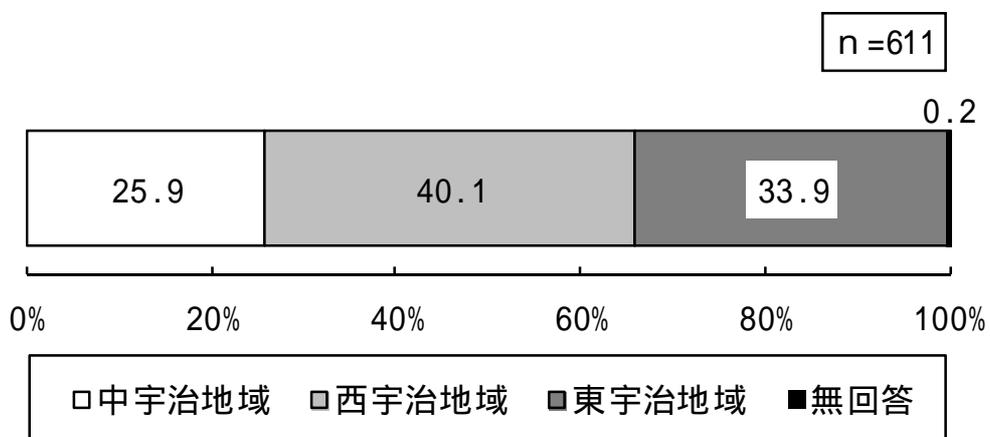
学年は、「小学5年生」66.1%、「中学2年生」31.6%。



【3.小・中学生】

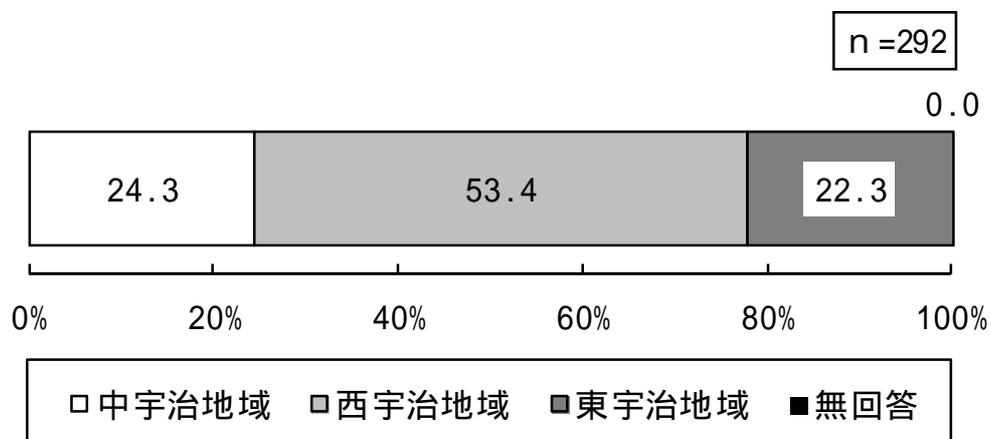
ウ 小学校【3地域に区分】（小学5年生のみ）

小学校は、「西宇治地域」40.1%、「東宇治地域」33.9%、「中宇治地域」25.9%。



エ 中学校【3地域に区分】（中学2年生のみ）

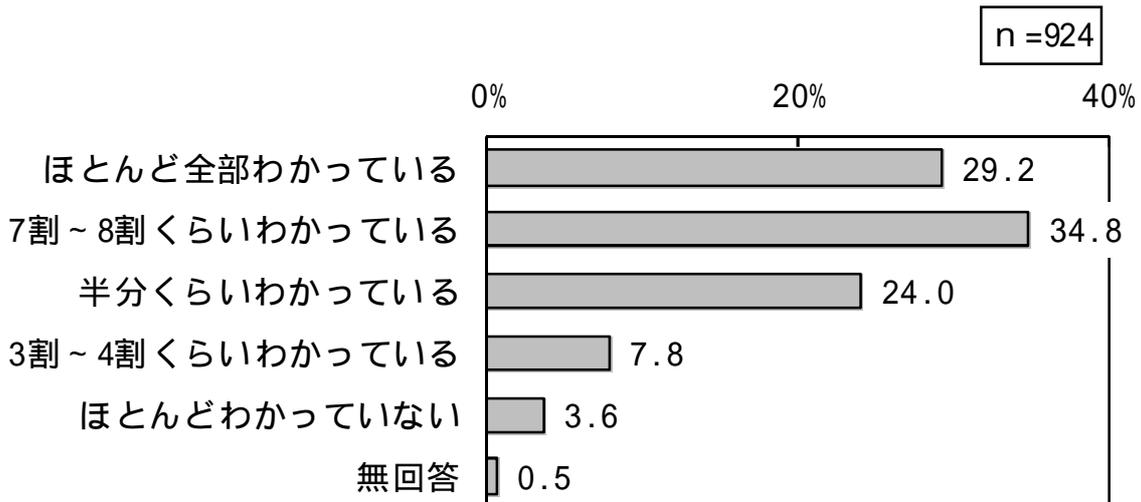
中学校は、「西宇治地域」53.4%、「中宇治地域」24.3%、「東宇治地域」22.3%。



3-1. 学校のことについて

問2 学校の授業は、どのくらいわかりますか。(1つに)

学校の授業の理解度は、「7割～8割くらいわかっている」34.8%が最も多く、次いで「ほとんど全部わかっている」29.2%、「半分くらいわかっている」24.0%と続く。

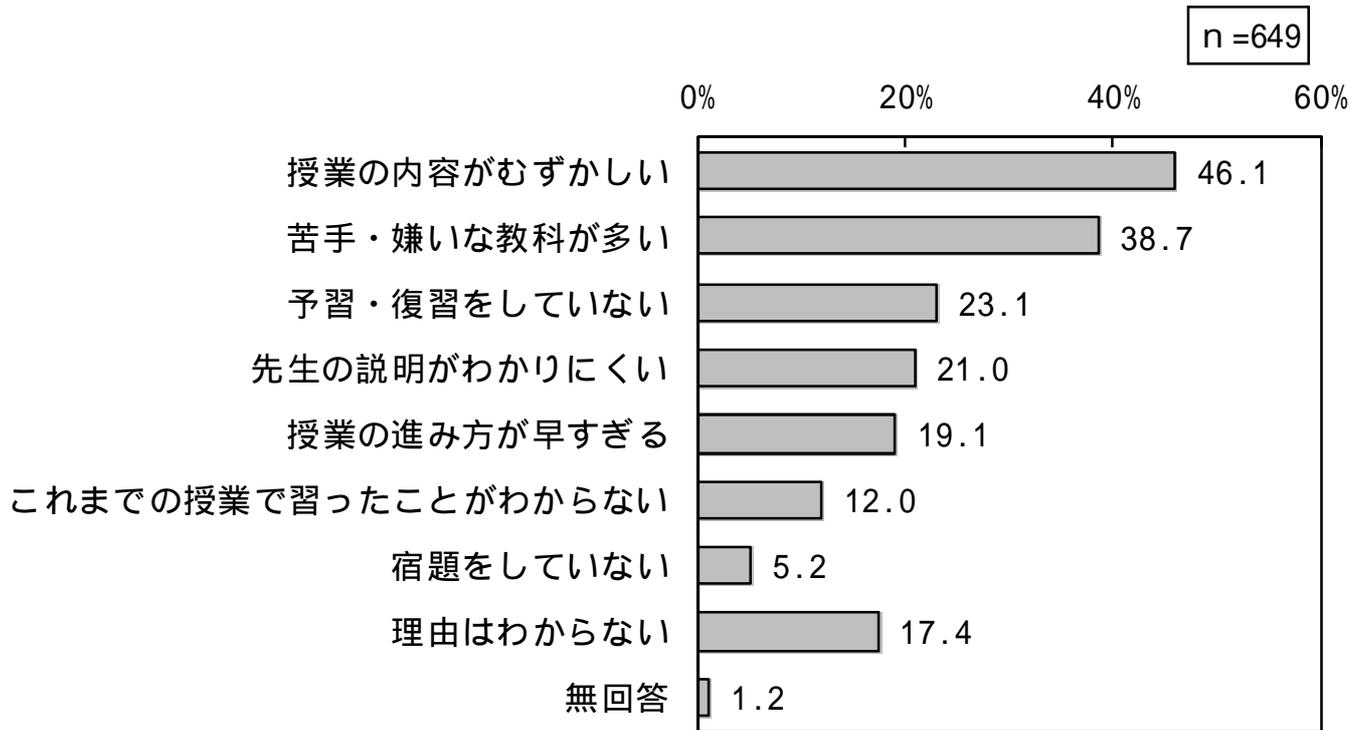


		合計	ほとんど全部わかっている	7割～8割くらいわかっている	半分くらいわかっている	3割～4割くらいわかっている	ほとんどわかっていない	無回答
全体		924	270	322	222	72	33	5
		100.0	29.2	34.8	24.0	7.8	3.6	0.5
地域別	中宇治地域	229	62	88	55	20	4	0
		100.0	27.1	38.4	24.0	8.7	1.7	0.0
	西宇治地域	401	116	135	102	30	18	0
		100.0	28.9	33.7	25.4	7.5	4.5	0.0
	東宇治地域	272	91	95	55	22	9	0
		100.0	33.5	34.9	20.2	8.1	3.3	0.0

【3.小・中学生】

問3 問2で「7割～8割くらいわかっている」、「半分くらいわかっている」、「3割～4割くらいわかっている」、「ほとんどわかっていない」のいずれかに答えた人に聞きます。授業がわからない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに ）

学校の授業がほとんど全部わかっている人以外の方の、授業がわからない理由は、「授業の内容がむずかしい」46.1%が最も多く、次いで「苦手・嫌いな教科が多い」38.7%、「予習・復習をしていない」23.1%と続く。

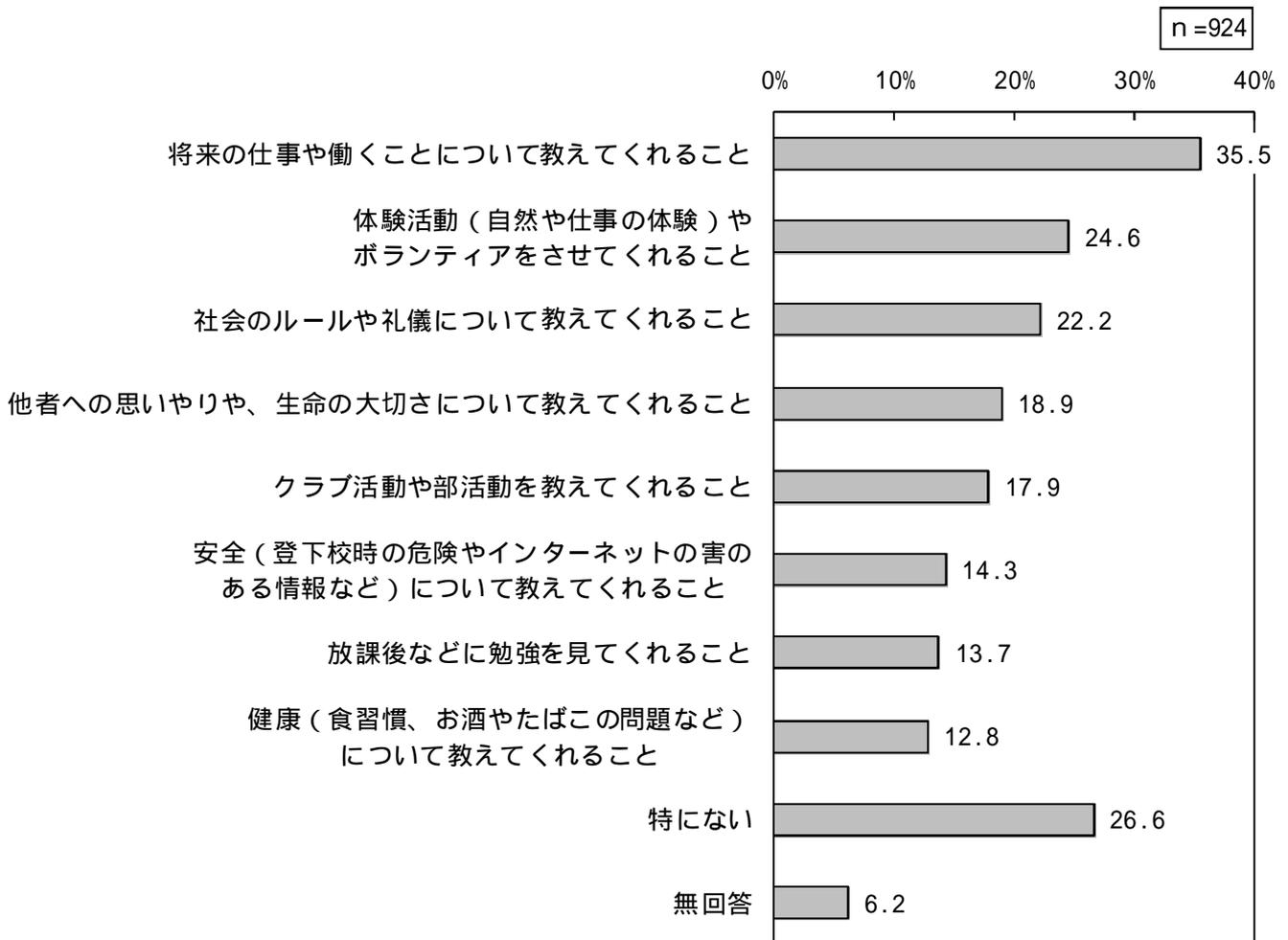


上段：人数（人） 下段：割合（%）		合計	授業の進み方が早すぎる	授業の内容がむずかしい	先生の説明がわかりにくい	これまでの授業で習ったことがわからない	宿題をしていない	予習・復習をしていない	苦手・嫌いな教科が多い	理由はわからない	無回答
全体		649 100.0	124 19.1	299 46.1	136 21.0	78 12.0	34 5.2	150 23.1	251 38.7	113 17.4	8 1.2
地域別	中宇治地域	167 100.0	25 15.0	82 49.1	21 12.6	19 11.4	4 2.4	38 22.8	72 43.1	24 14.4	1 0.6
	西宇治地域	285 100.0	52 18.2	126 44.2	74 26.0	36 12.6	21 7.4	72 25.3	109 38.2	59 20.7	5 1.8
	東宇治地域	181 100.0	45 24.9	83 45.9	36 19.9	22 12.2	7 3.9	38 21.0	66 36.5	29 16.0	2 1.1

【3.小・中学生】

問4 学校の先生に、特にしてほしいことはありますか。(3つまで)

学校の先生に特にしてほしいことは、「将来の仕事や働くことについて教えてくれること」35.5%が最も多く、次いで「特にない」26.6%、「体験活動やボランティアをさせてくれること」24.6%、「社会のルールや礼儀について教えてくれること」22.2%と続く。



地域別	上段：人数(人) 下段：割合(%)	合計	社会のルールや礼儀について教えてくれること	他者への思いやりや生命の大切さについて教えてくれること	健康について教えてくれること	安全について教えてくれること	将来の仕事や働くことについて教えてくれること	放課後などに勉強を見てくれること	クラブ活動や部活動を教えてくれること	体験活動やボランティアをさせてくれること	特にない	無回答
			と	けること	れること	れること	こと	こと	こと	こと	こと	こと
全体	924 100.0	205 22.2	175 18.9	118 12.8	132 14.3	328 35.5	127 13.7	165 17.9	227 24.6	246 26.6	57 6.2	
中宇治地域	229 100.0	49 21.4	39 17.0	29 12.7	32 14.0	92 40.2	32 14.0	46 20.1	55 24.0	63 27.5	9 3.9	
西宇治地域	401 100.0	84 20.9	69 17.2	44 11.0	53 13.2	128 31.9	55 13.7	69 17.2	97 24.2	127 31.7	17 4.2	
東宇治地域	272 100.0	68 25.0	61 22.4	42 15.4	45 16.5	106 39.0	35 12.9	46 16.9	73 26.8	52 19.1	26 9.6	

【3. 小・中学生】

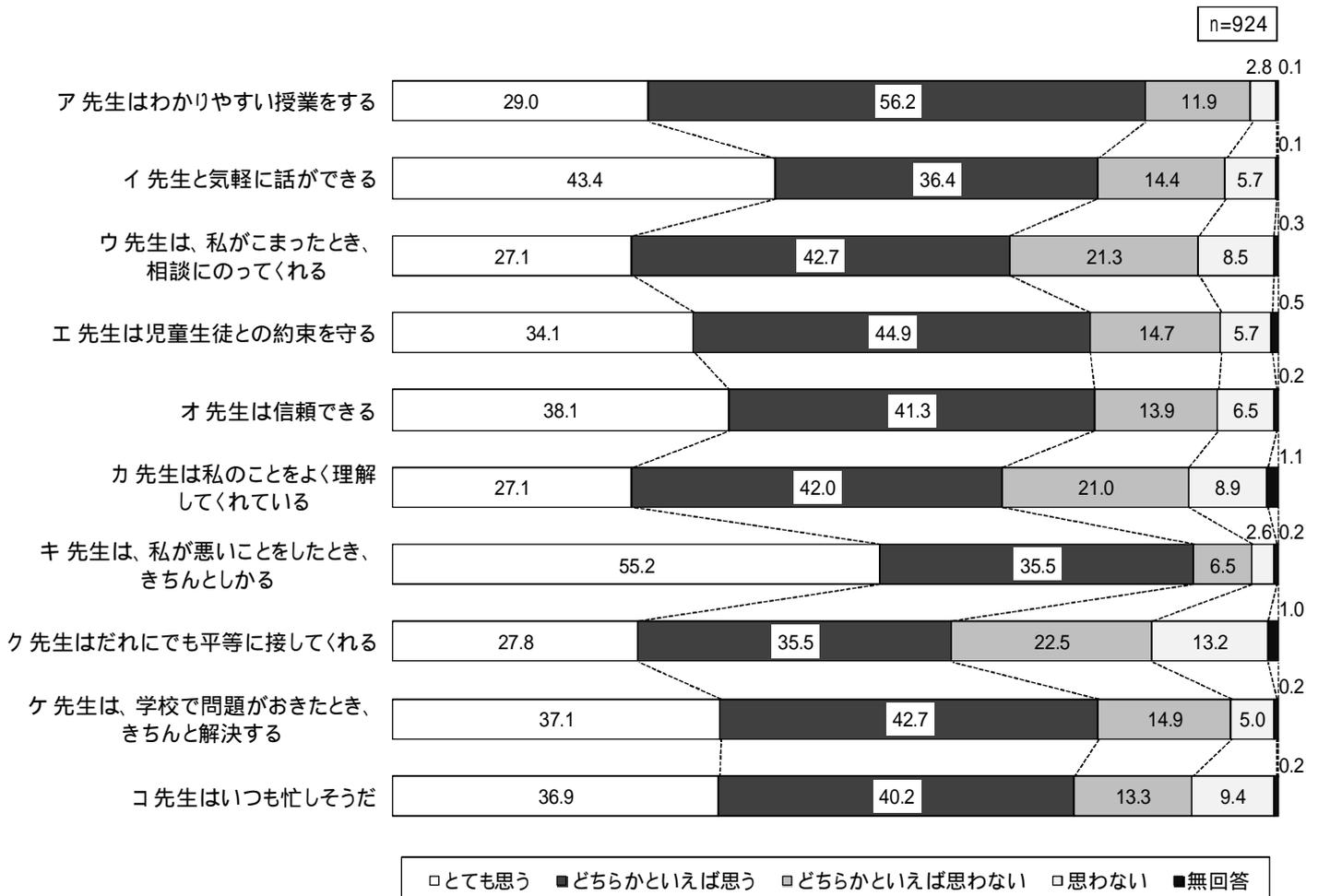
問5 学校の先生について、どう思いますか。（各項目で、それぞれ1つに ）

学校の先生について「評価する」割合(とても思う+どちらかといえば思う)は、全10項目で「評価する」割合が5割を超えている。

小・中学生ともに、評価の最も高い項目は『先生は、私が悪いことをしたとき、きちんとしかる』、最も低い項目は『先生はだれにでも平等に接してくれる』である。

「とても思う」+「どちらかといえば思う」の合計 太字数値は70%以上の項目

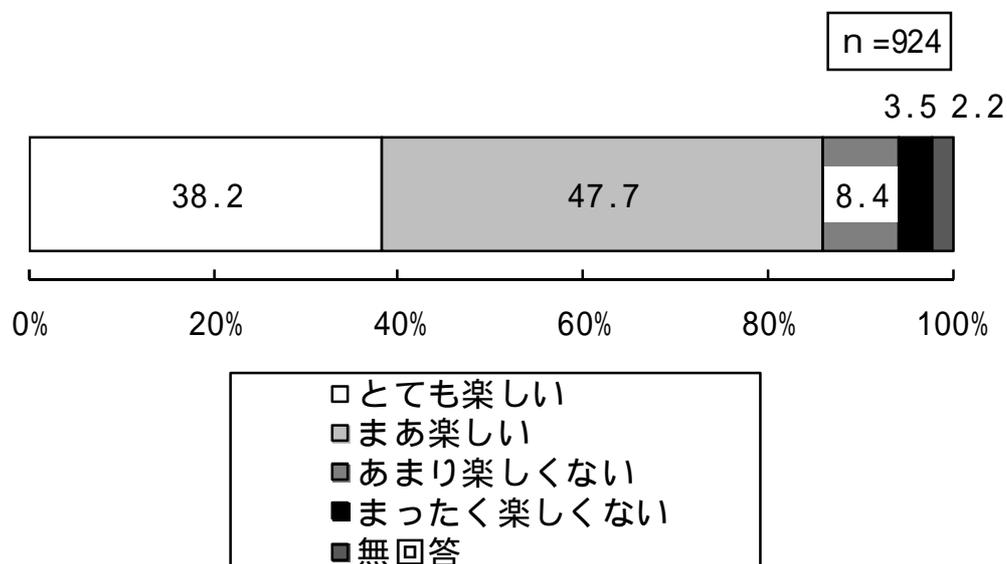
	小学生	中学生
ア 先生はわかりやすい授業をする	87.9	79.8
イ 先生と気軽に話ができる	79.4	81.2
ウ 先生は、私がこまったとき、相談にのってくれる	73.2	64.0
エ 先生は児童生徒との約束を守る	82.0	73.3
オ 先生は信頼できる	82.7	72.9
カ 先生は私のことをよく理解してくれている	69.7	67.8
キ 先生は、私が悪いことをしたとき、きちんとしかる	93.0	86.0
ク 先生はだれにでも平等に接してくれる	65.8	56.8
ケ 先生は、学校で問題がおきたとき、きちんと解決する	83.8	71.9
コ 先生はいつも忙しそうだ	75.1	80.8



【3.小・中学生】

問6 学校に通うのは楽しいですか。(1つに)

学校に通うのは楽しいかどうかは、「まあ楽しい」47.7%が最も多く、次いで「とても楽しい」38.2%、「あまり楽しくない」8.4%と続く。

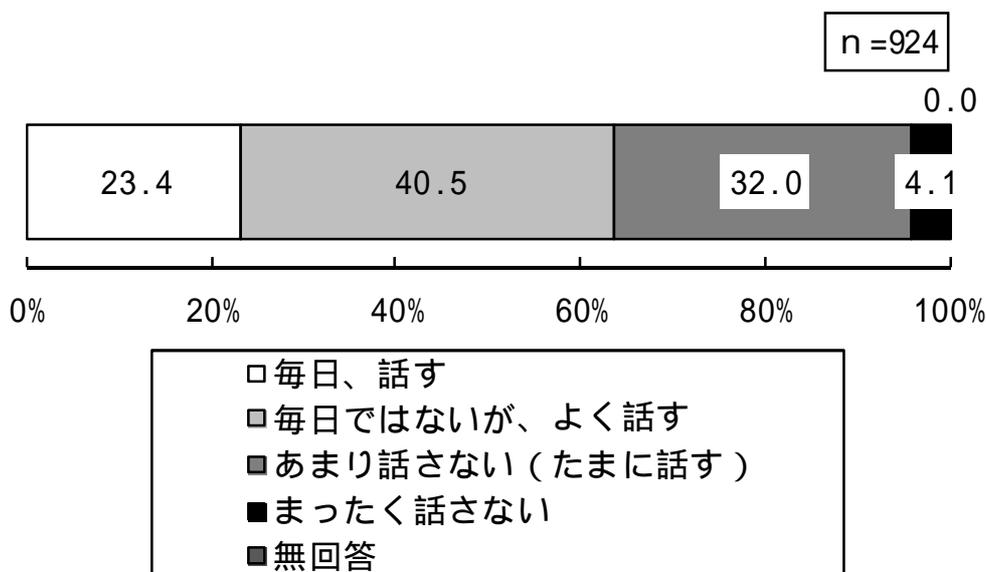


		合計	とても楽しい	まあ楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
上段：人数(人) 下段：割合(%)							
太字数値は、 各地域の第1位							
全体		924 100.0	353 38.2	441 47.7	78 8.4	32 3.5	20 2.2
地域別	中宇治地域	229 100.0	85 37.1	116 50.7	16 7.0	6 2.6	6 2.6
	西宇治地域	401 100.0	152 37.9	183 45.6	38 9.5	16 4.0	12 3.0
	東宇治地域	272 100.0	109 40.1	130 47.8	21 7.7	10 3.7	2 0.7

3-2. 日常生活のことについて

問7 学校であったことを家族に話していますか。(1つに)

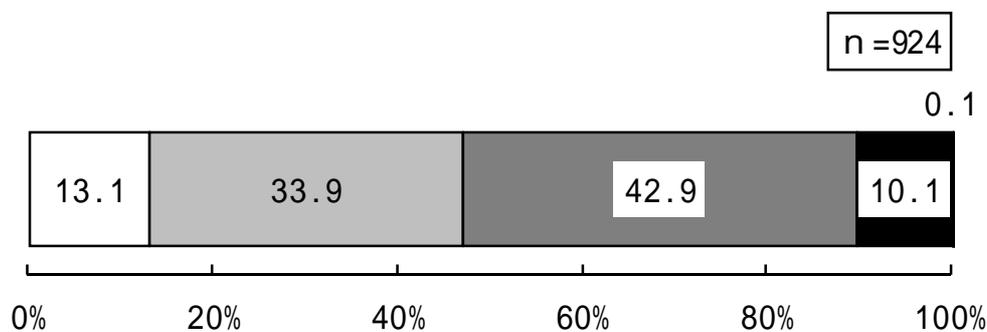
学校であったことを家族に話しているかは、「毎日ではないが、よく話す」40.5%が最も多く、次いで「あまり話さない(たまに話す)」32.0%、「毎日、話す」23.4%と続く。



		合計	毎日、話す	毎日ではないが、よく話す	あまり話さない(たまに話す)	まったく話さない	無回答
上段：人数(人) 下段：割合(%)							
太字数値は、 各地域の第1位							
全体		924 100.0	216 23.4	374 40.5	296 32.0	38 4.1	0 0.0
地域別	中宇治地域	229 100.0	55 24.0	96 41.9	73 31.9	5 2.2	0 0.0
	西宇治地域	401 100.0	103 25.7	145 36.2	130 32.4	23 5.7	0 0.0
	東宇治地域	272 100.0	54 19.9	123 45.2	85 31.3	10 3.7	0 0.0

問8 家族から、学校であったことを聞かれますか。(1つに)

家族から、学校であったことを聞かれるかは、「あまり聞かれない(たまに聞かれる)」42.9%が最も多く、次いで「毎日ではないが、よく聞かれる」33.9%、「毎日、聞かれる」13.1%と続く。



- 毎日、聞かれる
- 毎日ではないが、よく聞かれる
- あまり聞かれない(たまに聞かれる)
- まったく聞かれない
- 無回答

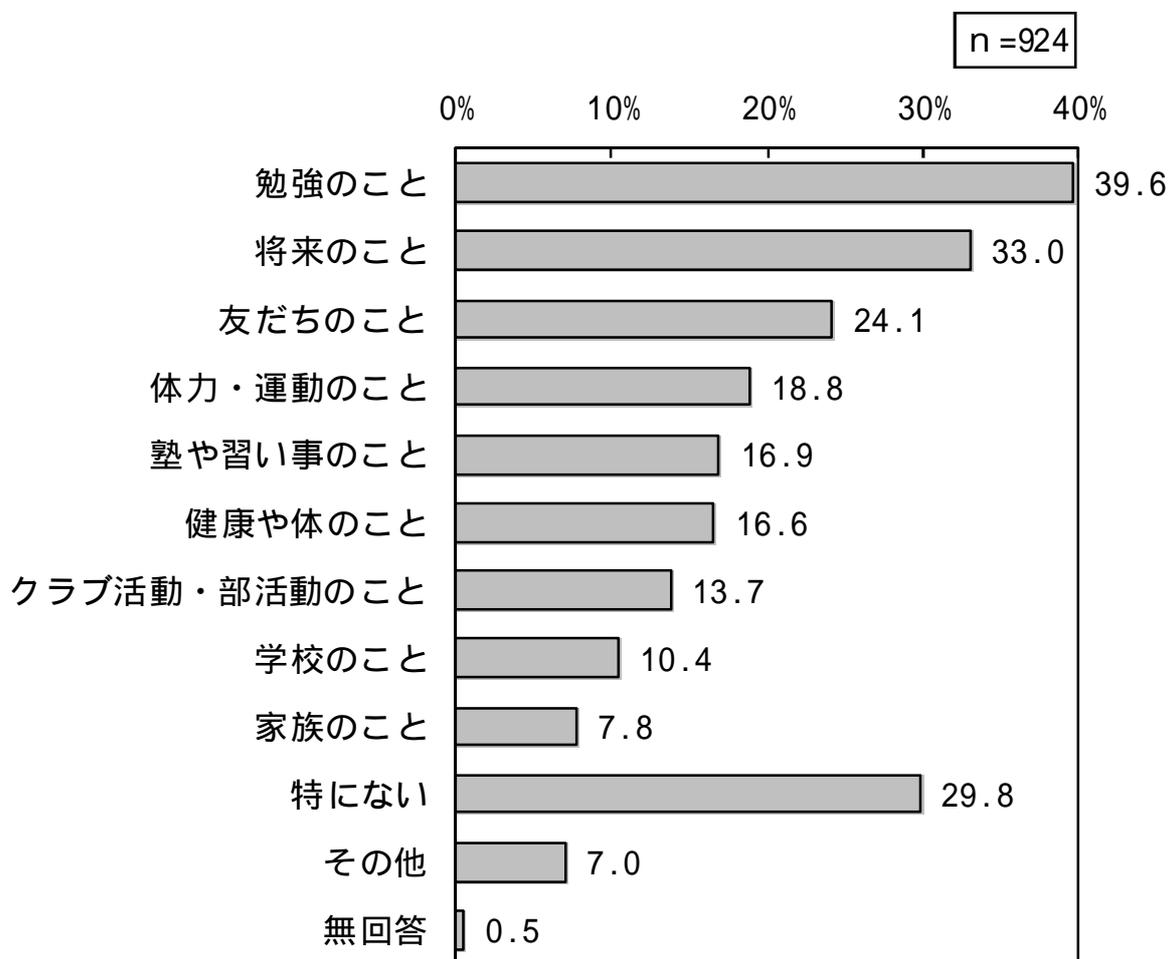
		合計	毎日、聞かれる	毎日ではないが、よく聞かれる	あまり聞かれない(たまに聞かれる)	まったく聞かれない	無回答
上段：人数(人) 下段：割合(%)							
太字数値は、 各地域の第1位							
全体		924 100.0	121 13.1	313 33.9	396 42.9	93 10.1	1 0.1
地域別	中宇治地域	229 100.0	28 12.2	71 31.0	112 48.9	18 7.9	0 0.0
	西宇治地域	401 100.0	61 15.2	131 32.7	155 38.7	54 13.5	0 0.0
	東宇治地域	272 100.0	31 11.4	104 38.2	117 43.0	19 7.0	1 0.4

【3.小・中学生】

問9 このごろ、不安に思っていたり、気になっていることはありますか。(あてはまるものすべてに)

不安に思っていたり、気になっていることは、「勉強のこと」39.6%が最も多く、次いで「将来のこと」33.0%、「友だちのこと」24.1%と続く。

「特にない」29.8%も比較的多い。

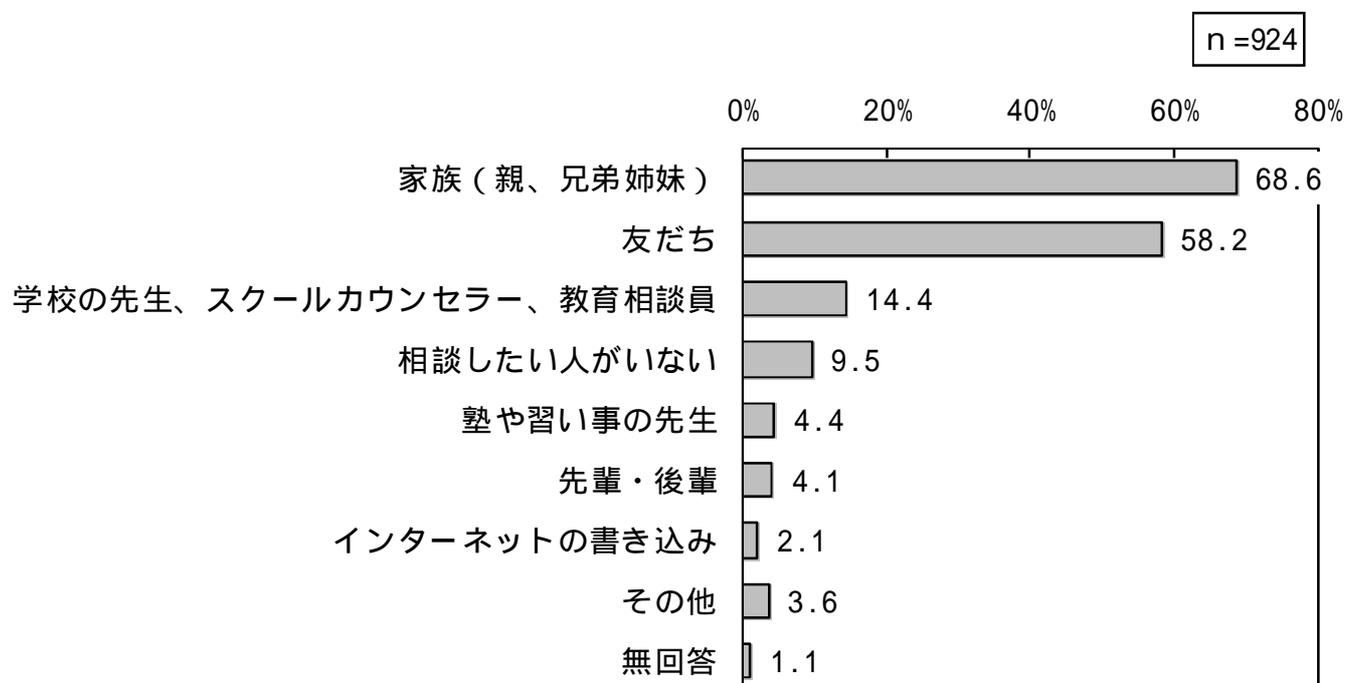


上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	家族のこと	友だちのこと	学校のこと	勉強のこと	塾や習い事のこと	将来のこと	健康や体のこと	体力・運動のこと	クラブ活動・部活動のこと	特にない	その他	無回答
太数字値は、各地域の第1位														
全体		924 100.0	72 7.8	223 24.1	96 10.4	366 39.6	156 16.9	305 33.0	153 16.6	174 18.8	127 13.7	275 29.8	65 7.0	5 0.5
地域別	中宇治地域	229 100.0	19 8.3	71 31.0	23 10.0	95 41.5	47 20.5	85 37.1	39 17.0	48 21.0	34 14.8	65 28.4	14 6.1	0 0.0
	西宇治地域	401 100.0	34 8.5	88 21.9	50 12.5	156 38.9	61 15.2	128 31.9	63 15.7	75 18.7	59 14.7	123 30.7	33 8.2	3 0.7
	東宇治地域	272 100.0	19 7.0	61 22.4	21 7.7	104 38.2	43 15.8	85 31.3	48 17.6	49 18.0	29 10.7	80 29.4	17 6.3	2 0.7

【3.小・中学生】

問10 困ったことや相談したいことがあるとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに)

困りごとの相談相手は、「家族」68.6%が最も多く、次いで「友だち」58.2%、「学校の先生、スクールカウンセラー、教育相談員」14.4%と続く。



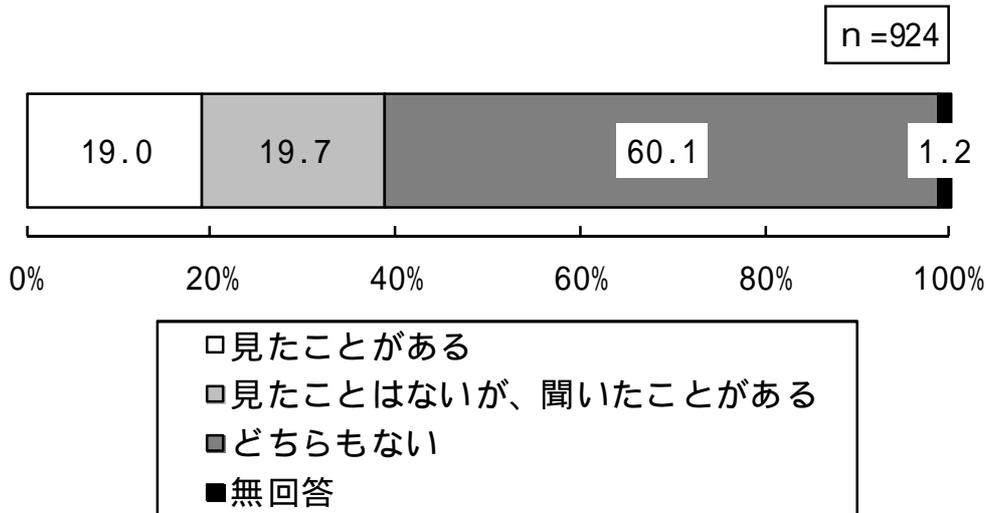
	合計	家族(親、兄弟姉妹)	友だち	先輩・後輩	学校の先生、スクールカウンセラー、教育相談員	塾や習い事の先生	インターネットの書き込み	相談したい人がいない	その他	無回答	
											上段: 人数(人)
全体	924	634	538	38	133	41	19	88	33	10	
	100.0	68.6	58.2	4.1	14.4	4.4	2.1	9.5	3.6	1.1	
地域別	中宇治地域	229	168	150	9	25	12	4	18	10	0
		100.0	73.4	65.5	3.9	10.9	5.2	1.7	7.9	4.4	0.0
	西宇治地域	401	258	220	13	51	22	7	44	17	7
	100.0	64.3	54.9	3.2	12.7	5.5	1.7	11.0	4.2	1.7	
	東宇治地域	272	195	156	16	56	7	7	25	6	2
	100.0	71.7	57.4	5.9	20.6	2.6	2.6	9.2	2.2	0.7	

太字数値は、各地域の第1位

3-3. いじめのことについて

問11 今の学年になってから、学校で、友だちがいじめられているところを見たり、聞いたりしたことはありましたか。(1つに)

今の学年になってからのいじめの見聞きについて、「どちらもない」60.1%、「見たことはないが、聞いたことがある」19.7%、「見たことがある」19.0%と続く。



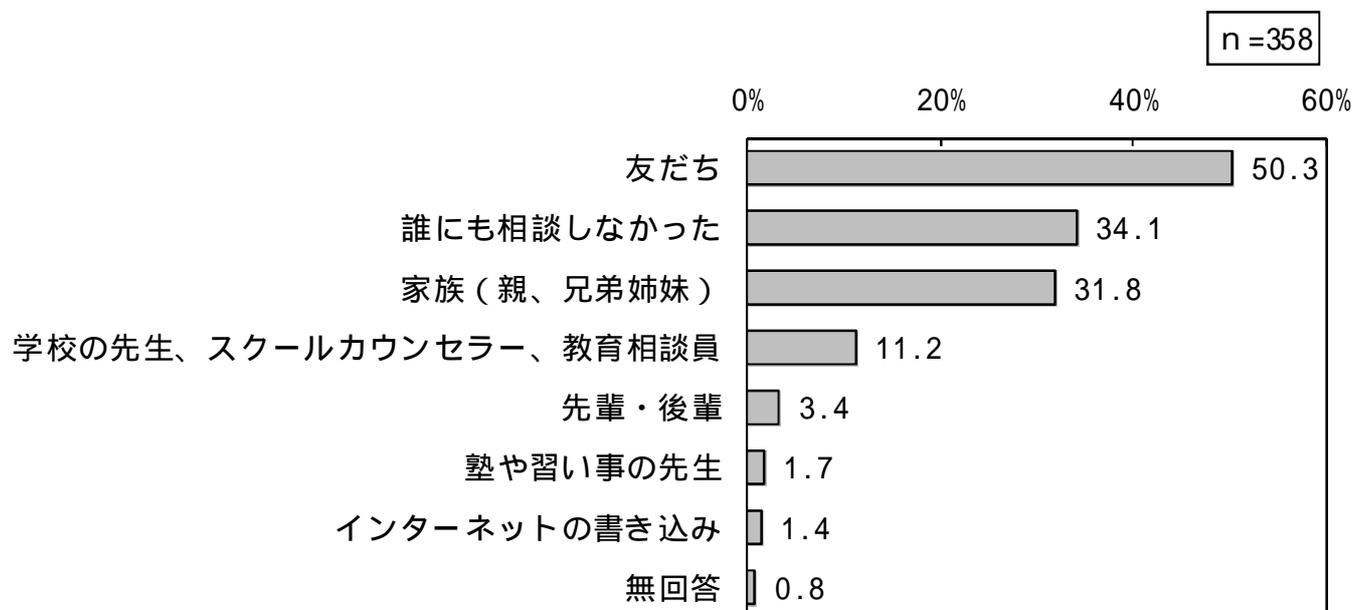
		合計	見たことがある	見たことはないが、聞いたことがある	どちらもない	無回答
全体		924 100.0	176 19.0	182 19.7	555 60.1	11 1.2
地域別	中宇治地域	229 100.0	36 15.7	47 20.5	144 62.9	2 0.9
	西宇治地域	401 100.0	104 25.9	69 17.2	222 55.4	6 1.5
	東宇治地域	272 100.0	35 12.9	60 22.1	175 64.3	2 0.7

太字数値は、各地域の第1位

【3.小・中学生】

問12 問11で「見たことがある」、「見たことはないが、聞いたことがある」のどちらかに答えた人に聞きます。そのことを誰かに話しましたか。(あてはまるものすべてに)

いじめの見聞きがある方のうち、そのことを誰かに話したかは、「友だち」50.3%が最も多く、次いで「誰にも相談しなかった」34.1%、「家族」31.8%と続く。

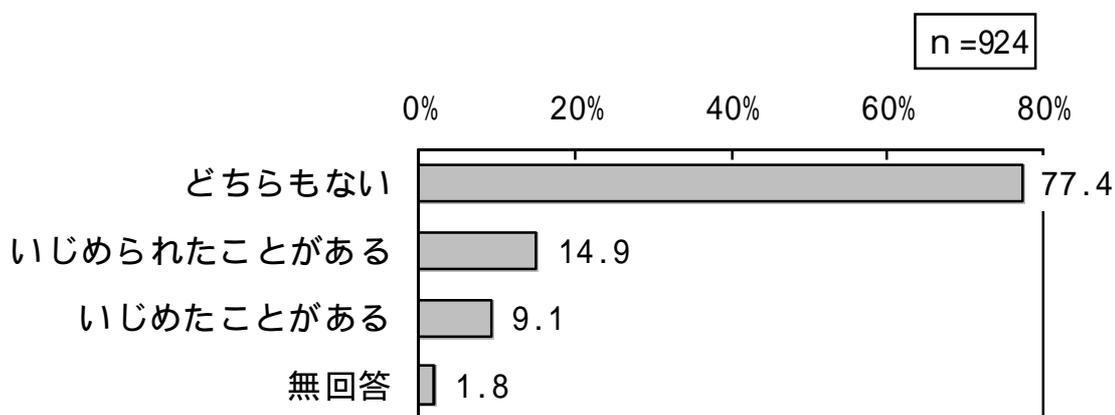


上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	家族(親、兄弟姉妹)	友だち	先輩・後輩	学校の先生、スクールカウンセラー、教育相談員	塾や習い事の先生	インターネットの書き込み	誰にも相談しなかった	無回答
太字数値は、各地域の第1位										
全体		358 100.0	114 31.8	180 50.3	12 3.4	40 11.2	6 1.7	5 1.4	122 34.1	3 0.8
地域別	中宇治地域	83 100.0	29 34.9	42 50.6	6 7.2	8 9.6	3 3.6	2 2.4	26 31.3	0 0.0
	西宇治地域	173 100.0	58 33.5	91 52.6	3 1.7	20 11.6	2 1.2	1 0.6	58 33.5	2 1.2
	東宇治地域	95 100.0	27 28.4	44 46.3	3 3.2	11 11.6	1 1.1	2 2.1	34 35.8	1 1.1

【3.小・中学生】

問13 今の学年になってから、あなたが、友だちをいじめたり、友だちにいじめられたりしたことはありますか。（あてはまるものすべてに ）

今の学年になってからのいじめ（した・された）について、「どちらもない」77.4%、「いじめられたことがある」14.9%、「いじめたことがある」9.1%となっている。

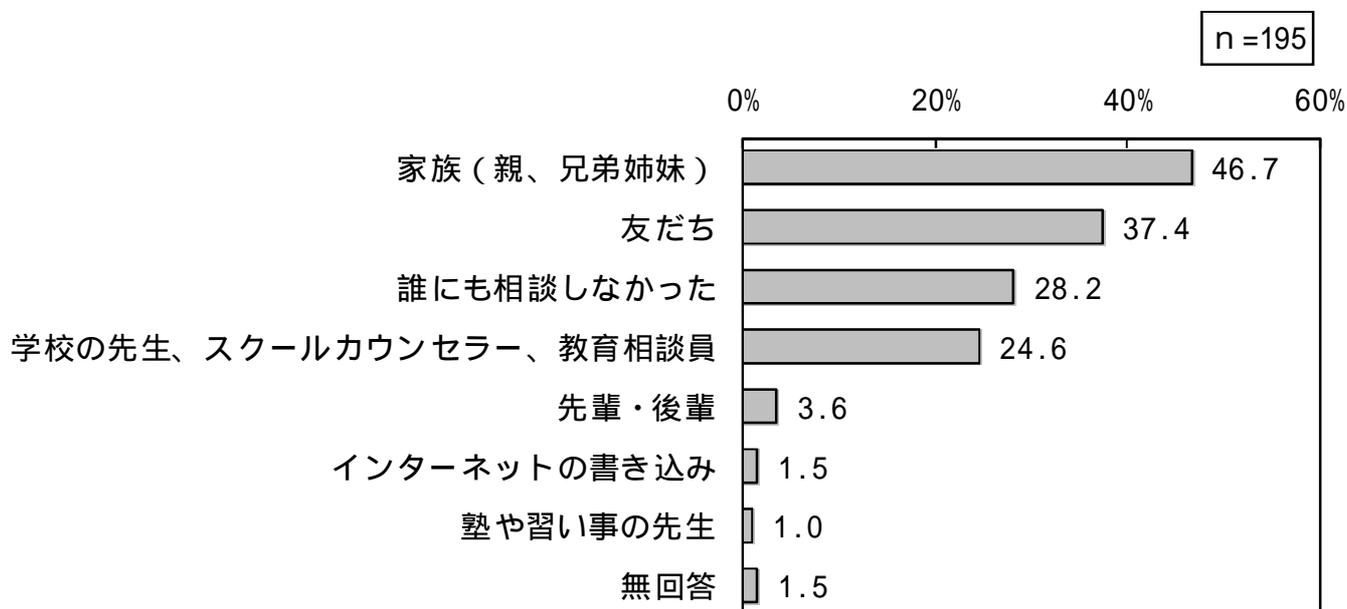


		合計	いじめたことがある	いじめられたことがある	どちらもない	無回答
上段：人数（人） 下段：割合（%）						
太字数値は、各地域の第1位						
全体		924 100.0	84 9.1	138 14.9	715 77.4	17 1.8
地域別	中宇治地域	229 100.0	18 7.9	38 16.6	180 78.6	0 0.0
	西宇治地域	401 100.0	45 11.2	65 16.2	296 73.8	9 2.2
	東宇治地域	272 100.0	18 6.6	35 12.9	221 81.3	7 2.6

【3.小・中学生】

問14 問13で「いじめたことがある」、「いじめられたことがある」のどちらかに答えた人に聞きます。そのことを誰かに話しましたか。(あてはまるものすべてに)

いじめ(した・された)の経験がある方のうち、そのことを誰かに話したかは、「家族」46.7%が最も多く、次いで「友だち」37.4%、「誰にも相談しなかった」28.2%と続く。



	合計	家族(親、兄弟姉妹)	友だち	先輩・後輩	学校の先生、 スクールカウンセラー、 教育相談員	塾や習い事の先生	インターネットの書き込み	誰にも相談しなかった	無回答	
										上段: 人数(人) 下段: 割合(%)
全体	195 100.0	91 46.7	73 37.4	7 3.6	48 24.6	2 1.0	3 1.5	55 28.2	3 1.5	
地域別	中宇治地域	49 100.0	31 63.3	19 38.8	3 6.1	12 24.5	2 4.1	2 4.1	12 24.5	0 0.0
	西宇治地域	99 100.0	38 38.4	41 41.4	4 4.0	26 26.3	0 0.0	1 1.0	26 26.3	3 3.0
	東宇治地域	44 100.0	21 47.7	13 29.5	0 0.0	9 20.5	0 0.0	0 0.0	16 36.4	0 0.0

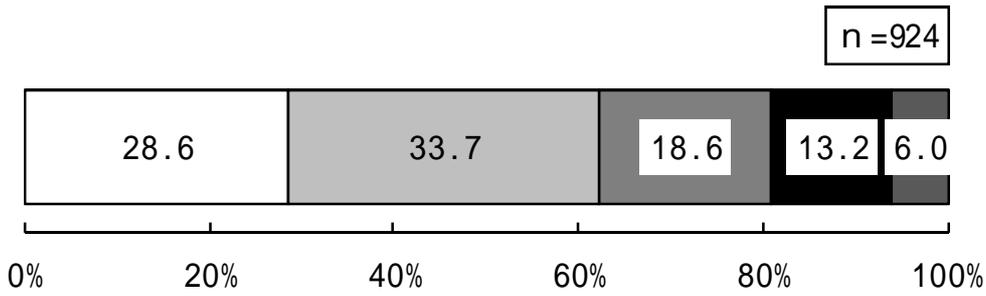
問15 「いじめ」についてどう思いますか。あなたの考えを書いてください。(記述回答)

回答意見はすべて、いじめを「してはいけない」「なくしたい」という内容であった。意見の中には「いじめなのかどうか境界線がわからない」「先生がもっと気を付けて欲しい」「いじめている人の事情をよく知ることも必要ではないか」という意見もみられた。

3-4.地域のことについて

問16 この1年間に、近所の祭りや掃除など、地域で行っている活動に参加しましたか。(1つに)

この1年間で、地域活動に参加したかは、「ときどき参加している」33.7%が最も多く、次いで「よく参加している」28.6%、「あまり参加していない」18.6%と続く。

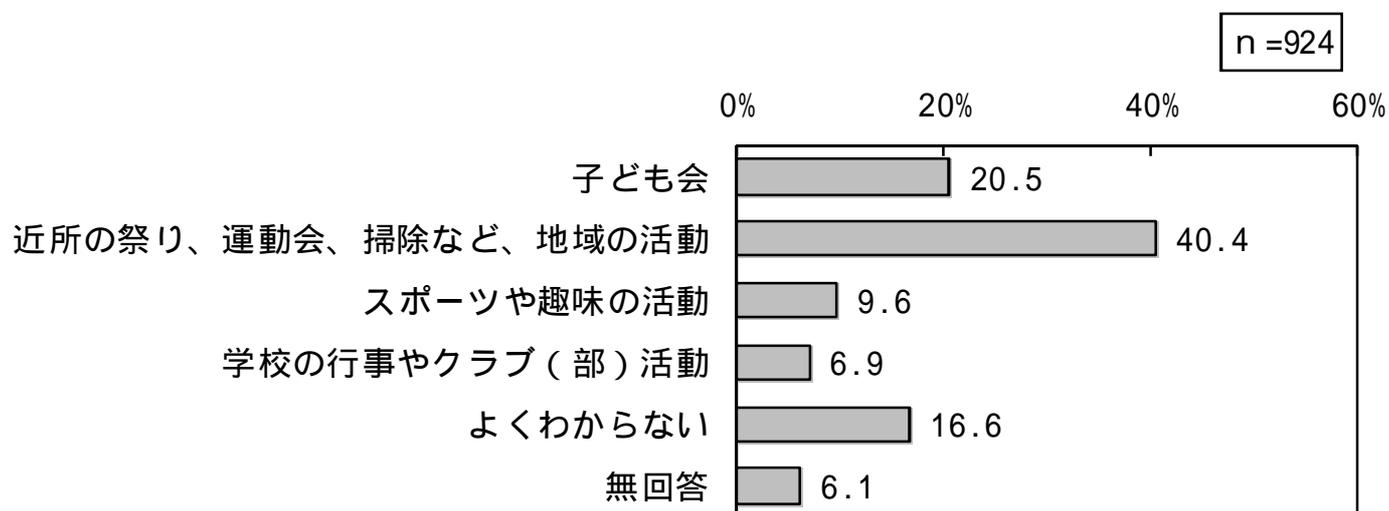


- よく参加している
- ▨ときどき参加している
- ▩あまり参加していない
- まったく参加していない
- 無回答

		合計	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
上段：人数(人) 下段：割合(%)							
太字数値は、各地域の第1位							
全体		924 100.0	264 28.6	311 33.7	172 18.6	122 13.2	55 6.0
地域別	中宇治地域	229 100.0	66 28.8	80 34.9	41 17.9	31 13.5	11 4.8
	西宇治地域	401 100.0	110 27.4	142 35.4	62 15.5	49 12.2	38 9.5
	東宇治地域	272 100.0	81 29.8	84 30.9	65 23.9	36 13.2	6 2.2

問17 子どもが地域の人たちと知り合うきっかけは、なにが一番よいと思いますか。(1つに)

子どもと地域の人を知り合うきっかけで最良だと思うことは、「近所の祭り、運動会、掃除など、地域の活動」40.4%が最も多く、次いで「子ども会」20.5%、「スポーツや趣味の活動」9.6%と続く。（「よくわからない」を除く）

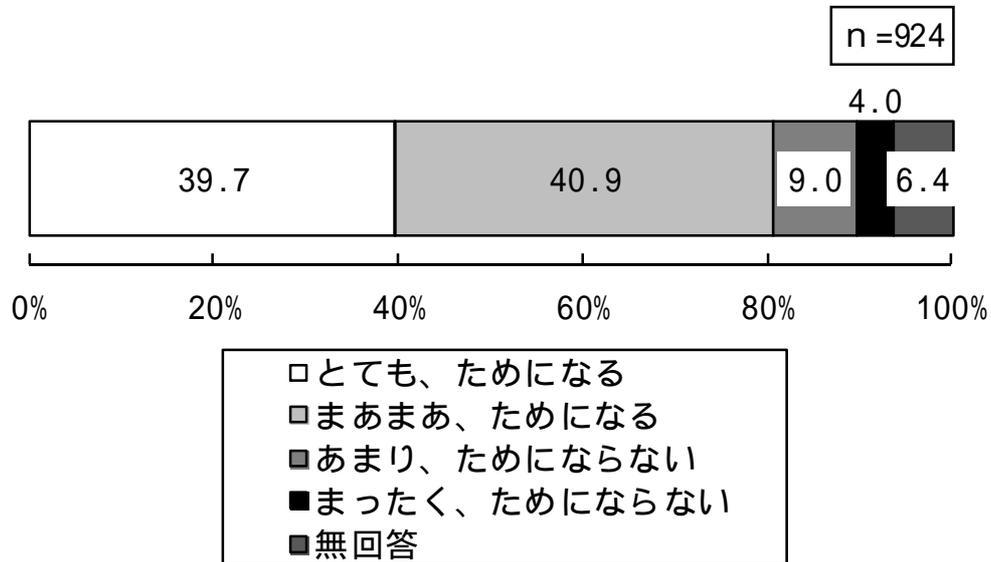


上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	子ども会	近所の祭り、運動会、掃除など、地域の活動	スポーツや趣味の活動	学校の行事やクラブ(部)活動	よくわからない	無回答
全体		924 100.0	189 20.5	373 40.4	89 9.6	64 6.9	153 16.6	56 6.1
地域別	中宇治地域	229 100.0	50 21.8	95 41.5	24 10.5	11 4.8	38 16.6	11 4.8
	西宇治地域	401 100.0	73 18.2	143 35.7	36 9.0	39 9.7	71 17.7	39 9.7
	東宇治地域	272 100.0	60 22.1	128 47.1	26 9.6	13 4.8	39 14.3	6 2.2

【3.小・中学生】

問18 あなたは、地域の人たちとふれあうことが、自分のためになると思いますか。(1つに)

地域の人たちとふれあうことが自分のためになると思うかは、「まあまあ、ためになる」40.9%が最も多く、次いで「とても、ためになる」39.7%、「あまり、ためにならない」9.0%と続く。



上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	とても、 ためになる	まあまあ、 ためになる	あまり、 ためにならない	まったく、 ためにならない	無回答
全体		924 100.0	367 39.7	378 40.9	83 9.0	37 4.0	59 6.4
地域別	中宇治地域	229 100.0	89 38.9	99 43.2	24 10.5	6 2.6	11 4.8
	西宇治地域	401 100.0	149 37.2	158 39.4	29 7.2	25 6.2	40 10.0
	東宇治地域	272 100.0	119 43.8	113 41.5	26 9.6	6 2.2	8 2.9

4 . 市立幼稚園長

問1 貴園について、該当項目に記入して下さい。

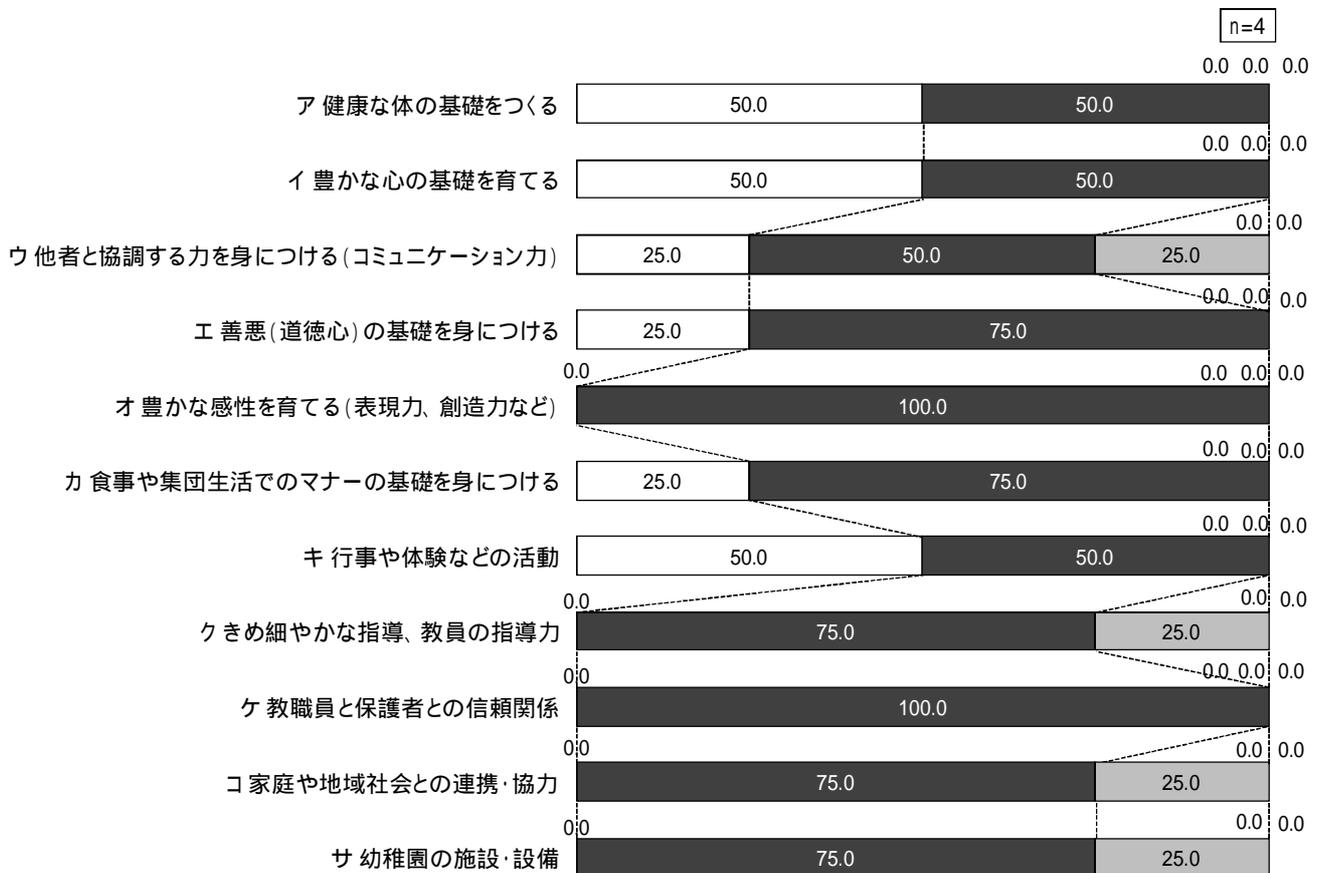
全 4 園から回答があった。

4 - 1 . 教育内容について

問2 園の教育について、現状をどのように評価しますか（それぞれ1つに ）

園の教育に関する現状の評価で、「十分にできている」割合が最も多いのは、『ア 健康な体の基礎をつくる』、『イ 豊かな心の基礎を育てる』、『キ 行事や体験などの活動』ともに 50.0%、「まあできている」割合が最も多いのは、『オ 豊かな感性を育てる』、『ケ 教職員と保護者との信頼関係』ともに 100.0%となっている。

「ややできていない」割合がみられる項目は、『ウ 他者と協調する力を身につける』、『ク きめ細やかな指導、教員の指導力』、『コ 家庭や地域社会との連携・協力』、『サ 幼稚園の施設・設備』であった。



□十分にできている ■まあできている □ややできていない □できていない ■無回答

4 - 2 . 学社連携について

問3 学齢期の子どもたちの成長・発達のための、家庭及び保護者・学校・地域の役割分担について項目毎に最も重要な役割と思うものに「1」を、次いで重要な役割に「2」をつけて下さい。

<p>ケース1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目</p>	<p>ア 学力の基礎・基本を身につける エ いじめを決して許さない態度を育てる キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にすることを育てる</p>
<p>ケース2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目</p>	<p>イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる ク 生まれ育った地域を愛することを育てる ケ 自然を大切にすることを育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける</p>
<p>ケース3 子どもたちの成長・発達において、「学校」と「家庭」が同等に最も重要な役割を担う項目 ポイント差+10%以内</p>	<p>オ 良好な人間関係をつくる力を育てる カ 自発的に行動する意欲を育てる</p>

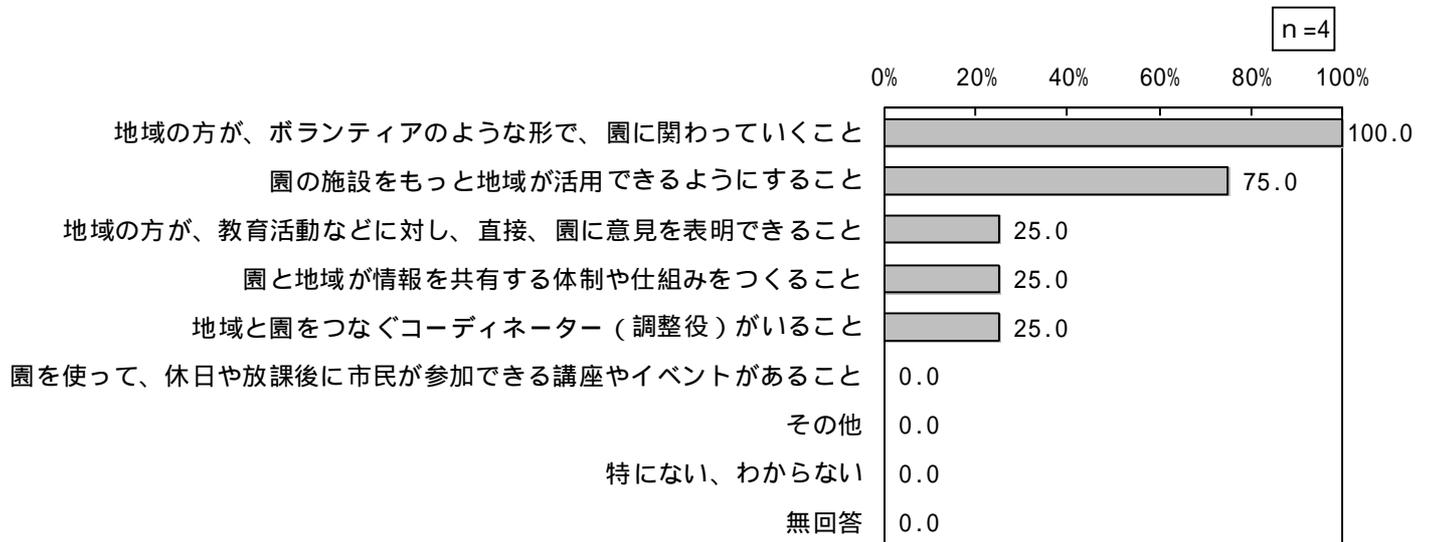
(上段：人数 下段：割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
網掛けは最重要、重要それぞれの第1位									
ア 学力の基礎・基本を身につける	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
イ 社会のマナーやルールを教える	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
エ いじめを決して許さない態度を育てる	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
カ 自発的に行動する意欲を育てる	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
キ 運動能力や体力を向上させる	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
ク 生まれ育った地域を愛することを育てる	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
ケ 自然を大切にすることを育てる	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
サ 他国の文化を大切にすることを育てる	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

【 4 . 市立幼稚園長】

問4 家庭・幼稚園・地域と一緒に子どもたちを育てていくために、重要なことは何だと考えますか。
 (主なもの3つまで)

地域と一緒に子どもたちを育てていくために重要だと思うことは、「地域の方が、ボランティアのような形で、園に関わっていくこと」100.0%が最も多く、次いで「園の施設をもっと地域が活用できるようにすること」75.0%と続く。



4 - 3 . 教員の資質向上に関すること

問5 幼稚園運営や地域づくりに主体的に取り組む教員を育成するため、市教育委員会が果たす役割についての意見・ご提案をお聴かせ下さい。(箇条書き可)

情報の共有化

研修の充実(実践的なロールプレイング、豊かな感性を育む、幼小交流、他市町村への派遣)

人材の採用(コミュニケーション力、協調性、実習成績の重視、対応力、感性の豊かさ)

体制づくり(教員の適正配置、事務職員の柔軟な配置、教育委員会としての現状把握)

4 - 4 . 宇治市の教育行政に関すること

問6 市の幼児教育に関する主な課題と、課題解決（改善）の方策についての意見・提案

ア 課題	イ 課題解決（改善）の方策
<ul style="list-style-type: none"> ● 園児数の減少 ● 就園率の低下 ● 少子化 	（幼稚園としての方策）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「こんにちはようちえん」の充実に力を入れ早期に公立園に興味をもっていただけるよう、働きかけていく。 ● 未就園児保育の充実、アピール ● 一人ひとりの個性の育ちを保護者に確認できるアピールの仕方 ● 地域の園としての存在感の訴え
	（市教育行政としての方策）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年保育や預かり保育など、保護者ニーズへ応えるための体制づくりの検討 ● 広く訴える方法
	（家庭・地域としての方策、その他）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族を巻き込んでの魅力的な活動の工夫、地域と共同での行事等を通してアピール活動をする。 ● 気軽に使用、参加できる地域の公の施設としてアピールする。

<ul style="list-style-type: none"> ● 公立幼稚園教育の啓発がされていない（公教育の良さ） ● 親教育の必要性 	（幼稚園としての方策）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児の姿を通じて、教育内容の理解・啓発を積極的に行う。 ● 地域行事に参加したり、地域の施設、環境を通じて、地域の幼稚園としてのアピールを積み重ねる。
	（市教育行政としての方策）
	<ul style="list-style-type: none"> ● P R 活動（保護者はどこに公立幼があるのか全く知らなかった、遠くて通えない等の事をよく聞く） ● 広報紙の活用（未就園児交流活動実施等） ● 教育的価値のある保育の検討（市役所ロビーに教育現場の P R ）
	（家庭・地域としての方策、その他）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼稚園施設を利用して、幼児が集えるような行事を開催したり、地域の子どもの交流の場としての施設活用。

問7 宇治市の特性を活かす幼児教育のために市教育委員会に期待すること

幼 小 中 高とスムーズに接続してつながりのある教育、異校種間の交流、情報交換
 特別な教育的支援を要する子ども達が早期からの専門の療育や教育を受けられるようにすること
 幼児が参加できる企画（幼児のうちから、宇治茶に親しむような機会など）
 市立幼稚園として、教育的意義のある子育てサービスを制度化していく

5 . 学校長、小中一貫教育コーディネーター

問1 貴方・貴校について、該当項目に記入して下さい。

小学校 16 校、中学校 6 校から回答があった。

5 - 1 . 教育内容について

問2 『宇治スタンダード』（小中一貫教育カリキュラム）について独自で創意工夫していること

（複数意見の要約記載）

ア いしずえ学習（基礎・基本学力の定着）

朝学習、昼のいしずえタイム、放課後学習ぐんぐんタイム、算数タイムなどの実施

全校補習、個別補習、「ふりかえりスタディ」の実施

読書活動、読書タイムの実施

家庭学習点検活動の実施、保護者アンケート

中学校ブロックで診断テストを実施

全校で漢字検定試験

個に応じた指導の徹底（個別の教育支援計画の作成、補充・発展学習の実施）

学習の手引き（小学生版、中学生版）の作成 など

イ 宇治学（ふるさと教育）

地域の歴史、環境、産業等の学習

福祉施設との交流

茶摘み、栽培、田植え、稲刈り体験、工場見学の実施

「宇治学実施計画」の作成

地域の人材を活用 など

ウ 外国語活動の推進

保護者へ向けての英語のスピーチ

校外学習、京都市内で外国人観光客に自己紹介やインタビューをする

6年生の英語劇（1年生向け）

AET、中学校教科連携教員の活用 など

問3 『宇治スタンダード』の質を向上するための意見・提案

(複数意見の要約記載)

ア 学校に関すること

実施と検証による改善、効果の検証方策

体育科、図工科、家庭科、特別活動等のスタンダード構築(単元配列例、一時間毎のめあて)

教職員の意識の更なる向上、管理職の指導力の向上

小中連携、小小連携、中中連携の推進

低位層との学びの場の共有化、土曜活用

中学校ブロックとして統一したスクールマネジメントプラン(校務分掌の整理)

家庭学習の定着を図る取組、啓発活動 など

イ 市教育委員会に関すること

具体的にわかりやすい宇治スタンダードの提示

具体的な目標設定(どの段階で、どのような力をつけるか)

優れた実践例の共有化

高校や私学との連携

活用できる人材のリスト化(データベース)、地域学習での素材の発掘

分散進学への対応

若手教員の実技研修(講座では実践力がつかない) など

ウ 家庭・地域に関すること、その他

学校や一貫教育に期待していることの分析

教員にも、保護者にも学校行事やPTA行事、地域行事に積極的に参加してほしい

地元にあるサークル、研究会等との交流(民話、歴史等)

学校施設を地域が活用すること

地域学習を行うための人材発掘

学校・家庭・地域が連携して課題解決に取り組むシステムの構築 など

5 - 2 . 学社連携について

問4 子どもたちの成長・発達のための、家庭及び保護者・学校・地域の役割分担について、項目毎に最も重要な役割と思うものに「1」を、次いで重要な役割に「2」をつけて下さい。

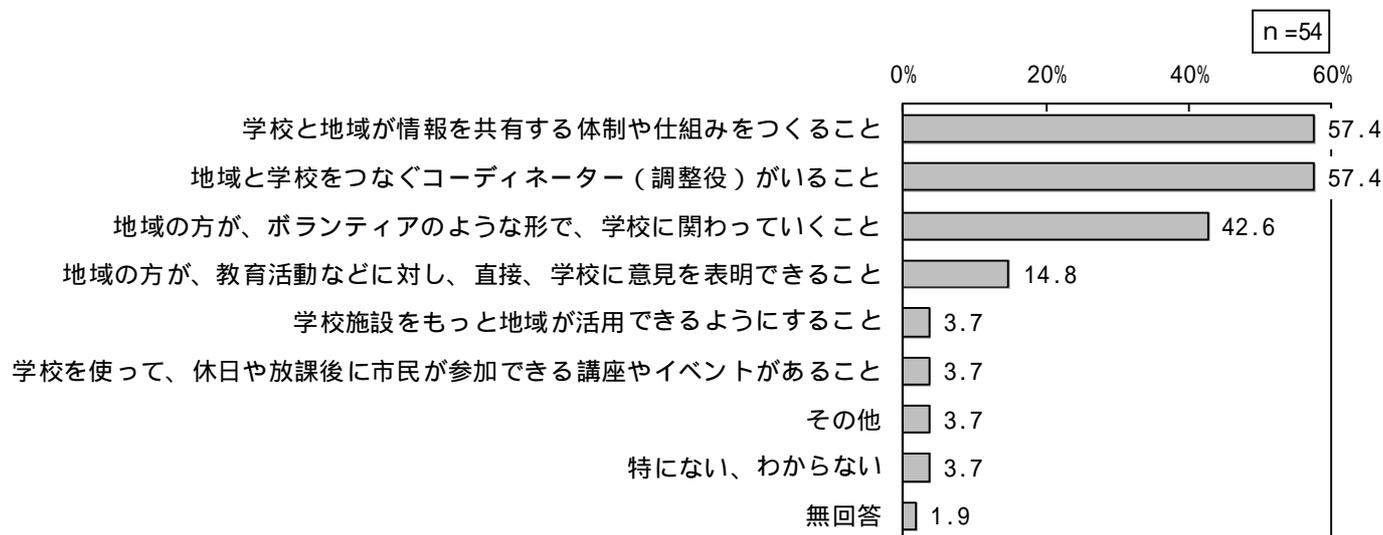
ケース 1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目	ア 学力の基礎・基本を身につける エ いじめを決して許さない態度を育てる オ 良好な人間関係をつくる力を育てる キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にすることを育てる
ケース 2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目	イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる ケ 自然を大切にすることを育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける
ケース 3 子どもたちの成長・発達において、「学校」と「家庭」が同等に最も重要な役割を担う項目 ポイント差+10%以内	カ 自発的に行動する意欲を育てる ク 生まれ育った地域を愛することを育てる

(上段：人数 下段：割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
網掛けは最重要、重要それぞれの第1位									
ア 学力の基礎・基本を身につける	54 100.0	4 7.4	50 92.6	0 0.0	0 0.0	50 92.6	4 7.4	0 0.0	0 0.0
イ 社会のマナーやルールを教える	54 100.0	45 83.3	9 16.7	0 0.0	0 0.0	8 14.8	41 75.9	5 9.3	0 0.0
ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる	54 100.0	43 79.6	11 20.4	0 0.0	0 0.0	11 20.4	42 77.8	1 1.9	0 0.0
エ いじめを決して許さない態度を育てる	54 100.0	14 25.9	40 74.1	0 0.0	0 0.0	39 72.2	14 25.9	1 1.9	0 0.0
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	54 100.0	21 38.9	33 61.1	0 0.0	0 0.0	31 57.4	18 33.3	5 9.3	0 0.0
カ 自発的に行動する意欲を育てる	54 100.0	28 51.9	25 46.3	0 0.0	1 1.9	23 42.6	27 50.0	3 5.6	1 1.9
キ 運動能力や体力を向上させる	54 100.0	7 13.0	44 81.5	2 3.7	1 1.9	35 64.8	6 11.1	11 20.4	2 3.7
ク 生まれ育った地域を愛することを育てる	54 100.0	23 42.6	18 33.3	13 24.1	0 0.0	18 33.3	19 35.2	17 31.5	0 0.0
ケ 自然を大切にすることを育てる	54 100.0	36 66.7	17 31.5	1 1.9	0 0.0	14 25.9	32 59.3	8 14.8	0 0.0
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	54 100.0	53 98.1	1 1.9	0 0.0	0 0.0	1 1.9	52 96.3	0 0.0	1 1.9
サ 他国の文化を大切にすることを育てる	54 100.0	10 18.5	44 81.5	0 0.0	0 0.0	40 74.1	10 18.5	4 7.4	0 0.0

問5 家庭・学校・地域の連携において特に重要なことは何ですか。（主なもの2つまで）

家庭・学校・地域の連携において特に重要なことは、「学校と地域が情報を共有する体制や仕組みをつくること」、「地域と学校をつなぐコーディネーターがいること」ともに57.4%が最も多く、次いで「地域の方が、ボランティアのような形で、学校に関わっていくこと」42.6%と続く。



問6 市における学社連携に関して、現状をふまえた課題と、課題解決（改善）の方策についてのご意見・ご提案をお聴かせ下さい。（箇条書き可）

（複数意見の要約記載）

ア 課題

学校とつながり、協力的な方の人数や高齢化
 地域社会の希薄化、社会・地域の教育力の低下
 地域リーダー、諸団体メンバーの高齢化
 学社連携が担任個人に任せられ、学校全体の取組になっていない
 毎年担任が代わる現状ではやりにくい
 地域と学校をつなぐコーディネーターの不在
 教職員の意識が低い、教員の多忙感 など

イ 課題解決（改善）の方策

< 学校としての方策 >

具体的な連携が実施できるよう年間計画に位置づける
 窓口となる人の分担や引きつぎを徹底する
 中学校ブロックからの育友会・地域への呼びかけ
 地域開放のできる教室の設置
 体験活動等で社会人講師を活用
 互いの考える「学社連携」のあり方について意見を交流する場
 コーディネーターの位置づけを明確にする（管理職のみならず） など

< 市教育行政としての方策 >

地域コーディネーターをおき、地域と地域をつなげるような活動を進める
学校支援地域本部を推進する
教員に新たな負担とならないようしくみづくり
市民への広報活動
分散進学への対応 など

< 家庭・地域としての方策 >

学校施設の積極的利用
町内（自治）会活動への積極的参加
地域ボランティア活動への積極的参加
若いリーダー層の育成
年間を通して学校と地域団体の協力で居場所づくり など

5 - 3 . いじめに関すること

問7 いじめに関して、現状をふまえた課題と、課題解決（改善）の方策についてのご意見・ご提案をお聴かせ下さい。（箇条書き可）

（複数意見の要約記載）

ア 課題

ネットや携帯の書き込みなど、いじめが見えない所で行われていたり、見えにくくなっている
加害者がいじめと認識していない
心の安定・家庭の安定が満たされていない子どもの粗暴な言動
児童生徒の規範意識、自己肯定感の低下
子どもたちのコミュニケーション能力の弱さもある
いじめとふざけの境界線があいまいになっている
早期発見、早期解決に努めているが、巧妙化、陰湿化の傾向が見られる
なぜいじめに走るのか、児童生徒の心を理解することも重要
教員が児童一人ひとりとじっくり話し合えていない
「いじめ」を見抜くための研修
保護者を含む大人の意識改革も必要 など

イ 課題解決（改善）の方策

< 学校としての方策 >

道徳教育の充実
教育相談の充実

いじめに関する認識や対応についての教職員研修
あらゆる課題に組織的に対応できる学校組織づくり
アンケート、聞き取りの実施 など

< 市教育行政としての方策 >

いじめに特化した実践的な研修の実施
被害者へ対しての教育相談・カウンセリング
弁護士やカウンセラーなどを含む対策チームの検討
専門的なカウンセラーやソーシャルワーカーとの連携強化
「人権コーディネーター」、特別支援アドバイザーなどの配置 など

< 家庭・地域としての方策 >

家庭での会話、対話を大切にする
何でも話せる家庭
いじめに対する正しい認識の定着
地域全体にいじめをゆるさない雰囲気づくり
地域として、地域の子どもを見守り、育てていけるようにする など

5 - 4 . 非行・不登校対策に関すること

問8 非行・不登校対策に関して、現状をふまえた課題と、課題解決（改善）の方策についてのご意見・ご提案をお聴かせ下さい。（箇条書き可）

（複数意見の要約記載）

ア 課題

学校だけでは解決できない状況も見られる
関係機関との連携、専門家のアドバイスが重要
幼小期からの家庭環境も要因の一つにあげることができる
生活リズムが乱れ、怠学に進むケースもある など

イ 課題解決（改善）の方策

< 学校としての方策 >

道徳を中心とした心の教育、非行防止教室等の充実
居心地の良い学校・教室づくり
ケース会議の充実
スクールカウンセラーの活用を含め、児童生徒への組織的な対応
関係機関との連携、家庭との連携 など

< 市教育行政としての方策 >

心の居場所サポーターや、スクールカウンセラー等の小学校への配置の検討
専門家チームの組織化、専門機関の活用がスムーズにできる体制づくり
児童相談所との早期連携
家庭の教育力向上に向けた取組
家庭に対して、人権意識や心の教育ができるようなキャンペーンの実施 など

< 家庭・地域としての方策 >

保護者の意識向上、家庭・学校の信頼関係の構築
民生児童委員と学校との連携
地域行事を通して子どもとの関わりを深める

5 - 5 . 教員の資質向上に関すること

問9 学校運営や地域づくりに主体的に取り組む「学び続ける教員」を育成するため、市教育委員会が果たす役割についてのご意見・ご提案をお聴かせ下さい。（箇条書き可）

（複数意見の要約記載）

研修内容の充実（実技研修、ワークショップ型研修、総花的や強制的な研修ではなく、本人のニーズに合った研修システム など）
若手教員への支援（若手教員が切磋琢磨できる環境、地域との交流が進むような支援、ボランティア活動や他業種経験を積み、広い視野を持った人材の育成を行う、ベテラン教員のノウハウを伝える研修 など）
ミドルリーダーの育成を組織し、リーダーどうしのネットワークづくり
若手教員、中堅教員、ミドルリーダーなどの立場の教員をどう育てたいのかを確立する など

5 - 6 . 宇治市の教育行政に関すること

問10 最後に、宇治市の特性を活かす教育のために、市教育委員会に期待することや、「宇治市教育振興基本計画」へのご意見・ご提案をお聴かせ下さい。（自由意見）

（複数意見の要約記載）

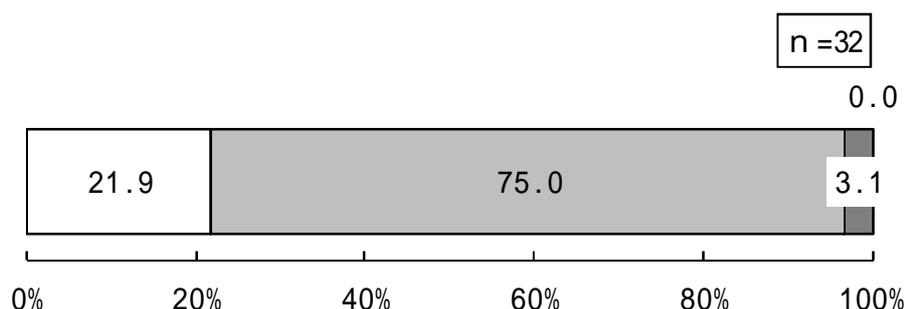
宇治市の独自性、先進的な小中一貫教育の方向を示す
分散進学への対応
学校現場や教職員の実態に合った支援、過度な負担の軽減 など

6 . 適応指導教室職員、特別支援教育コーディネーター、指導主事

6-1 . ご自身の活動について

問1 あなたご自身について、該当項目に をして下さい。

ご自身については、「特別支援教育コーディネーター」75.0%、「適応指導教室職員」21.9%、「指導主事」3.1%。



□ 適応指導教室職員 □ 特別支援教育コーディネーター ■ 指導主事 ■ 無回答

問2 現在の主な業務内容を記入して下さい。(箇条書き可)

< 適応指導教室 >

通所児童・生徒への対応
不登校児童の日常的なサポート

< 特別支援 >

特別に支援の必要な生徒の調査・実態把握（スクリーニングほか）
特別に支援の必要な生徒の支援についての検討
特別に支援の必要な生徒の保護者相談
校内委員会の開催、事例検討ケース会議の開催
教育相談、生徒指導との連携
研修計画と研修内容の検討・実行
地域支援センターうじやことばの教室等、専門機関との連携の調整
個別の指導計画、支援計画の作成
特別支援加配（いきいき支援員）の連絡調整・相談 など

< 指導主事 >

学校教育に係る教育相談を中心に、指導・助言
教育相談に関する情報、データ収集、分析 など

6 - 2 . 活動分野における課題と改善策について

問3 いじめ、不登校、引きこもり、ニートなどに関わりの深い現在の業務において、本市の問題や課題は何ですか。（箇条書き可）

< 適応指導教室 >

- ア 組織に関する問題・課題
 - 心理スタッフの安定確保
 - 職員（学生・ボランティアスタッフ含む）の能力向上、専門研修の充実
 - 情報の伝達（共有）
 - 学校や外部機関との連携
- イ 市教育行政に関する問題・課題
 - 小・中・高・それ以上と、年齢ごとに対応やサポートに継続性がなく、本人のスムーズな社会への適応の障害になっているところが見られる
 - 適応指導教室への通学困難な地域がある
 - 別室登校に対する対応や環境の学校間差
 - 実際に困っている人々に情報がなかなか届いていない
- ウ その他の問題・課題
 - 家庭の教育力の低下
 - 教育関係者の負担が大きいため、教員へのサポートが望まれる

< 特別支援 >

- ア 組織に関する問題・課題
 - 児童相談所や病院など他機関とのつながりの強化（家庭事情による不登校への対応など）
 - 特別支援教育に関する研修の深化
 - 課題のある生徒、問題行動に対応する、専門教員の配置の検討
 - 義務教育終了後の引きこもりやニートについての担当や相談窓口がわかりにくい
 - 発達障害への対応と教育・福祉の連携強化
- イ 市教育行政に関する問題・課題
 - 教員の人材確保や異動による学校への支援体制の充実
 - 児童生徒一人ひとりに対する理解を深めるための体制の検討
 - 子どもがクールダウンしたり、教師が話を聞く場所の不足・確保
 - 特別支援教育と生徒指導・教育相談の融合
- ウ その他の問題・課題
 - 発達障害、学習障害（LD）に対する理解不足、相談できる組織の確立
 - 発達に課題のある児童も多く、教育相談件数も多いため、全て対応できない
 - 保護者との連携が困難なケースの増加

【6．適応指導教室職員、特別支援教育コーディネーター、指導主事】

親に相談先を紹介できる専門機関や医療機関がわかりにくい

民間の取り組み（「親の会」、地域の居場所、就労サポートの会など）に対する市の支援

<指導主事>

ア 組織に関する問題・課題

児童生徒指導の問題は複雑化している。様々な視点とより高度な専門家の力も必要

生徒指導と特別支援教育との連携の強化

臨床心理士の配置時間増

イ 市教育行政に関する問題・課題

子どもを取り巻く環境の問題が親にも大きな影響を与えている、親の心の安定が必要

教育、福祉、保健、医療の関係機関との連携強化と専門アドバイザーが必要

ウ その他の問題・課題

小学校で、中学校と同様、児童の問題行動への対応をコーディネートし、対応できる教員を育成し、組織で対応できる組織づくり

問4 上記の問題・課題を解決・改善する方策についてのご意見・ご提案（できる限り詳しく）

<適応指導教室>

ア 組織としての方策

問題が単年度や数年で解決するものではないため、数年、十年単位で方策を考えること

何よりも大切なのはスタッフの力量。人材を確保するため、安心して力を発揮できる環境整備
情報共有のため、情報ファイリングの充実

各組織に臨床心理士資格などを持つアドバイザーを配置することなどの検討

課題を抱えた児童への一般的な対応方法や支援者に必要な知識に関する定期研修の実施

相談員の複数体制、もしくは家族全体を支援できる体制の整備

イ 市教育行政としての方策

問題が長期的な関わりを要するため、安定した組織運営ができるような方策を考えること

適応指導教室の複数設置の検討

困っている家庭が相談に行ける場所の周知、カウンセラー、精神科医、就労支援機関などの紹介
適応指導教室の卒業生の中から、次世代のスタッフを登用することも考える

ウ 家庭・地域としての方策

家庭だけで問題を抱え込まないように、地域やコミュニティの充実

相談できる場（親のグループ相談、情報交換の場など）の増加

教育 医療 福祉 市民ボランティアなどの横のつながりがわかる仕組み作り

【 6 . 適応指導教室職員、特別支援教育コーディネーター、指導主事】

< 特別支援 >

ア 組織としての方策

集団の中で、児童生徒の話をよく聞くこと（状況の把握）

教員以外で、発達に課題のある児童や保護者からの相談を専門的に対応する特別支援教育コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、小学校への教育相談担当カウンセラー等の配置検討
発達障害を起因とするケースに対応するため、学校と各専門機関との連携強化
通級指導教室の増設の検討

相談窓口の一本化、市民への周知

教育相談、特別支援教育、生徒指導が連携して情報を共有し対応を検討するシステムづくり
教職員の教育相談、特別支援教育への一層の理解研修の推進

イ 市教育行政としての方策

相談窓口の活用

少人数学級等、教師と児童生徒の設定を増加させる方策の検討

教職員や不登校加配、スクールカウンセラーの増加、柔軟な人的措置

系統的な特別支援教育の研修、特別支援教育に関わっている教員以外への研修

学校と指導主事のさらなる連携強化

通級指導教室の整備や、放課後に気軽に訓練ができる公共施設の検討

書類作成などの事務作業の簡素化・効率化

ウ 家庭・地域としての方策

家庭の立て直しや支援の対策強化、家庭で人を大切にする心を育てる

親の会やサポート施設のネットワーク化（市の財政的援助）

保護者を支援する各関係機関の連携強化

< 指導主事 >

ア 組織としての方策

特別支援教育や問題行動不登校など総合的に対応するシステムの確立

臨床心理士、社会福祉士の増員

イ 市教育行政としての方策

教育と福祉、精神医療・保健の各分野の専門職が連携する相談窓口の設置

ウ 家庭・地域としての方策

かつて地域にあった教育を再構築する取り組み

6-3 . 家庭・学校・地域との連携について

問5 子どもたちの成長・発達のための、家庭及び保護者・学校・地域の役割分担について、項目毎に最も重要な役割と思うものに「1」を、次いで重要な役割に「2」をつけて下さい。

<p>ケース1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目</p>	<p>ア 学力の基礎・基本を身につける エ いじめを決して許さない態度を育てる キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にすることを育てる</p>
<p>ケース2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目</p>	<p>イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる カ 自発的に行動する意欲を育てる ク 生まれ育った地域を愛することを育てる ケ 自然を大切にすることを育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける</p>
<p>ケース3 子どもたちの成長・発達において、「学校」と「家庭」が同等に最も重要な役割を担う項目 ポイント差+・-10%以内</p>	<p>オ 良好な人間関係をつくる力を育てる</p>

(上段：人数 下段：割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
網掛けは最重要、重要それぞれの第1位									
ア 学力の基礎・基本を身につける	32 100.0	1 3.1	30 93.8	0 0.0	1 3.1	30 93.8	1 3.1	0 0.0	1 3.1
イ 社会のマナーやルールを教える	32 100.0	28 87.5	3 9.4	0 0.0	1 3.1	3 9.4	23 71.9	5 15.6	1 3.1
ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる	32 100.0	29 90.6	1 3.1	1 3.1	1 3.1	2 6.3	28 87.5	1 3.1	1 3.1
エ いじめを決して許さない態度を育てる	32 100.0	11 34.4	20 62.5	0 0.0	1 3.1	20 62.5	10 31.3	1 3.1	1 3.1
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	32 100.0	17 53.1	14 43.8	0 0.0	1 3.1	11 34.4	16 50.0	4 12.5	1 3.1
カ 自発的に行動する意欲を育てる	32 100.0	17 53.1	13 40.6	0 0.0	2 6.3	12 37.5	16 50.0	2 6.3	2 6.3
キ 運動能力や体力を向上させる	32 100.0	3 9.4	27 84.4	1 3.1	1 3.1	14 43.8	3 9.4	13 40.6	2 6.3
ク 生まれ育った地域を愛することを育てる	32 100.0	16 50.0	4 12.5	11 34.4	1 3.1	8 25.0	12 37.5	11 34.4	1 3.1
ケ 自然を大切にすることを育てる	32 100.0	21 65.6	5 15.6	5 15.6	1 3.1	8 25.0	16 50.0	7 21.9	1 3.1
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	32 100.0	31 96.9	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	30 93.8	1 3.1	1 3.1
サ 他国の文化を大切にすることを育てる	32 100.0	7 21.9	21 65.6	3 9.4	1 3.1	18 56.3	8 25.0	4 12.5	2 6.3

【 6 . 適応指導教室職員、特別支援教育コーディネーター、指導主事】

問6 最後に、宇治市の特性を活かす教育のために、市教育委員会に期待することや、「宇治市教育振興基本計画」へのご意見・ご提案をお聴かせ下さい。（自由記入）

（複数意見の要約記載）

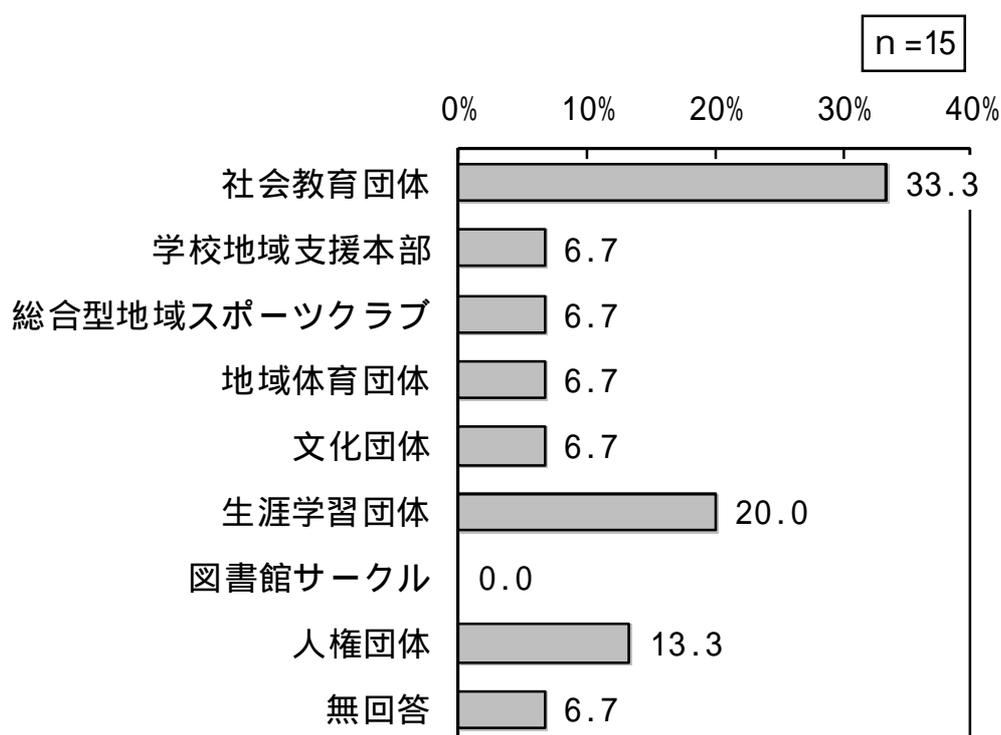
現在の適応指導教室の施設・環境の維持
宇治市のいきいき支援員制度の継続・充実
加配講師の増員 など

7 . 団体代表者

7 - 1 . 団体の活動について

問1 貴団体について、該当項目に をして下さい。

回答のあった団体については、「社会教育団体」33.3%が最も多く、次いで「生涯学習団体」20.0%、「人権団体」13.3%と続く。



問2 現在の主な業務内容を記入して下さい。（箇条書き可）

社会教育団体	<p>各地域女性の会活動の特性の伸張や活性化、新しい仲間づくりの活動。会員のリーダー学習機会の拡充と活動交流の場を広げ、女性の力の結集を図る。</p> <p>地域社会づくりに参画し、福祉の増進を目指すとともに、関係諸組織との連絡調整を図りながら、女性の会の力量を高める。</p> <p>街頭指導を中心とした補導活動を実施。研修、広報活動を充実し補導員の資質・技術の向上に努めている。</p> <p>京都府「青少年の健全な育成に関する条例」の趣旨に沿い、環境浄化推進活動を実施。</p> <p>児童少年問題に対する市民意識の醸成を図るための啓発活動を実施。</p> <p>公立幼稚園の保護者と一緒に、園児の幼稚園生活内のお手伝いや支援。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 7 . 団体代表者】

	<p>年間 13 回の定例会</p> <p>スポーツ交流会（年 1 回）、文化発表会（コーラス、展示）（年 1 回）、他団体への参加・協力、単 P 会長（理事）への補佐</p> <p>志を同じくする仲間でのサークル活動を通し、相互の親睦を図ると共に、社会教育に寄与し、生涯学習の向上を目指している。</p>
学校地域支援本部	<p>2009 年に学校内の空き教室を開放していただき、「北楨つながりルーム」としてオープン。毎週火曜にコーディネーターが常駐し、地域の見守り隊員や図書ボランティアの活動の拠点となっている。</p> <p>小・中連携を深めるため、中学校区の 3 校（楨島小・北楨小・楨中）合同で携帯電話についてのミーティングなども開催。現在は北楨小にて放課後学習会も行っている。</p>
総合型地域スポーツクラブ	<p>定期的なスポーツ教室：バドミントン、卓球、幼児親子体操、健康体操、ZUMBA、エアロビクス、テニス、タグラグビー、バレーボール、ボウリング、ソフトテニス、ノルディックウォーキング、グラウンドゴルフ、ドッジボール、ビーチボール、ボクシング</p> <p>大会・イベント：バーベキュー、スキースクール、体力測定会、ショートテニス大会、ホッケー大会、ボウリング大会</p>
地域体育団体	<p>スポーツを普及奨励すること</p> <p>青少年スポーツ団体の育成指導</p> <p>スポーツ指導者の育成</p>
文化団体	<p>文化・芸術団体（80 団体・2000 人登録）の活動支援及び普及活動</p> <p>芸文協だよりの発行（年 2 回）、HP の更新</p> <p>フォーラムの開催による文化・芸術の普及活動</p>
生涯学習団体	<p>心豊かに充実した人生を過ごしている人（主としてシニア）を発掘し、その人の体験談・生き様を聴くことにより、市民に元気生活のレシピを提供し、一歩前に出て積極的に地域活動する切掛けにつなげることを目的とした「おしゃべりサロン」を継続開催。これまで 115 回開催、延べ 6,000 余名が参加。</p> <p>年間 30 講座の大学教授を中心とした講演を実施。1 講座 100 名前後の聴講者が参加。</p> <p>宇治市内にある、地域文庫の代表者が集まり、文庫間での情報交換や知恵の共有などの交流を行っている。</p>
人権団体	<p>人権相談</p> <p>人権啓発活動</p> <p>人権侵害に係る調査</p> <p>人権と福祉のまちづくり運動</p> <p>教育、高齢者、防災、文化活動等、地域の連携、共に協働でとりくむ。</p>

7 - 2 . 活動分野における課題と改善策について

問3 貴団体が関わっている各分野（教育、スポーツ、生涯学習、文化、人権）について、本市の問題や課題は何だと感じていますか。（箇条書き可）

（各分野をまとめて記載）

社会教育団体	<p>人的、物的、財政的支援の不足 公立幼稚園への教育体制が遅れている（周辺他市に比べて） いじめ問題への積極性 日常的な社会教育現場への対応 施設・設備の改善改良 社会環境の悪化、人間力の劣化 通学路の安全の確保が十分とはいいがたい</p>
学校地域支援本部	<p>市との連携を深めていきたい。</p>
総合型地域スポーツクラブ	<p>生涯スポーツにおいて、スポーツ関係団体の連携が図れていないこと。 体育協会、体振、スポーツ推進委員、総合型、西宇治体育館、黄檗体育館、太陽が丘（府）の連携、その他市が支援している団体との連携。</p>
地域体育団体	<p>「スポーツ」を分掌する独立した「課」の設置</p>
文化団体	<p>市の窓口は市長部局であり、教育行政との接点がない。</p>
生涯学習団体	<p>定年シニアが一步前に出て、長年培ったシニアの経験・知恵を地域社会に活かすきっかけづくり・環境づくり、生涯学習施策の強化が課題。 新規組織立ち上げ支援に力点が置かれている市民活動サークルの助成制度の見直し。 教育委員会における生涯学習活動団体の実態把握。</p>
人権団体	<p>人権啓発活動への援助。 人権教育の徹底。 教師、学校、家庭、地域が連携して子どもや保護者との話せる関係作り 市行政機関の横の連携をもっと強めてほしい</p>

【 7 . 団体代表者】

問4 上記の問題・課題を解決・改善する方策についてのご意見・ご提案（できる限り詳しく）

（各分野をまとめて記載）

ア 組織としての方策

社会教育団体	PTA との協働事業を強化し、会の活動に勧誘する。 教育と他分野課の連携、人的交流を深く持つ。 予約システムの簡素化 交流の場として相応しいロビーにする。
学校地域支援本部	すべてを無償ボランティアでやっていくのは難しい。せめて御礼の様なものが渡せると助かる。
総合型地域スポーツクラブ	有識者の講演会など、総合型クラブの地域への役割を周知する。 総合型地域スポーツクラブだからこそできることをまず行う。文部科学省の地域スポーツとトップスポーツの好循環プロジェクト事業の委託をうけることにより、地域課題にむけた取組を行うよう現在進めている。 宇治市スポーツ振興計画を策定していながら、そこを重要視していない。できる限り計画を無視しない方向性をもってほしい。
地域体育団体	地域に根ざした体育振興会と連携した取り組みを行う。
文化団体	市との協議会も現在休止中。 （課題は担当窓口の文化自治振興課に資料で示している）
人権団体	宇治市主催の事業へは年齢に応じて、学校等の機関を活用して、広報活動を進めてほしい。 行政、地域が共に連携し必要な情報は共有するシステム作り

イ 市教育行政としての方策

社会教育団体	予算措置の増強 アンケートの結果を伝えるだけでなく、意見交換する場を設けて、様々な体制作りをしていく実行委員会などを立ち上げてほしい。その中には市職員以外に保護者の参加も認めてほしい。 社会教育担当の訪問指導 予算増額
学校地域支援本部	市との連携を深める方策を考えてほしい。
総合型地域スポーツクラブ	各々が生涯スポーツということも含めて活動している。相互理解、協力を図るために市は連携できるしくみをつくってほしい。
地域体育団体	地域に根ざした体育振興会と連携した取り組みを行う。
文化団体	宇治市から方針を示してほしい。

【 7 . 団体代表者】

<p>生涯学習団体</p>	<p>定年シニア向け地域デビューガイダンスの機会充実。現行の地域巡回型セカンドライフ相談交流会は一般参加者が少なく、イベントの周知徹底を含めて見直しが必要と思う。例えば、毎月1～2回(半日間)、シニアのための地域デビュー相談窓口を生涯学習センターに設けて、窓口オープン時は市民から選出したコーディネーター(セカンドライフの過ごし方・心構えと、発行済みのサークル活動一覧表が理解できれば良い)と必要なら学習センター職員で相談対応する。ここで大切なのは市政だよりで毎月PR(継続は力なり)すること。要は、定年を迎えた市民が真っ先に行くところは生涯学習センターとの認識を定着させる努力が必要と思う。</p> <p>多くのシニアは長年培った経験・知恵をもっている。それを地域社会に還元する心意気で一歩前に出て地域活動するシニア活躍の場づくり。特に、INPUT(知識・教養の学び)よりOUTPUT(地域活動・貢献)、LEARNよりDOに力点を置いた生涯学習活動の育成・強化に向けて、海外や国内他府県で実施されている良き事例をベンチマーキングして宇治市民の英知を結集した具体策の立案。</p> <p>「顧客(市民)にとっての価値」を判断基準に、新たな組織の立ち上げ支援施策とともに、市民にとって意義あると認められる組織を継続・発展させる支援施策も設ける。生涯学習ボランティア活動組織の継続発展のためには絶えず新しい人が入会する仕組みの構築も大切との認識のもと、行政の支援をお願いしたい。</p> <p>学習団体の実態を把握してほしい。その上で均等に支援する方法を考えてほしい。</p>
<p>人権団体</p>	<p>基本に立ち返り、学力や豊かな心等、それぞれの力を幼児から高齢者までが常に学ぶべき施策があるといい。</p> <p>教育行政にかかわる職員の質の向上と前向きに活動できる人材を教育する必要がある。</p>

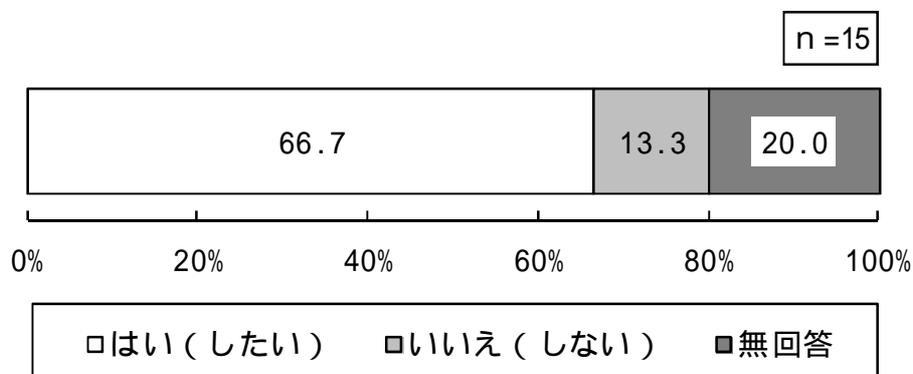
ウ 家庭・地域としての方策

<p>社会教育団体</p>	<p>大人の再教育といたいところだが、現実的ではないので、長期的視野で子ども達に(将来の大人達に)規範意識の醸成を促す教育を施す。</p> <p>広報の活用</p>
<p>総合型地域スポーツクラブ</p>	<p>市民が 教室に参加する際、主催者が異なる場合でも申込手続きを統一するようなしくみをつくる。</p>
<p>地域体育団体</p>	<p>体育振興会に入ってしっかり活動できるように、お互い呼びかける。</p>
<p>文化団体</p>	<p>文化・芸術の普及活動を通じてPRしている。公民館活動との連携は、可能な限り努力している。</p>
<p>人権団体</p>	<p>各家庭や地域へは face to face の関係で気軽に入っていける環境づくりが必要である。</p>

問5 今後の活動において、他分野の団体との交流や連携をしていきたいですか。（1つに ）

ア 交流や連携の希望

今後の活動において、他分野の団体との交流や連携をしていきたいかは、「はい(したい)」66.7%、「いいえ(しない)」13.3%。



（各分野をまとめて記載）

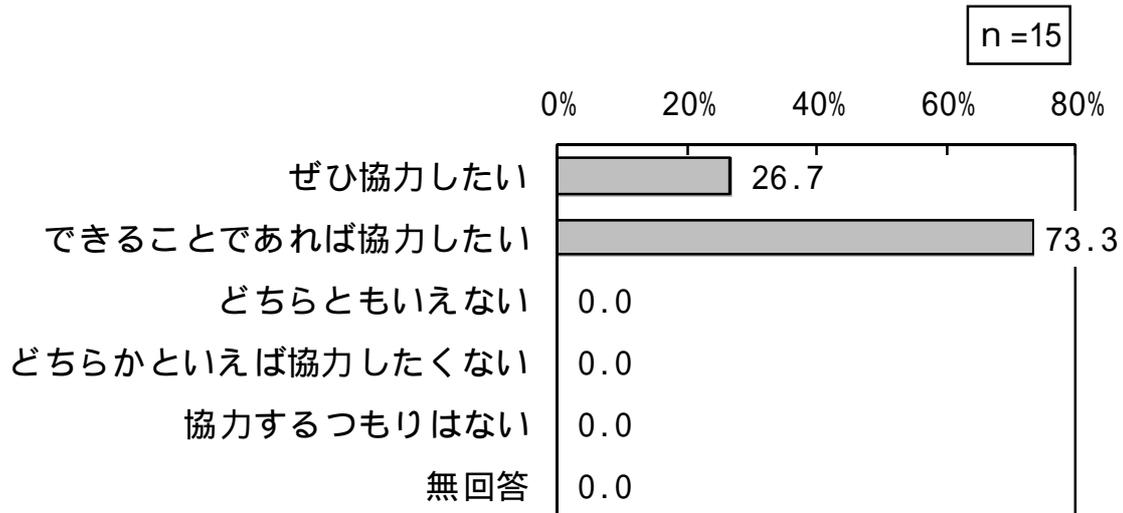
イ 具体的な交流分野、連携したい活動のアイデア

社会教育団体	他団体の一覧表のようなものがあれば欲しい PTA、学校、警察との尚一層の連携強化 子どもにスポーツや文化面で様々な体験をさせたい。色々な人との交流もさせたい。 子どもたちや保護者へ良い影響がある提案が他団体からあるのであれば検討したい。
総合型地域スポーツクラブ	地域コミュニティの活性化を目的とする団体との連携
地域体育団体	地域に根ざした体育振興会と連携した取り組みを行う。体育振興会に入ってしっかり活動できるように、お互い呼びかける。
文化団体	協会への加入者（団体）を増やしたいと努力している。
生涯学習団体	どのような団体、どのくらいの団体があるのか、把握した上での話。
人権団体	イベント等の人の集まる場所で、可能であれば人権啓発活動をさせていただく。 地元での子育て、学習会等、積極的に取り組む職員の育成

7-3 . 家庭・学校・地域との連携について

問6 市では家庭や学校はもとより、地域や周囲の大人も一緒になって子どもを見守り、次代を担う大人に育てることを目指しています。貴団体はこの取り組みに協力していただけますか。(1つに)

子どもの育成についての取り組みに協力できるかは、「できることであれば協力したい」73.3%、「ぜひ協力したい」26.7%。



問7 学齢期の子どもたちの成長・発達のための、家庭及び保護者・学校・地域の役割分担について、項目毎に最も重要な役割と思うものに「1」を、次いで重要な役割に「2」をつけて下さい。

<p>ケース1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目</p>	<p>ア 学力の基礎・基本を身につける キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にすることを育てる</p>
<p>ケース2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目</p>	<p>イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる エ いじめを決して許さない態度を育てる オ 良好な人間関係をつくる力を育てる カ 自発的に行動する意欲を育てる ク 生まれ育った地域を愛することを育てる ケ 自然を大切にすることを育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける</p>

【 7 . 団体代表者】

(上段 : 人数 下段 : 割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
網掛けは最重要、重要それぞれの第1位									
ア 学力の基礎・基本を身につける	15 100.0	1 6.7	13 86.7	0 0.0	1 6.7	12 80.0	1 6.7	0 0.0	2 13.3
イ 社会のマナーやルールを教える	15 100.0	11 73.3	3 20.0	0 0.0	1 6.7	3 20.0	9 60.0	2 13.3	1 6.7
ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる	15 100.0	13 86.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	13 86.7	0 0.0	1 6.7
エ いじめを決して許さない態度を育てる	15 100.0	8 53.3	6 40.0	0 0.0	1 6.7	5 33.3	7 46.7	2 13.3	1 6.7
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	15 100.0	7 46.7	5 33.3	3 20.0	0 0.0	6 40.0	8 53.3	0 0.0	1 6.7
カ 自発的に行動する意欲を育てる	15 100.0	9 60.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	4 26.7	8 53.3	2 13.3	1 6.7
キ 運動能力や体力を向上させる	15 100.0	2 13.3	12 80.0	0 0.0	1 6.7	8 53.3	2 13.3	4 26.7	1 6.7
ク 生まれ育った地域を愛する心を育てる	15 100.0	10 66.7	2 13.3	2 13.3	1 6.7	2 13.3	7 46.7	6 40.0	0 0.0
ケ 自然を大切にすることを育てる	15 100.0	9 60.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	4 26.7	7 46.7	3 20.0	1 6.7
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	15 100.0	14 93.3	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	14 93.3	0 0.0	1 6.7
サ 他国の文化を大切にすることを育てる	15 100.0	4 26.7	10 66.7	0 0.0	1 6.7	7 46.7	3 20.0	4 26.7	1 6.7

問8 最後に、宇治市の特性を活かす教育のために、市教育委員会に期待することや、「宇治市教育振興基本計画」へのご意見・ご提案をお聴かせ下さい。(自由記入)

(複数意見の要約記載)

基本計画を策定するだけでなく、計画に基づいて実行・実践すること など

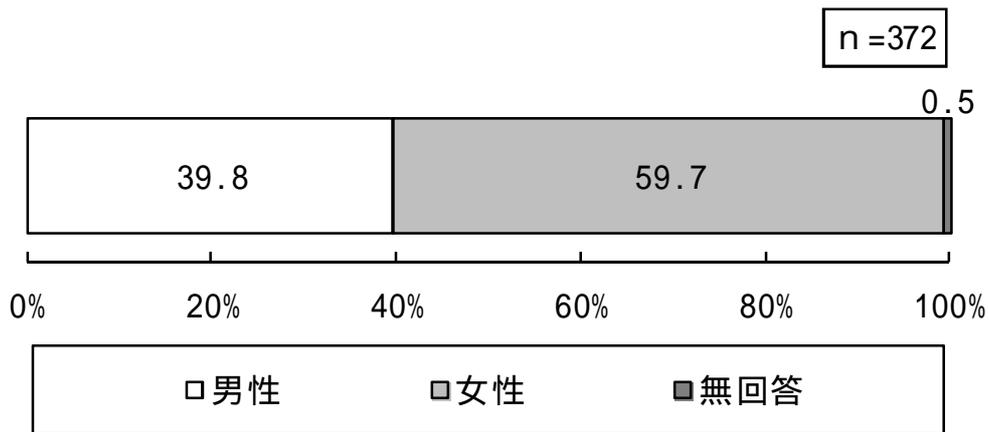
8 . 市民

回答者について

問1 はじめに、あなた自身にあてはまる番号を選んで下さい。

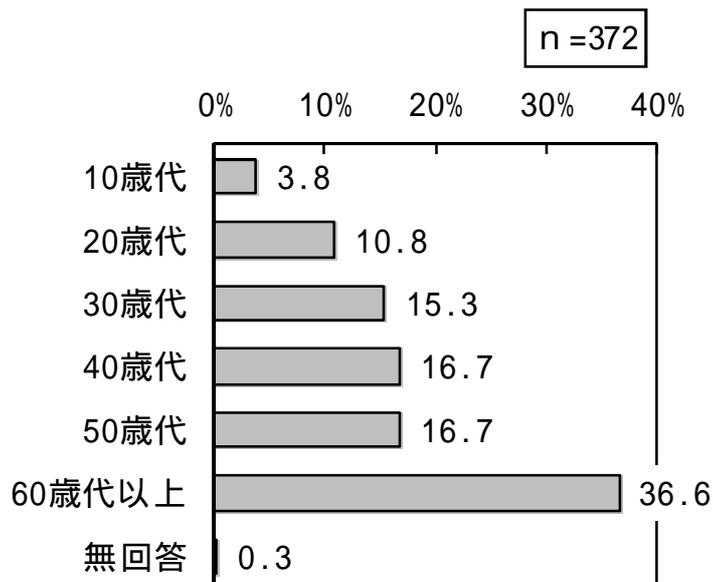
ア 性別（1つに ）

性別は、「女性」59.7%、「男性」39.8%。



イ 年齢（1つに ）

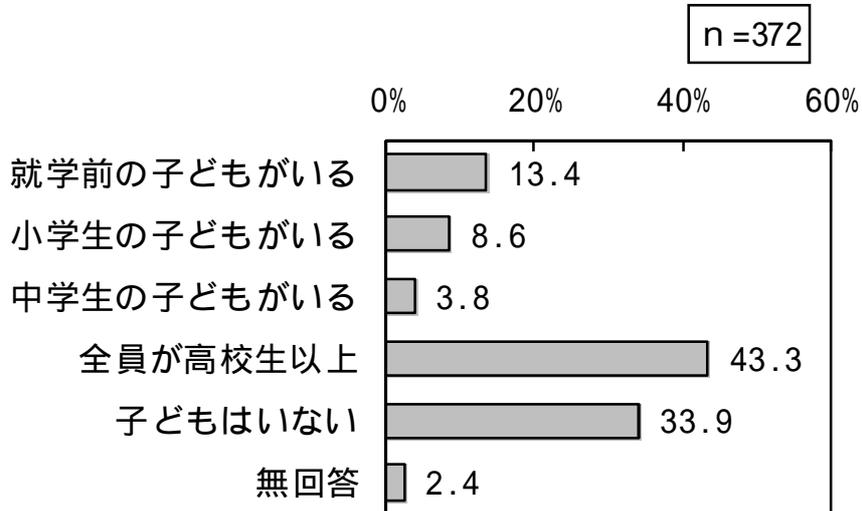
年齢は、「60歳代以上」36.6%が最も多く、次いで「40歳代」「50歳代」ともに16.7%、「30歳代」15.3%と続く。



【 8 . 市民】

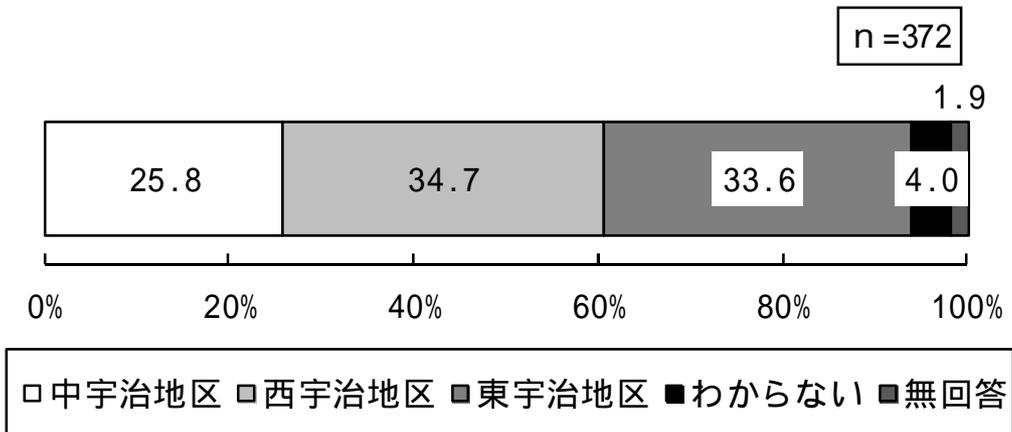
ウ お子さん（あてはまるものに ）

子どもの有無は、「全員が高校生以上」43.3%が最も多く、次いで「子どもはいない」33.9%、「就学前の子どもがいる」13.4%と続く。



エ 居住校区（1つに ）【3地区に区分】

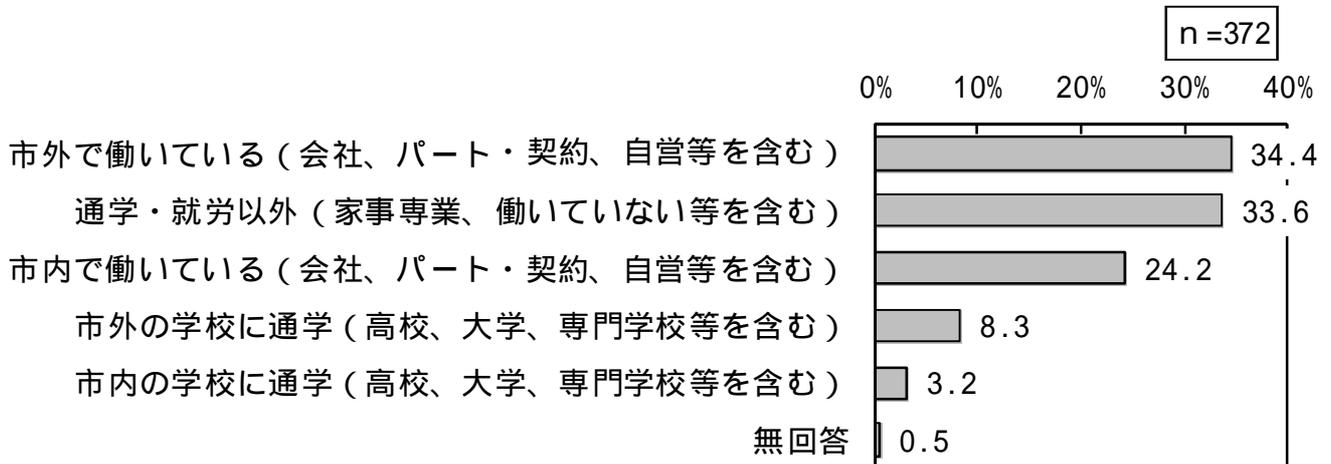
居住校区(3地区に区分)は、「西宇治地区」34.7%、「東宇治地区」33.6%、「中宇治地区」25.8%。



【 8 . 市民】

オ 就学・就労状況（あてはまるものに ）

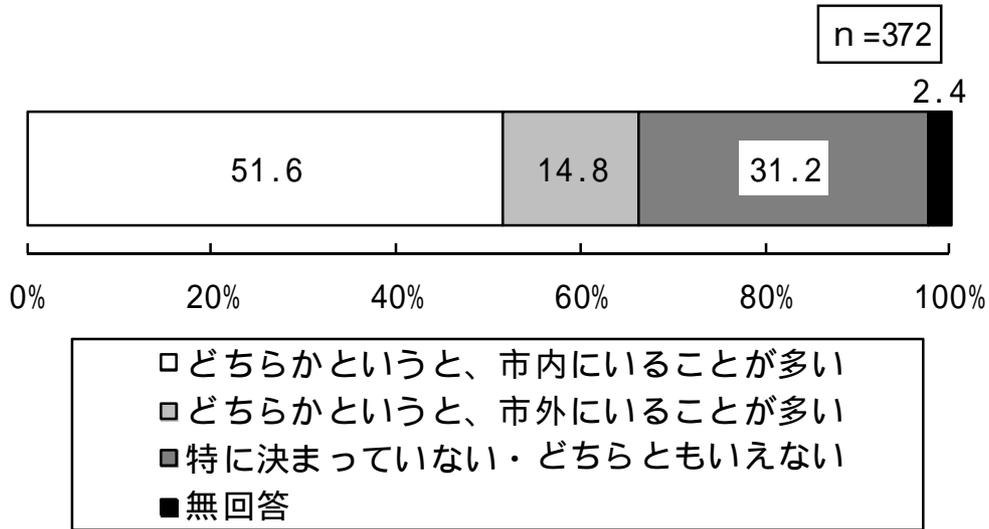
就学・就労状況は、「市外で働いている」34.4%が最も多く、次いで「通学・就労以外」33.6%、「市内で働いている」24.2%と続く。



【 8 . 市民】

カ 休日の過ごし方（1つに ）

休日の過ごし方は、「どちらかという、市内にすることが多い」51.6%、「特に決まっていな
い・どちらともいえない」31.2%、「どちらかという、市外にすることが多い」14.8%。



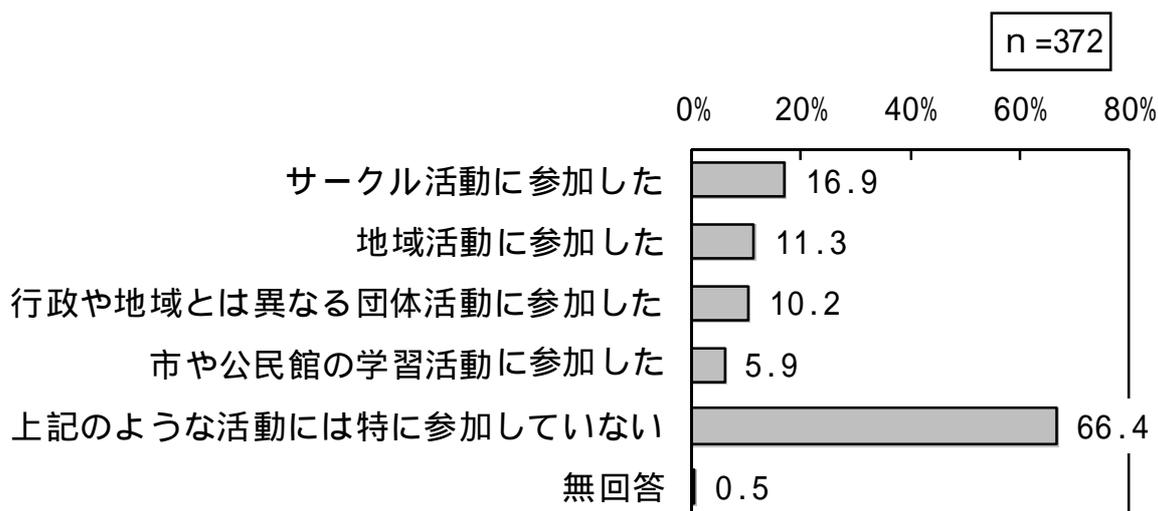
（全体結果と異なる区分のみ掲載）

		合計	市内にすることが多い どちらかという	市外にすることが多い どちらかという	特に決まっていな い・どちらともいえない	無回答
上段：人数（人） 下段：割合（%）						
太字数値は、各地域の第1位						
全体		372 100.0	192 51.6	55 14.8	116 31.2	9 2.4
年齢	10 歳代	14 100.0	8 57.1	3 21.4	3 21.4	0 0.0
	20 歳代	40 100.0	15 37.5	12 30.0	11 27.5	2 5.0
	30 歳代	57 100.0	21 36.8	12 21.1	23 40.4	1 1.8
	40 歳代	62 100.0	27 43.5	13 21.0	21 33.9	1 1.6
	50 歳代	62 100.0	36 58.1	6 9.7	17 27.4	3 4.8
	60 歳代以上	136 100.0	85 62.5	9 6.6	41 30.1	1 0.7

8 - 1 . 生涯学習について

問2 この1年間に、学習活動やサークル活動、地域活動等に参加しましたか。(あてはまるものすべてに)

この1年間の学習活動やサークル活動、地域活動等への参加は、「特に参加していない」66.4%が最も多く、次いで「サークル活動に参加した」16.9%



(全体結果と異なる区分のみ掲載)

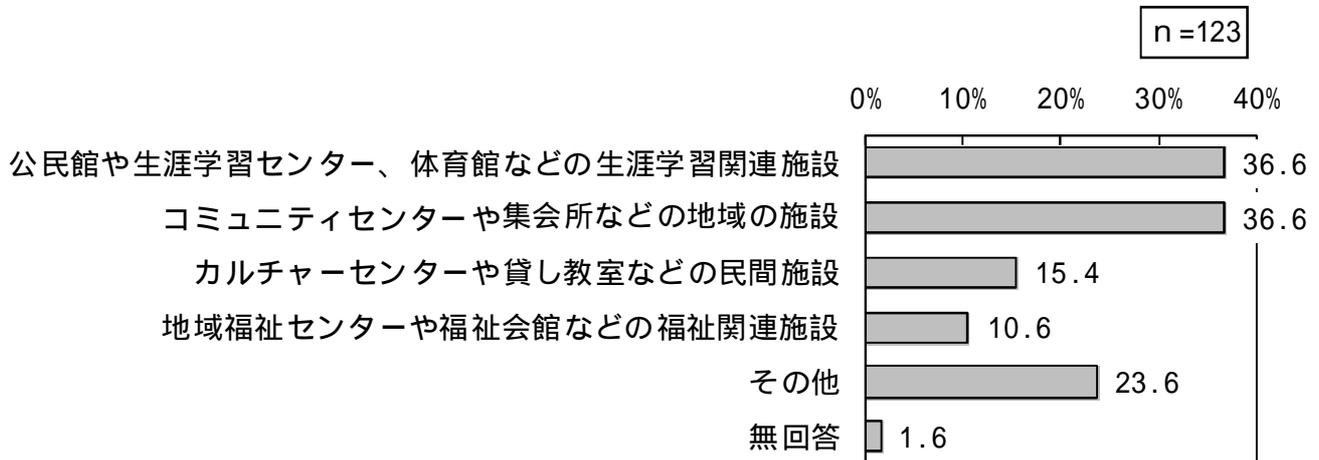
上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	市や公民館の学習活動に参加した	サークル活動に参加した	地域活動に参加した	行政や地域とは異なる団体活動に参加した	上記のような活動には特に参加していない	無回答
太字数値は、各区分の第1位								
全体		372 100.0	22 5.9	63 16.9	42 11.3	38 10.2	247 66.4	2 0.5
子ども有無	就学前の子どもがいる	50 100.0	1 2.0	8 16.0	10 20.0	2 4.0	32 64.0	0 0.0
	小学生の子どもがいる	32 100.0	2 6.3	4 12.5	14 43.8	2 6.3	15 46.9	0 0.0
	中学生の子どもがいる	14 100.0	1 7.1	2 14.3	6 42.9	3 21.4	5 35.7	0 0.0
	全員が高校生以上	161 100.0	17 10.6	32 19.9	13 8.1	21 13.0	102 63.4	1 0.6
	子どもはいない	126 100.0	2 1.6	19 15.1	6 4.8	12 9.5	95 75.4	0 0.0

【 8 . 市民】

問2付問 問2で何らかの学習活動やサークル活動、地域活動等に「参加した」と答えた方への質問（ア～ウ）です。

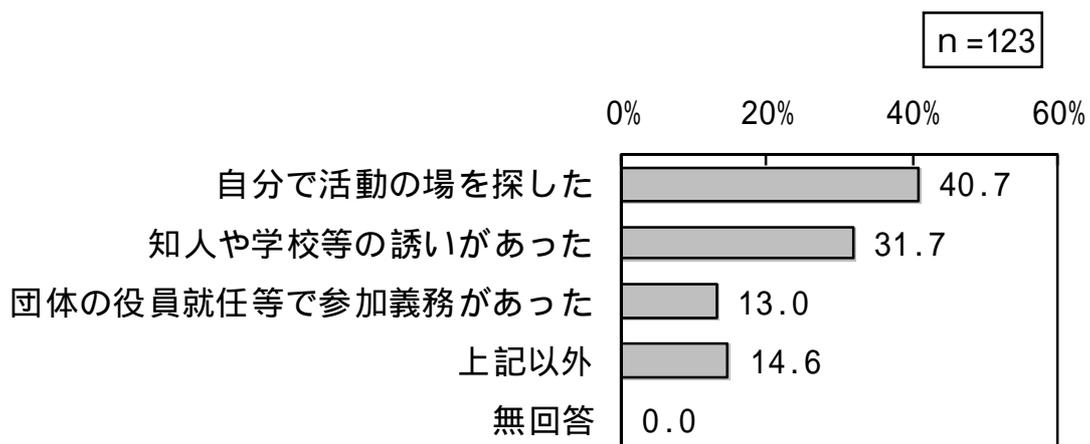
ア．主な活動場所を教えてください。（主なもの2つまでに ）

活動へ参加した方の主な活動場所は、「生涯学習関連施設」、「地域の施設」とともに36.6%が最も多く、次いで「その他」23.6%、「民間施設」15.4%と続く。



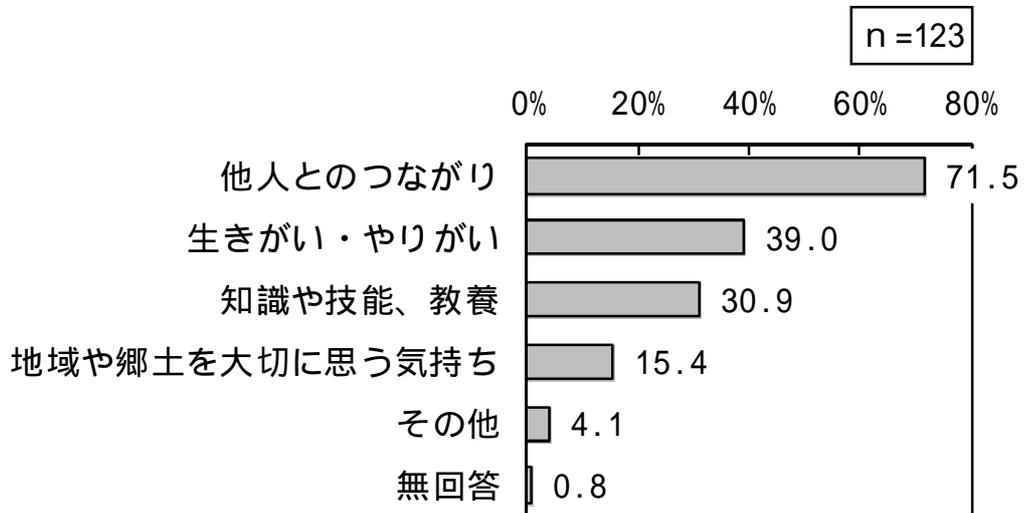
イ．活動に参加した主なきっかけを教えてください。（1つに ）

活動へ参加した方のうち、活動に参加した主なきっかけは、「自分で活動の場を探した」40.7%が最も多く、次いで「知人や学校等の誘いがあった」31.7%、「上記以外」14.6%と続く。



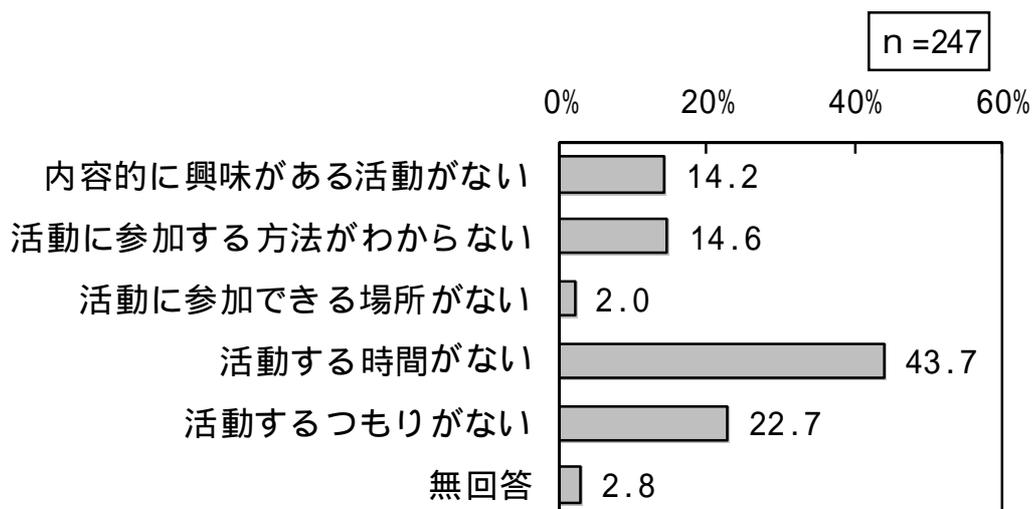
ウ．活動に参加して得たものを教えてください。（主なもの2つまでに）

活動へ参加した方のうち、活動に参加して得たものは、「他人とのつながり」71.5%が最も多く、次いで「生きがい・やりがい」39.0%、「知識や技能、教養」30.9%と続く。



問2 付問 問2で「上記のような活動には特に参加していない」と答えた方への質問です。
地域活動や学習活動に参加しなかった主な理由を教えてください。（1つに）

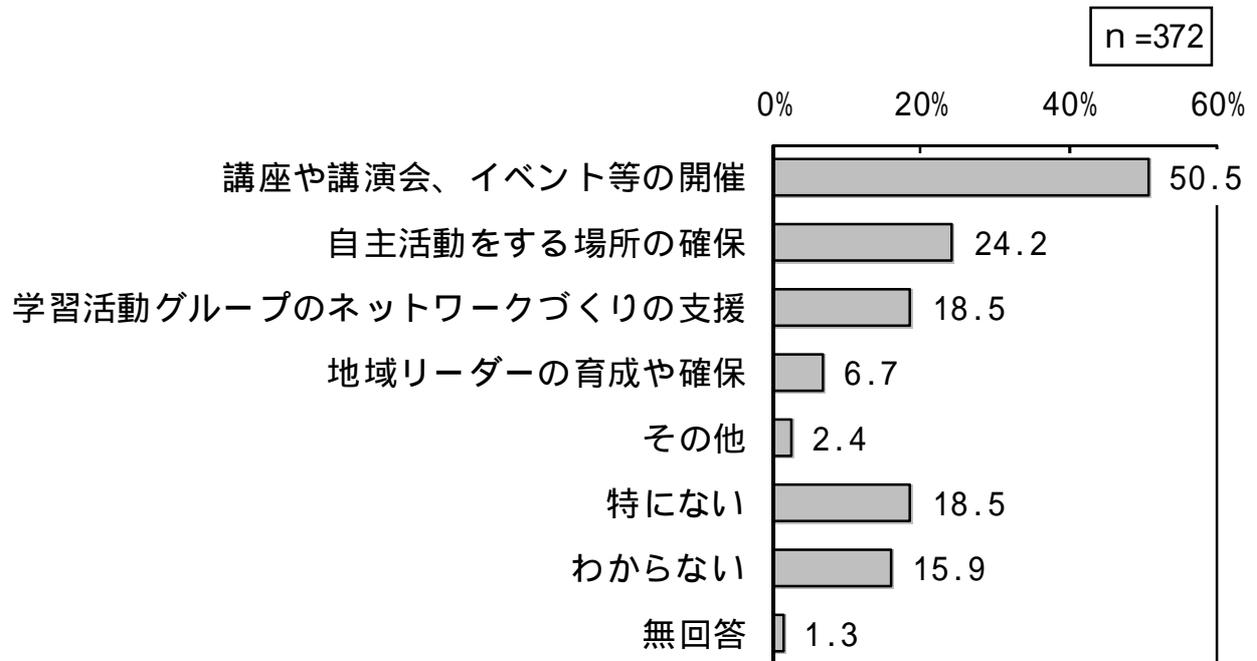
活動へ参加していない方の、活動に参加しなかった理由は、「活動する時間がない」43.7%が最も多く、次いで「活動するつもりがない」22.7%、「活動に参加する方法がわからない」14.6%と続く。



【 8 . 市民】

問3 公民館や生涯学習センターといった生涯学習関連施設にどのような機能や役割を期待しますか。
(主なもの2つまで)

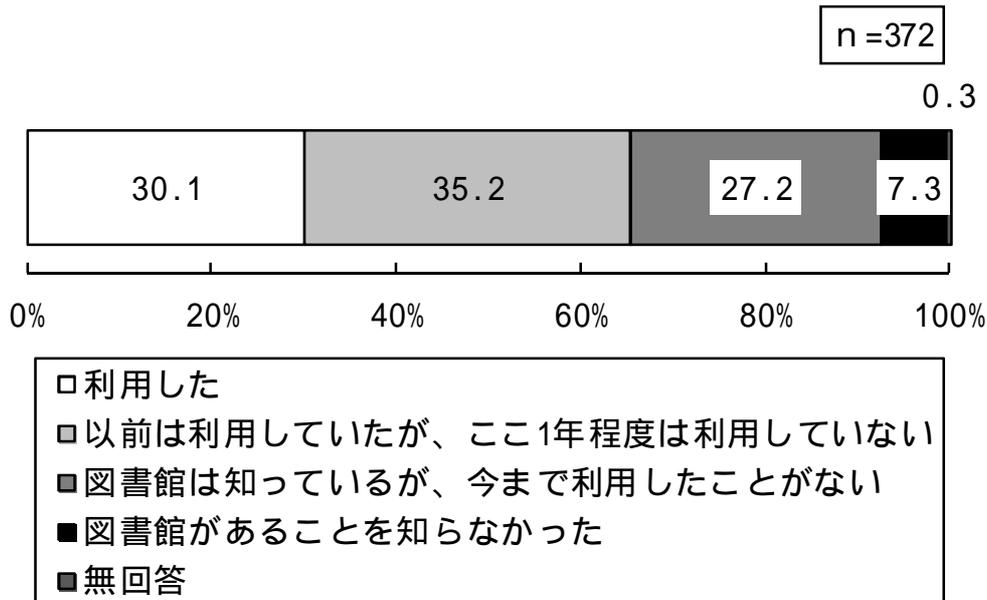
生涯学習関連施設に期待することは、「講座や講演会、イベント等の開催」50.5%が最も多く、次いで「自主活動をする場所の確保」24.2%、「学習活動グループのネットワークづくりの支援」18.5%と続く。



8 - 2 . 図書館について

問4 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。(1つに)

この1年間での図書館の利用は、「以前は利用していたが、ここ1年程度は利用していない」35.2%が最も多く、次いで「利用した」30.1%、「図書館は知っているが、今まで利用したことがない」27.2%と続く。



(全体結果と異なる区分のみ掲載)

		合計	利用した	以前は利用していたが、 ここ1年程度は利用していない	図書館は知っているが、 今まで利用したことがない	図書館があることを知らなかった	無回答
上段：人数(人) 下段：割合(%)							
太字数値は、各区分の第1位							
全体		372 100.0	112 30.1	131 35.2	101 27.2	27 7.3	1 0.3
年齢	10歳代	14 100.0	1 7.1	11 78.6	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	20歳代	40 100.0	6 15.0	21 52.5	10 25.0	3 7.5	0 0.0
	30歳代	57 100.0	21 36.8	17 29.8	15 26.3	4 7.0	0 0.0
	40歳代	62 100.0	19 30.6	23 37.1	16 25.8	4 6.5	0 0.0
	50歳代	62 100.0	17 27.4	28 45.2	15 24.2	2 3.2	0 0.0
	60歳代以上	136 100.0	48 35.3	31 22.8	43 31.6	13 9.6	1 0.7

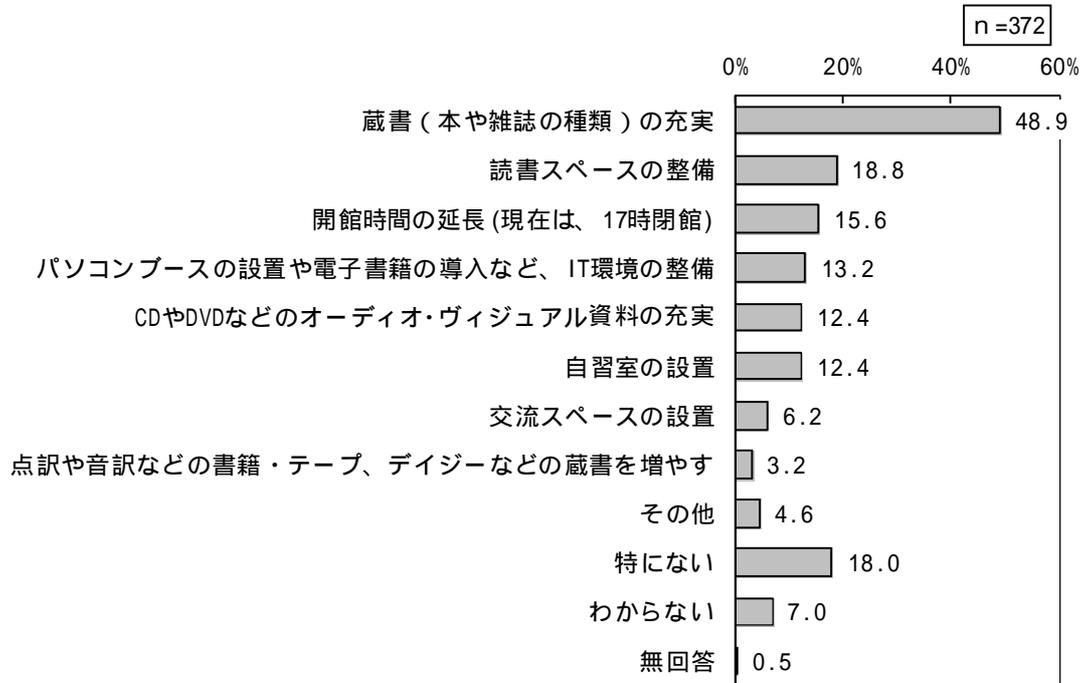
【 8 . 市民】

上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	利用した	以前は利用していたが、 ここ1年程度は利用していない	図書館は知っているが、 今まで利用したことがない	図書館があることを知らなかった	無回答
太字数値は、各区分の第1位							
子ども有無	就学前の子どもがいる	50 100.0	24 48.0	15 30.0	10 20.0	1 2.0	0 0.0
	小学生の子どもがいる	32 100.0	17 53.1	7 21.9	7 21.9	1 3.1	0 0.0
	中学生の子どもがいる	14 100.0	7 50.0	5 35.7	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	全員が高校生以上	161 100.0	52 32.3	53 32.9	43 26.7	12 7.5	1 0.6
	子どもはいない	126 100.0	23 18.3	55 43.7	35 27.8	13 10.3	0 0.0
居住校区 (3区分)	中宇治地域	96 100.0	34 35.4	42 43.8	17 17.7	2 2.1	1 1.0
	西宇治地域	129 100.0	32 24.8	48 37.2	42 32.6	7 5.4	0 0.0
	東宇治地域	125 100.0	42 33.6	38 30.4	34 27.2	11 8.8	0 0.0
	わからない	15 100.0	2 13.3	3 20.0	5 33.3	5 33.3	0 0.0
就学・就労	市内の学校に通学（高校、大学、専門学校等を含む）	12 100.0	4 33.3	7 58.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	市外の学校に通学（同上）	31 100.0	7 22.6	16 51.6	4 12.9	4 12.9	0 0.0
	市内で働いている（会社、パート・契約、自営等を含む）	90 100.0	26 28.9	31 34.4	27 30.0	5 5.6	1 1.1
	市外で働いている（同上）	128 100.0	32 25.0	54 42.2	32 25.0	10 7.8	0 0.0
	上記以外（家事専業、働いていない等を含む）	125 100.0	49 39.2	29 23.2	38 30.4	9 7.2	0 0.0
休日の過ごし方	どちらかという、市内に いることが多い	192 100.0	65 33.9	60 31.3	54 28.1	12 6.3	1 0.5
	どちらかという、市外に いることが多い	55 100.0	10 18.2	30 54.5	11 20.0	4 7.3	0 0.0
	特に決まっていない・どちら ともいえない	116 100.0	36 31.0	36 31.0	33 28.4	11 9.5	0 0.0

【 8 . 市民】

問5 あなたが市の図書館を利用するために、図書館にどのようなことを期待しますか。（主なもの2つまで）

図書館に期待することは、「蔵書（本や雑誌の種類）の充実」48.9%が最も多く、次いで「読書スペースの整備」18.8%、「開館時間の延長」15.6%と続く。



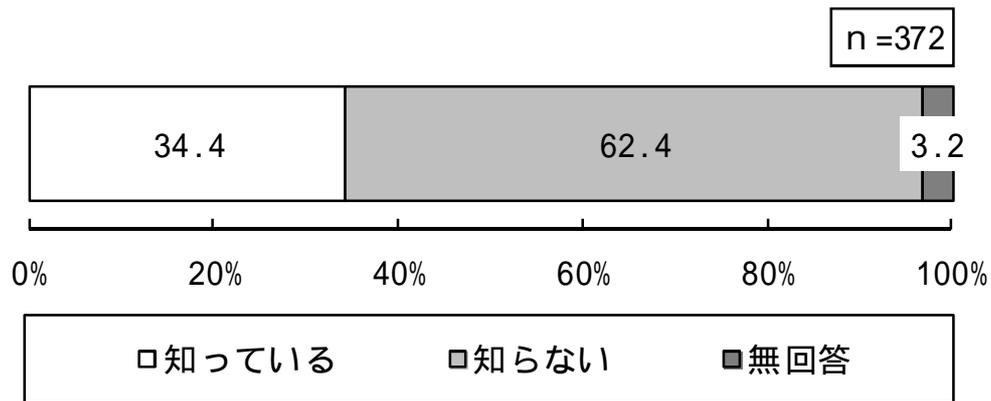
（全体結果と異なる区分のみ掲載）

		合計	蔵書（本や雑誌の種類）の充実	点訳や音訳などの書籍・テープ、デジターなどの蔵書を増やす	パソコンブースの設置や電子書籍の導入など、IT環境の整備	CDやDVDなどのオーディオ・ビジュアル資料の充実	読書スペースの整備	交流スペースの設置	自習室の設置	開館時間の延長	その他	特にない	わからない	無回答
上段：人数（人） 下段：割合（%）														
太字数値は、各区分の第1位														
全体		372 100.0	182 48.9	12 3.2	49 13.2	46 12.4	70 18.8	23 6.2	46 12.4	58 15.6	17 4.6	67 18.0	26 7.0	2 0.5
年齢	10歳代	14 100.0	6 42.9	0 0.0	4 28.6	2 14.3	0 0.0	0 0.0	7 50.0	2 14.3	0 0.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0
	20歳代	40 100.0	25 62.5	2 5.0	7 17.5	3 7.5	8 20.0	3 7.5	12 30.0	7 17.5	1 2.5	3 7.5	1 2.5	0 0.0
	30歳代	57 100.0	34 59.6	1 1.8	4 7.0	8 14.0	9 15.8	7 12.3	7 12.3	9 15.8	4 7.0	8 14.0	2 3.5	0 0.0
	40歳代	62 100.0	31 50.0	1 1.6	10 16.1	10 16.1	17 27.4	3 4.8	5 8.1	16 25.8	3 4.8	8 12.9	2 3.2	0 0.0
	50歳代	62 100.0	29 46.8	2 3.2	4 6.5	9 14.5	10 16.1	3 4.8	4 6.5	12 19.4	2 3.2	12 19.4	9 14.5	0 0.0
	60歳代以上	136 100.0	56 41.2	6 4.4	20 14.7	14 10.3	26 19.1	6 4.4	11 8.1	12 8.8	7 5.1	34 25.0	12 8.8	2 1.5

8 - 3 . 歴史・文化財について

問6 世界遺産である平等院や宇治上神社以外で、市内の歴史的資産（有形・無形を問わない）を知っていますか。（1つに ）

世界遺産以外の市内の歴史的資産について、「知らない」62.4%、「知っている」34.4%。

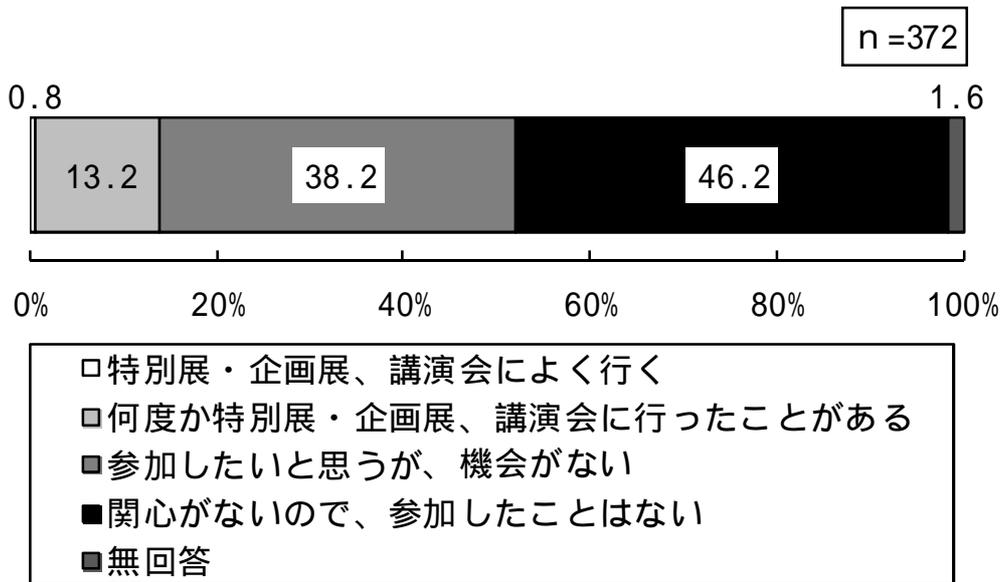


知っている具体的な市内の歴史的資産（意見の多かったもの）

- 太閤堤
- 萬福寺
- 三室戸寺
- 宇治茶 など

問7 歴史資料館の事業に参加したことがありますか。(1つに)

歴史資料館の事業への参加について、「関心がないので、参加したことはない」46.2%が最も多く、次いで「参加したいと思うが、機会がない」38.2%、「何度か特別展・企画展・講演会に行ったことがある」13.2%と続く。



(全体結果と異なる区分のみ掲載)

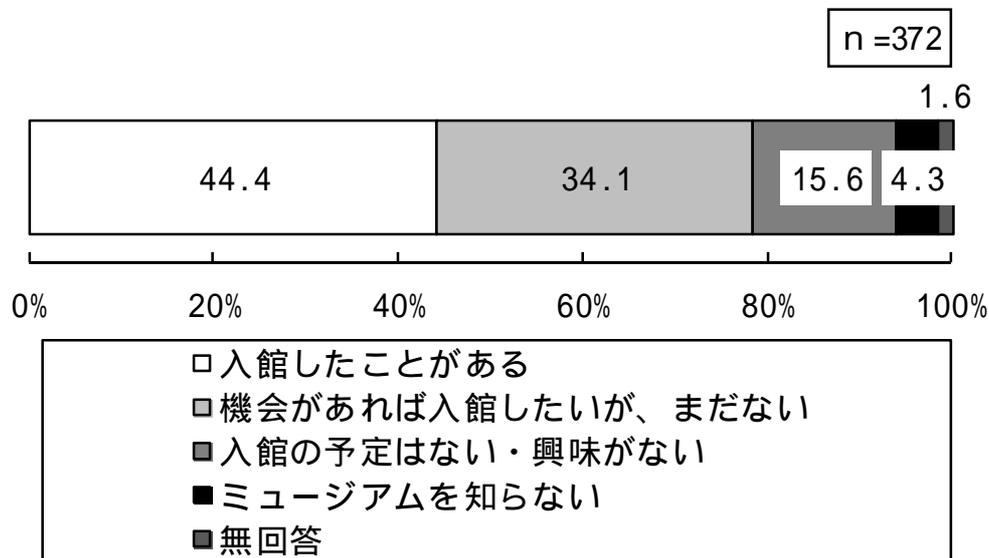
		合計	特別展・企画展、 講演会によく行く	何度か特別展・企画展、 講演会に行ったことがある	参加したいと思うが、 機会がない	関心がないので、 参加したことはない	無回答
上段：人数(人) 下段：割合(%)							
太字数値は、各区分の第1位							
全体		372 100.0	3 0.8	49 13.2	142 38.2	172 46.2	6 1.6
年齢	10歳代	14 100.0	0 0.0	1 7.1	2 14.3	10 71.4	1 7.1
	20歳代	40 100.0	0 0.0	4 10.0	12 30.0	24 60.0	0 0.0
	30歳代	57 100.0	0 0.0	5 8.8	12 21.1	40 70.2	0 0.0
	40歳代	62 100.0	0 0.0	3 4.8	26 41.9	32 51.6	1 1.6
	50歳代	62 100.0	0 0.0	9 14.5	26 41.9	27 43.5	0 0.0
	60歳代以上	136 100.0	3 2.2	27 19.9	64 47.1	38 27.9	4 2.9

【 8 . 市民】

		合計	特別展・企画展、 講演会によく行く	何度か特別展・企画展、 講演会に行ったことがある	参加したいと思うが、 機会がない	関心がないので、 参加したことはない	無回答
上段：人数（人） 下段：割合（％） 太字数値は、各区分の第1位							
子ども有無	就学前の子どもがいる	50 100.0	0 0.0	3 6.0	14 28.0	32 64.0	1 2.0
	小学生の子どもがいる	32 100.0	0 0.0	1 3.1	8 25.0	23 71.9	0 0.0
	中学生の子どもがいる	14 100.0	0 0.0	1 7.1	8 57.1	5 35.7	0 0.0
	全員が高校生以上	161 100.0	1 0.6	32 19.9	67 41.6	59 36.6	2 1.2
	子どもはいない	126 100.0	2 1.6	13 10.3	49 38.9	60 47.6	2 1.6
居住校区 (3区分)	中宇治地域	96 100.0	2 2.1	17 17.7	33 34.4	42 43.8	2 2.1
	西宇治地域	129 100.0	1 0.8	16 12.4	42 32.6	69 53.5	1 0.8
	東宇治地域	125 100.0	0 0.0	15 12.0	56 44.8	52 41.6	2 1.6
	わからない	15 100.0	0 0.0	1 6.7	7 46.7	7 46.7	0 0.0
就学・就労	市内の学校に通学（高校、大学、専門学校等を含む）	12 100.0	0 0.0	1 8.3	4 33.3	6 50.0	1 8.3
	市外の学校に通学（同上）	31 100.0	0 0.0	2 6.5	7 22.6	22 71.0	0 0.0
	市内で働いている（会社、パート・契約、自営等を含む）	90 100.0	0 0.0	13 14.4	35 38.9	38 42.2	4 4.4
	市外で働いている（同上）	128 100.0	0 0.0	14 10.9	50 39.1	64 50.0	0 0.0
	上記以外（家事専業、働いていない等を含む）	125 100.0	3 2.4	21 16.8	51 40.8	49 39.2	1 0.8
休日の過ごし方	どちらかという、市内に いることが多い	192 100.0	1 0.5	27 14.1	69 35.9	91 47.4	4 2.1
	どちらかという、市外に いることが多い	55 100.0	1 1.8	9 16.4	15 27.3	30 54.5	0 0.0
	特に決まっていない・どちら ともいえない	116 100.0	1 0.9	12 10.3	55 47.4	46 39.7	2 1.7

問8 源氏物語ミュージアムを利用したことがありますか。(1つに)

源氏物語ミュージアムの利用について、「入館したことがある」44.4%が最も多く、次いで「機会があれば入館したいが、まだない」34.4%、「入館の予定はない・興味がない」15.6%と続く。



(全体結果と異なる区分のみ掲載)

		合計	入館したことがある	機会があれば入館したいが、まだない	入館の予定はない・興味がない	ミュージアムを知らない	無回答
上段：人数(人) 下段：割合(%)							
太字数値は、各区分の第1位							
全体		372 100.0	165 44.4	127 34.1	58 15.6	16 4.3	6 1.6
年齢	10歳代	14 100.0	3 21.4	5 35.7	4 28.6	1 7.1	1 7.1
	20歳代	40 100.0	13 32.5	12 30.0	11 27.5	4 10.0	0 0.0
	30歳代	57 100.0	19 33.3	22 38.6	14 24.6	2 3.5	0 0.0
	40歳代	62 100.0	24 38.7	24 38.7	7 11.3	5 8.1	2 3.2
	50歳代	62 100.0	33 53.2	18 29.0	11 17.7	0 0.0	0 0.0
	60歳代以上	136 100.0	72 52.9	46 33.8	11 8.1	4 2.9	3 2.2

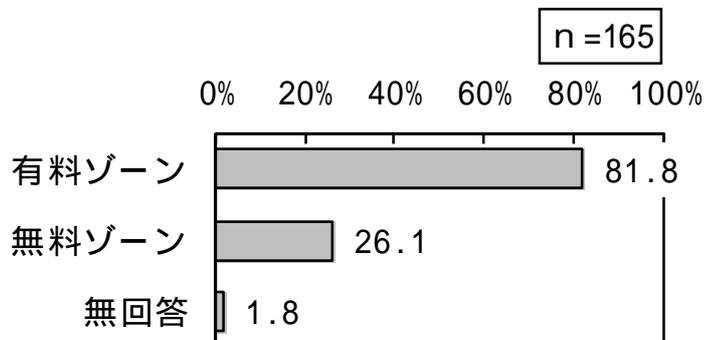
【 8 . 市民】

上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	入館したことがある	機会があれば入館したいが、 まだない	入館の予定はない・興味がない	ミュージアムを知らない	無回答
太字数値は、各区分の第1位							
子ども有無	就学前の子どもがいる	50 100.0	19 38.0	17 34.0	10 20.0	4 8.0	0 0.0
	小学生の子どもがいる	32 100.0	8 25.0	15 46.9	7 21.9	1 3.1	1 3.1
	中学生の子どもがいる	14 100.0	8 57.1	5 35.7	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	全員が高校生以上	161 100.0	84 52.2	54 33.5	19 11.8	2 1.2	2 1.2
	子どもはいない	126 100.0	52 41.3	40 31.7	22 17.5	9 7.1	3 2.4
就学・就労	市内の学校に通学（高校、大学、専門学校等を含む）	12 100.0	7 58.3	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	市外の学校に通学（同上）	31 100.0	10 32.3	12 38.7	6 19.4	2 6.5	1 3.2
	市内で働いている（会社、パート・契約、自営等を含む）	90 100.0	41 45.6	28 31.1	14 15.6	4 4.4	3 3.3
	市外で働いている（同上）	128 100.0	47 36.7	54 42.2	21 16.4	5 3.9	1 0.8
	上記以外（家事専業、働いていない等を含む）	125 100.0	68 54.4	35 28.0	16 12.8	5 4.0	1 0.8

問8付問 問8で「入館したことがある」と答えた方への質問（ア～ウ）です。

ア．入館したゾーン（あてはまるものに ）

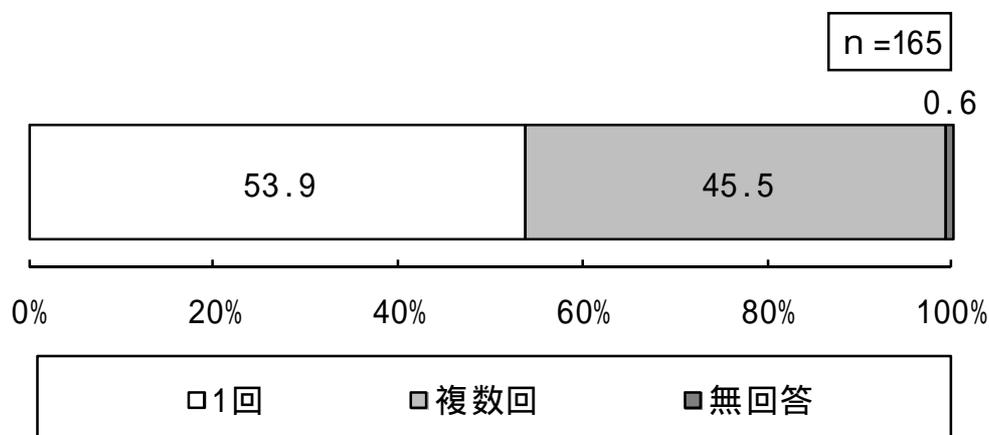
源氏物語ミュージアムを利用したことがある方のうち、入館したゾーンは、「有料ゾーン」81.8%、「無料ゾーン」26.1%となっている。



【 8 . 市民】

イ . 利用回数 (1つに 。複数回の場合は数値記入)

源氏物語ミュージアムを利用したことがある方のうち、利用回数は、「1回」53.9%、「複数回」45.5%となっている。

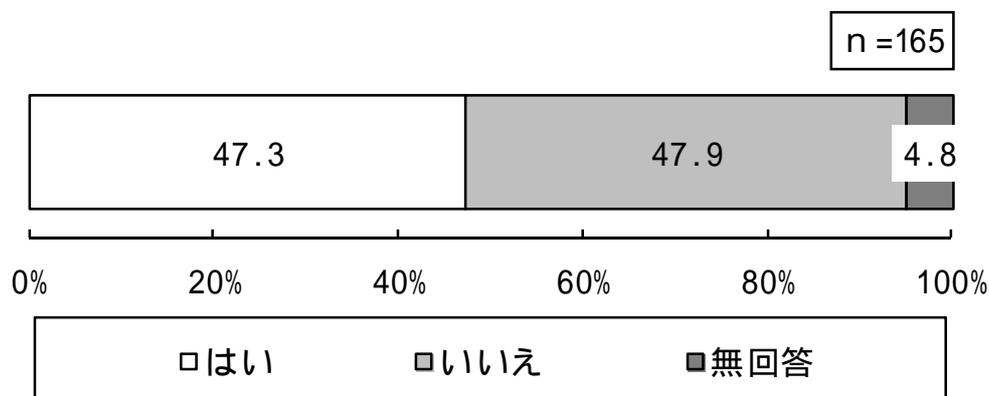


【利用回数】 (複数回の方限定)

平均	3.3回
最大値	20回
最小値	2回
回答者数	75人

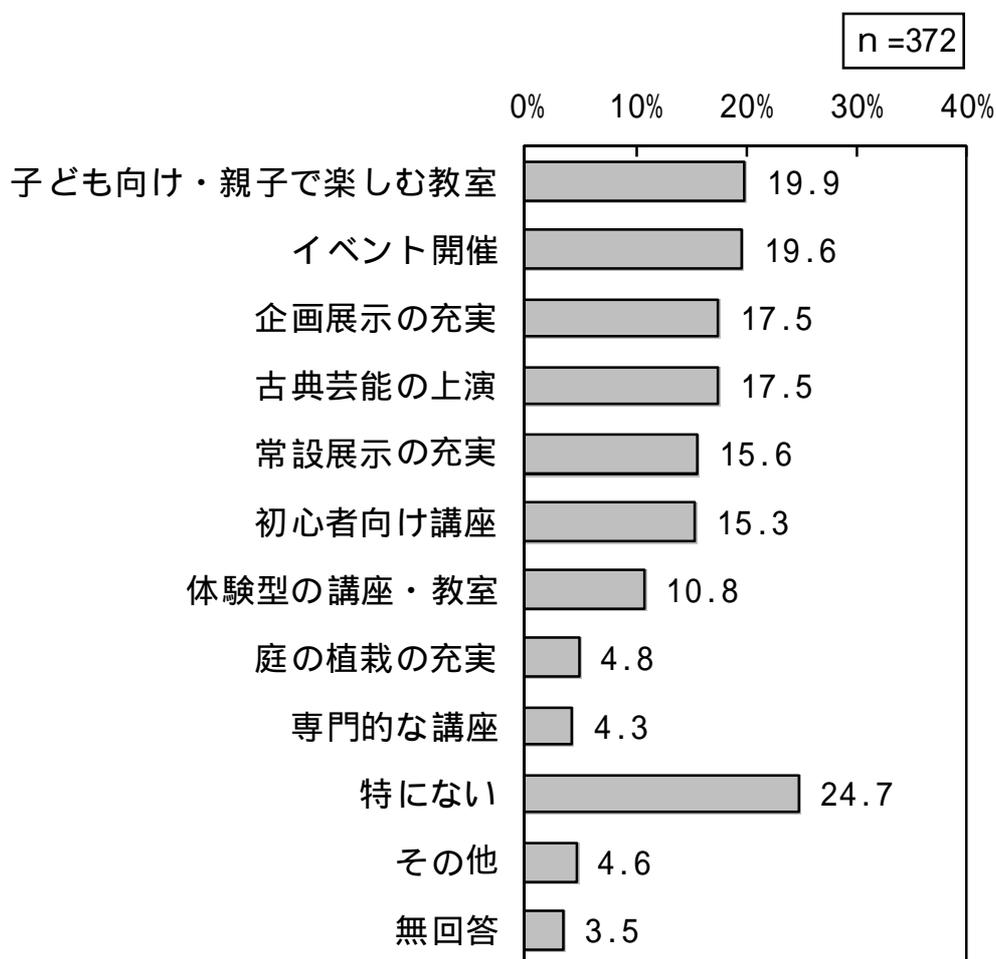
ウ . 再訪意向 (1つに)

源氏物語ミュージアムを利用したことがある方のうち、再訪意向は、「いいえ(ない)」47.9%、「はい(ある)」47.3%。



問9 源氏物語ミュージアムにどのようなことを期待しますか。(主なもの2つまで)

源氏物語ミュージアムに期待することは、「特にない」24.7%が最も多く、次いで「子ども向け・親子で楽しむ教室」19.9%、「イベント開催」19.6%、「企画展示の充実」、「古典芸能の上演」とともに17.5%と続く。



【 8 . 市民】

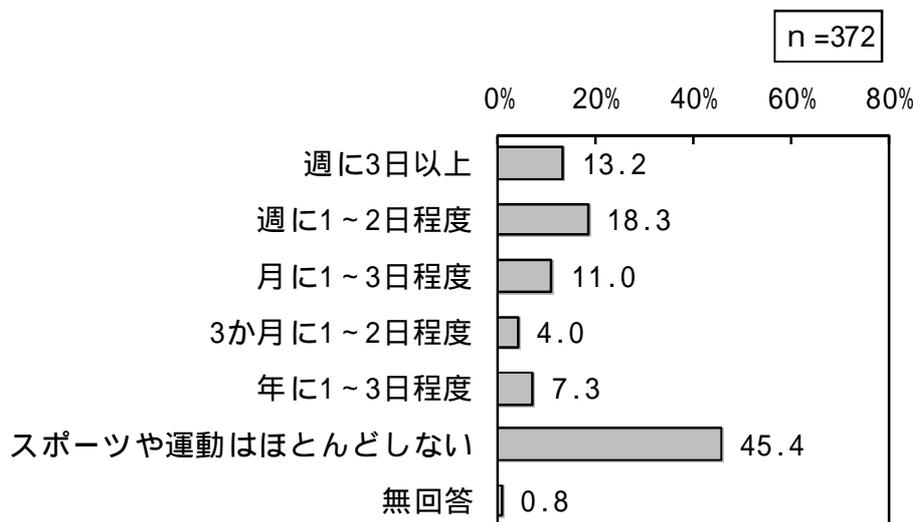
(全体結果と異なる区分のみ掲載)

上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	常設展示の充実	企画展示の充実	初心者向け講座	専門的な講座	体験型の講座・教室	子ども向け・親子で楽しむ教室	古典芸能の上演	イベント開催	庭の植栽の充実	特にない	その他	無回答
太字数値は、各区分の第1位														
全体		372 100.0	58 15.6	65 17.5	57 15.3	16 4.3	40 10.8	74 19.9	65 17.5	73 19.6	18 4.8	92 24.7	17 4.6	13 3.5
年齢	10歳代	14 100.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	2 14.3	0 0.0	5 35.7	0 0.0	3 21.4
	20歳代	40 100.0	7 17.5	5 12.5	8 20.0	1 2.5	9 22.5	8 20.0	7 17.5	9 22.5	2 5.0	8 20.0	1 2.5	0 0.0
	30歳代	57 100.0	7 12.3	7 12.3	8 14.0	2 3.5	4 7.0	23 40.4	8 14.0	8 14.0	5 8.8	12 21.1	3 5.3	1 1.8
	40歳代	62 100.0	5 8.1	8 12.9	12 19.4	2 3.2	9 14.5	14 22.6	12 19.4	10 16.1	0 0.0	20 32.3	2 3.2	2 3.2
	50歳代	62 100.0	19 30.6	14 22.6	8 12.9	1 1.6	6 9.7	11 17.7	8 12.9	16 25.8	2 3.2	13 21.0	5 8.1	1 1.6
	60歳代以上	136 100.0	18 13.2	31 22.8	20 14.7	10 7.4	11 8.1	17 12.5	29 21.3	27 19.9	9 6.6	34 25.0	6 4.4	6 4.4
子ども有無	就学前の子どもがいる	50 100.0	3 6.0	4 8.0	5 10.0	0 0.0	3 6.0	31 62.0	4 8.0	10 20.0	4 8.0	9 18.0	3 6.0	0 0.0
	小学生の子どもがいる	32 100.0	3 9.4	3 9.4	5 15.6	1 3.1	2 6.3	15 46.9	3 9.4	3 9.4	0 0.0	7 21.9	1 3.1	3 9.4
	中学生の子どもがいる	14 100.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	0 0.0	2 14.3	6 42.9	3 21.4	3 21.4	0 0.0	4 28.6	1 7.1	0 0.0
	全員が高校生以上	161 100.0	33 20.5	37 23.0	24 14.9	6 3.7	14 8.7	19 11.8	29 18.0	34 21.1	6 3.7	41 25.5	9 5.6	6 3.7
	子どもはいない	126 100.0	20 15.9	21 16.7	24 19.0	9 7.1	20 15.9	15 11.9	27 21.4	23 18.3	6 4.8	31 24.6	3 2.4	3 2.4
居住校区 (3区分)	中宇治地域	96 100.0	15 15.6	18 18.8	12 12.5	3 3.1	6 6.3	24 25.0	19 19.8	20 20.8	3 3.1	20 20.8	7 7.3	4 4.2
	西宇治地域	129 100.0	18 14.0	19 14.7	22 17.1	5 3.9	16 12.4	21 16.3	23 17.8	24 18.6	6 4.7	33 25.6	4 3.1	7 5.4
	東宇治地域	125 100.0	22 17.6	23 18.4	17 13.6	6 4.8	13 10.4	28 22.4	19 15.2	27 21.6	7 5.6	34 27.2	6 4.8	2 1.6
	わからない	15 100.0	2 13.3	4 26.7	4 26.7	2 13.3	3 20.0	0 0.0	3 20.0	1 6.7	2 13.3	3 20.0	0 0.0	0 0.0
就学・就労	市内の学校に通学	12 100.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	1 8.3	2 16.7	3 25.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0
	市外の学校に通学	31 100.0	7 22.6	2 6.5	5 16.1	0 0.0	6 19.4	4 12.9	4 12.9	7 22.6	0 0.0	9 29.0	0 0.0	3 9.7
	市内で働いている	90 100.0	17 18.9	16 17.8	15 16.7	2 2.2	9 10.0	15 16.7	19 21.1	12 13.3	2 2.2	21 23.3	4 4.4	7 7.8
	市外で働いている	128 100.0	20 15.6	24 18.8	20 15.6	6 4.7	16 12.5	30 23.4	20 15.6	22 17.2	7 5.5	34 26.6	6 4.7	1 0.8
	上記以外	125 100.0	15 12.0	27 21.6	17 13.6	7 5.6	10 8.0	27 21.6	23 18.4	30 24.0	9 7.2	28 22.4	8 6.4	2 1.6
休日の過ごし方	市内にすることが多い	192 100.0	32 16.7	32 16.7	23 12.0	8 4.2	22 11.5	33 17.2	32 16.7	33 17.2	7 3.6	47 24.5	9 4.7	11 5.7
	市外にすることが多い	55 100.0	11 20.0	4 7.3	11 20.0	3 5.5	9 16.4	14 25.5	11 20.0	14 25.5	2 3.6	11 20.0	1 1.8	0 0.0
	特に決まっていない	116 100.0	13 11.2	28 24.1	23 19.8	4 3.4	8 6.9	26 22.4	21 18.1	23 19.8	9 7.8	31 26.7	7 6.0	2 1.7

8 - 4 . スポーツ環境について

問10 普段どれくらいスポーツや運動をしていますか。(1つに)

普段のスポーツ・運動の頻度は、「ほとんどしない」45.4%が最も多く、次いで「週に1~2日程度」18.3%、「週に3日以上」13.2%と続く。

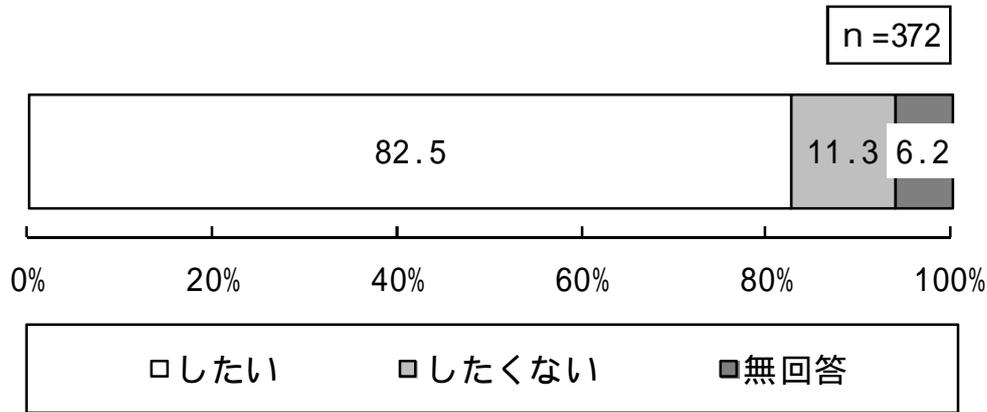


(全体結果と異なる区分のみ掲載)

上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	週に3日以上	週に1~2日程度	月に1~3日程度	3か月に1~2日程度	年に1~3日程度	スポーツや運動はほとんどしない	無回答
太字数値は、各区分の第1位									
全体		372 100.0	49 13.2	68 18.3	41 11.0	15 4.0	27 7.3	169 45.4	3 0.8
年齢	10歳代	14 100.0	6 42.9	3 21.4	2 14.3	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0
	20歳代	40 100.0	4 10.0	7 17.5	6 15.0	1 2.5	5 12.5	17 42.5	0 0.0
	30歳代	57 100.0	2 3.5	11 19.3	8 14.0	1 1.8	8 14.0	27 47.4	0 0.0
	40歳代	62 100.0	8 12.9	6 9.7	7 11.3	5 8.1	7 11.3	29 46.8	0 0.0
	50歳代	62 100.0	5 8.1	13 21.0	4 6.5	3 4.8	4 6.5	33 53.2	0 0.0
	60歳代以上	136 100.0	24 17.6	28 20.6	13 9.6	5 3.7	3 2.2	60 44.1	3 2.2
就学・就労	市内の学校に通学(高校、大学、専門学校等を含む)	12 100.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
	市外の学校に通学(同上)	31 100.0	7 22.6	3 9.7	6 19.4	1 3.2	4 12.9	10 32.3	0 0.0
	市内で働いている(会社、パート・契約、自営等を含む)	90 100.0	6 6.7	15 16.7	9 10.0	6 6.7	7 7.8	45 50.0	2 2.2
	市外で働いている(同上)	128 100.0	16 12.5	17 13.3	15 11.7	9 7.0	11 8.6	59 46.1	1 0.8
	上記以外(家事専業、働いていない等を含む)	125 100.0	20 16.0	30 24.0	10 8.0	0 0.0	6 4.8	59 47.2	0 0.0

問11 今後（現在運動やスポーツをしている方は、今後も）運動やスポーツをしたいと思えますか。
（1つに ）

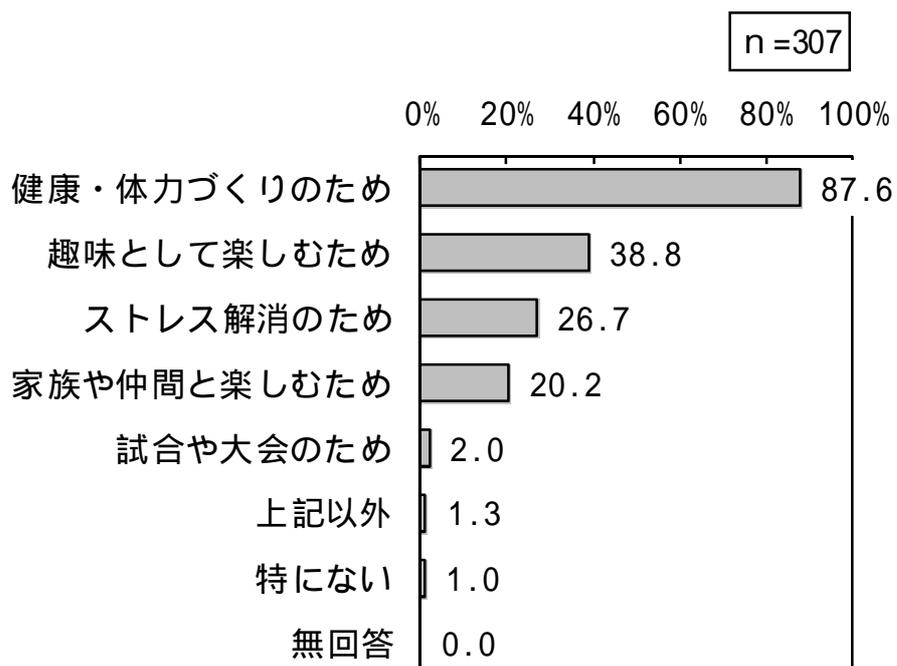
今後、運動・スポーツをしたいかは、「したい」82.5%、「したくない」11.3%



問 11 付問 問 11 で「したい」と答えた方への質問です。

運動やスポーツをしたい理由を教えてください。（主なもの2つまで ）

今後、運動・スポーツをしたい方の、運動・スポーツをしたい理由は、「健康・体力づくりのため」87.6%が最も多く、次いで「趣味として楽しむため」38.8%、「ストレス解消のため」26.7%と続く。



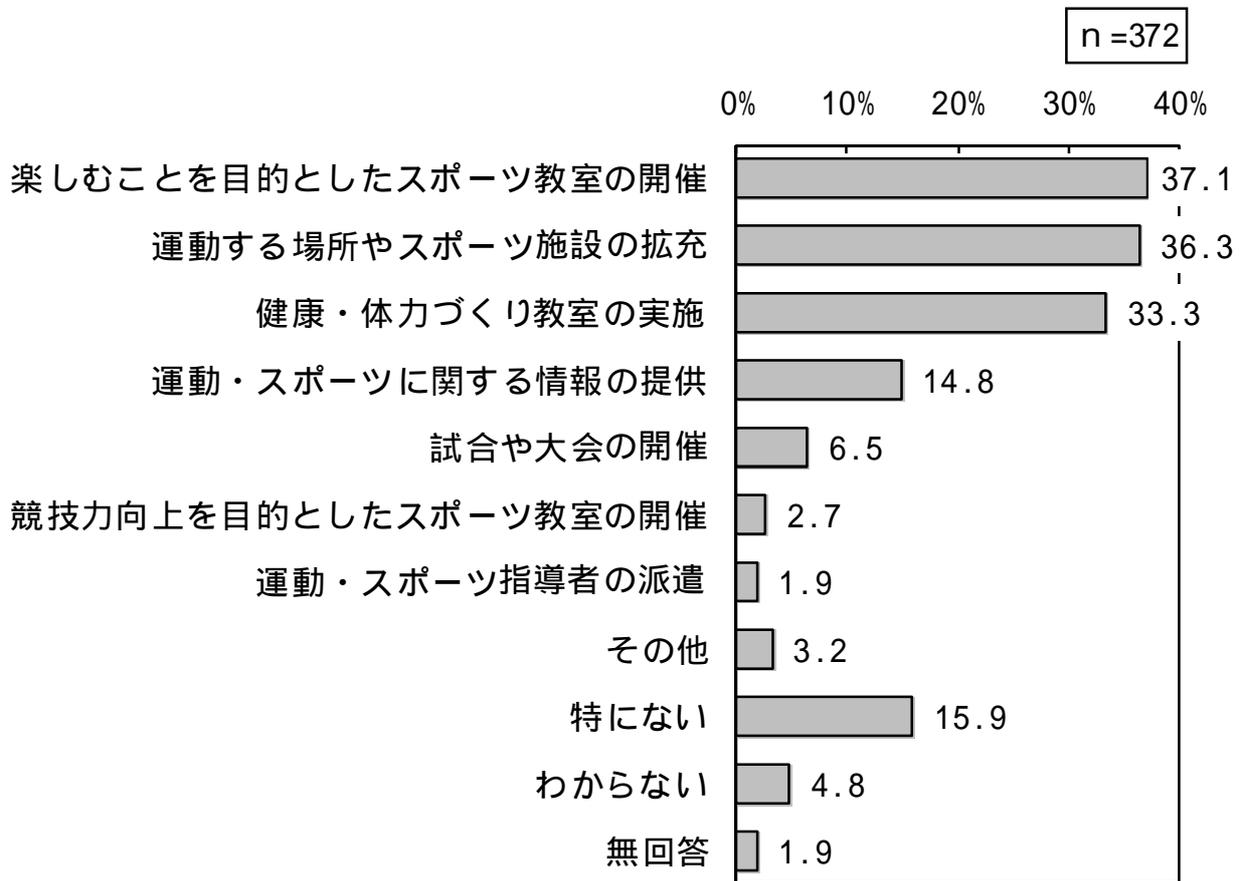
【 8 . 市民】

(全体結果と異なる区分のみ掲載)

上段：人数（人） 下段：割合（％） 太字数値は、各区分の第1位		合計	健康・体力づくりのため	ストレス解消のため	趣味として楽しむため	家族や仲間と楽しむため	試合や大会のため	上記以外	特にない	無回答
全体		307 100.0	269 87.6	82 26.7	119 38.8	62 20.2	6 2.0	4 1.3	3 1.0	0 0.0
年齢	10歳代	13 100.0	7 53.8	2 15.4	9 69.2	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	35 100.0	27 77.1	11 31.4	17 48.6	9 25.7	1 2.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0
	30歳代	49 100.0	42 85.7	13 26.5	16 32.7	18 36.7	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代	53 100.0	52 98.1	19 35.8	16 30.2	10 18.9	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50歳代	48 100.0	42 87.5	16 33.3	17 35.4	4 8.3	1 2.1	0 0.0	2 4.2	0 0.0
	60歳代以上	109 100.0	99 90.8	21 19.3	44 40.4	20 18.3	2 1.8	3 2.8	1 0.9	0 0.0

問12 市に期待するスポーツに関する取り組みはありますか。（主なもの2つまでに ）

スポーツに関する取り組みで、市に期待することは、「楽しむことを目的としたスポーツ教室の開催」37.1%が最も多く、次いで「運動する場所やスポーツ施設の拡充」36.3%、「健康・体力づくり教室の実施」33.3%と続く。



上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	健康・体力づくり 教室の実施	楽しむことを目的とした スポーツ教室の開催	競技力向上を目的とした スポーツ教室の開催	試合や大会の開催	運動する場所や スポーツ施設の拡充	運動・スポーツに関する 情報の提供	運動・スポーツ指導者 の派遣	その他	特にない	わからない	無回答
全体		372 100.0	124 33.3	138 37.1	10 2.7	24 6.5	135 36.3	55 14.8	7 1.9	12 3.2	59 15.9	18 4.8	7 1.9
性別	男性	148 100.0	46 31.1	50 33.8	5 3.4	15 10.1	57 38.5	21 14.2	3 2.0	6 4.1	26 17.6	7 4.7	0 0.0
	女性	222 100.0	78 35.1	88 39.6	5 2.3	9 4.1	77 34.7	34 15.3	4 1.8	6 2.7	33 14.9	11 5.0	6 2.7

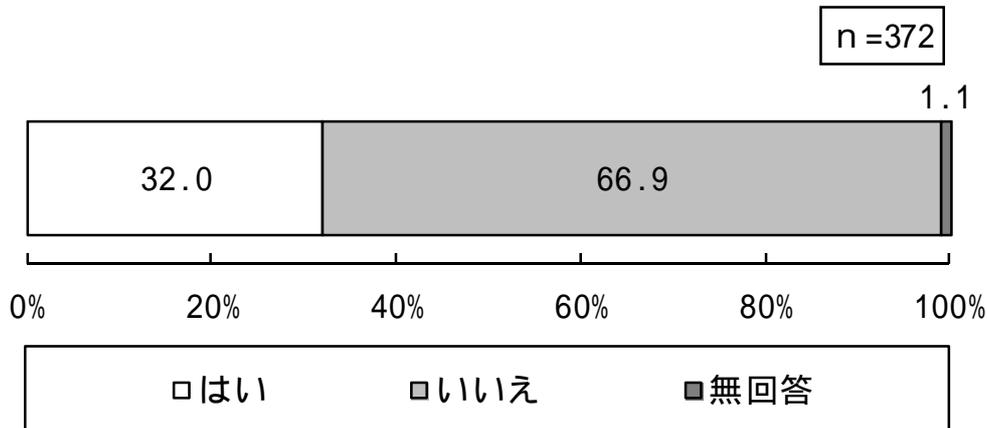
【 8 . 市民】

上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	健康・体力づくり 教室の実施	楽しむことを目的とした スポーツ教室の開催	競技力向上を目的とした スポーツ教室の開催	試合や大会の開催	運動する場所や スポーツ施設の拡充	運動・スポーツに関する 情報の提供	運動・スポーツ指導者 の派遣	その他	特にない	わからない	無回答
太字数値は、各区分の第1位													
年齢	10歳代	14 100.0	1 7.1	3 21.4	0 0.0	3 21.4	5 35.7	2 14.3	1 7.1	1 7.1	3 21.4	1 7.1	0 0.0
	20歳代	40 100.0	8 20.0	15 37.5	2 5.0	7 17.5	19 47.5	11 27.5	1 2.5	1 2.5	5 12.5	0 0.0	0 0.0
	30歳代	57 100.0	15 26.3	24 42.1	4 7.0	1 1.8	22 38.6	11 19.3	0 0.0	3 5.3	7 12.3	3 5.3	1 1.8
	40歳代	62 100.0	22 35.5	21 33.9	1 1.6	4 6.5	26 41.9	9 14.5	0 0.0	3 4.8	10 16.1	3 4.8	0 0.0
	50歳代	62 100.0	30 48.4	24 38.7	0 0.0	3 4.8	20 32.3	7 11.3	0 0.0	0 0.0	8 12.9	6 9.7	2 3.2
	60歳代以上	136 100.0	48 35.3	51 37.5	3 2.2	6 4.4	43 31.6	15 11.0	5 3.7	4 2.9	26 19.1	5 3.7	3 2.2
子ども有 無	就学前の子どもがいる	50 100.0	11 22.0	25 50.0	2 4.0	3 6.0	21 42.0	8 16.0	1 2.0	3 6.0	3 6.0	4 8.0	0 0.0
	小学生の子どもがいる	32 100.0	10 31.3	15 46.9	0 0.0	0 0.0	13 40.6	6 18.8	0 0.0	1 3.1	4 12.5	0 0.0	0 0.0
	中学生の子どもがいる	14 100.0	8 57.1	6 42.9	0 0.0	1 7.1	7 50.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	全員が高校生以上	161 100.0	61 37.9	59 36.6	3 1.9	8 5.0	60 37.3	14 8.7	5 3.1	1 0.6	27 16.8	10 6.2	4 2.5
	子どもはいない	126 100.0	39 31.0	42 33.3	5 4.0	11 8.7	40 31.7	28 22.2	1 0.8	6 4.8	23 18.3	4 3.2	2 1.6
居住校区 (3区分)	中宇治地域	96 100.0	36 37.5	26 27.1	6 6.3	8 8.3	36 37.5	13 13.5	3 3.1	6 6.3	11 11.5	5 5.2	2 2.1
	西宇治地域	129 100.0	37 28.7	55 42.6	0 0.0	8 6.2	48 37.2	20 15.5	2 1.6	2 1.6	22 17.1	5 3.9	2 1.6
	東宇治地域	125 100.0	46 36.8	47 37.6	3 2.4	7 5.6	43 34.4	16 12.8	2 1.6	3 2.4	21 16.8	8 6.4	2 1.6
	わからない	15 100.0	3 20.0	8 53.3	1 6.7	1 6.7	7 46.7	6 40.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0
就学・就労	市内の学校に通学	12 100.0	3 25.0	5 41.7	0 0.0	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	市外の学校に通学	31 100.0	12 38.7	9 29.0	0 0.0	5 16.1	10 32.3	6 19.4	0 0.0	1 3.2	6 19.4	1 3.2	1 3.2
	市内で働いている	90 100.0	28 31.1	39 43.3	1 1.1	4 4.4	27 30.0	13 14.4	1 1.1	1 1.1	15 16.7	7 7.8	1 1.1
	市外で働いている	128 100.0	51 39.8	45 35.2	5 3.9	5 3.9	57 44.5	18 14.1	3 2.3	4 3.1	17 13.3	4 3.1	2 1.6
	上記以外	125 100.0	41 32.8	47 37.6	4 3.2	7 5.6	42 33.6	16 12.8	2 1.6	5 4.0	22 17.6	6 4.8	3 2.4
休日の過ごし方	市内にすることが多い	192 100.0	67 34.9	72 37.5	4 2.1	11 5.7	66 34.4	24 12.5	6 3.1	6 3.1	36 18.8	8 4.2	2 1.0
	市外にすることが多い	55 100.0	17 30.9	19 34.5	3 5.5	6 10.9	23 41.8	13 23.6	0 0.0	3 5.5	4 7.3	3 5.5	0 0.0
	特に決まっていない	116 100.0	37 31.9	46 39.7	3 2.6	6 5.2	42 36.2	16 13.8	1 0.9	3 2.6	19 16.4	5 4.3	4 3.4

8 - 5 . 家庭・学校・地域との連携について

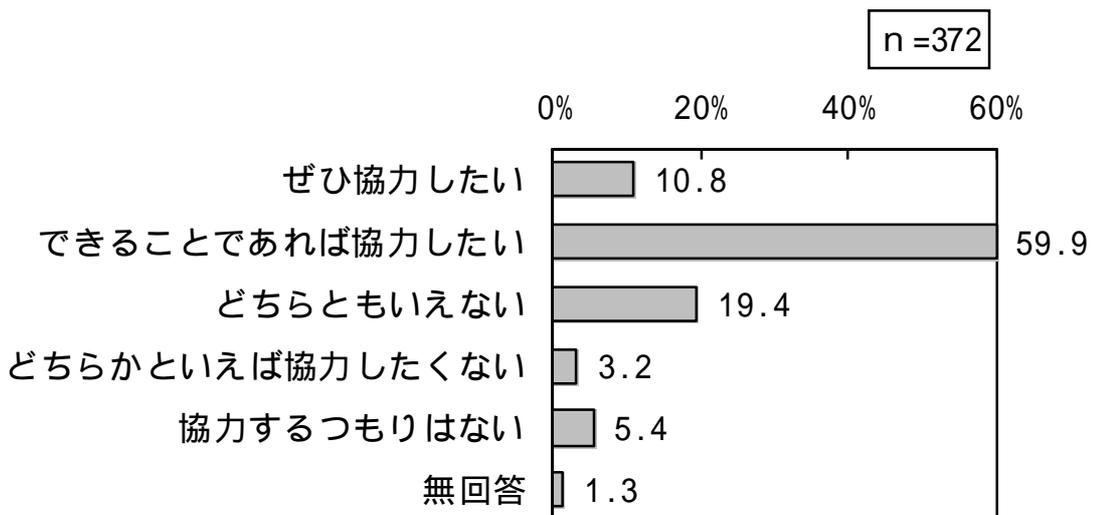
問13 あなたは、宇治市の小・中学校の卒業生ですか。（1つに ）

宇治市の小・中学校の卒業生かどうかは、「いいえ」66.9%、「はい」32.0%。



問14 市では、家庭や学校はもとより、地域や周囲の大人も一緒になって子どもを見守り、次代を担う大人に育てる環境づくりを進めています。あなたはこの取り組みに協力していただけますか。（1つに ）

市が進めている、子どもを育てる環境づくりへの取り組みの協力について、「できることであれば協力したい」59.9%が最も多く、次いで「どちらともいえない」19.4%、「ぜひ協力したい」10.8%と続く。

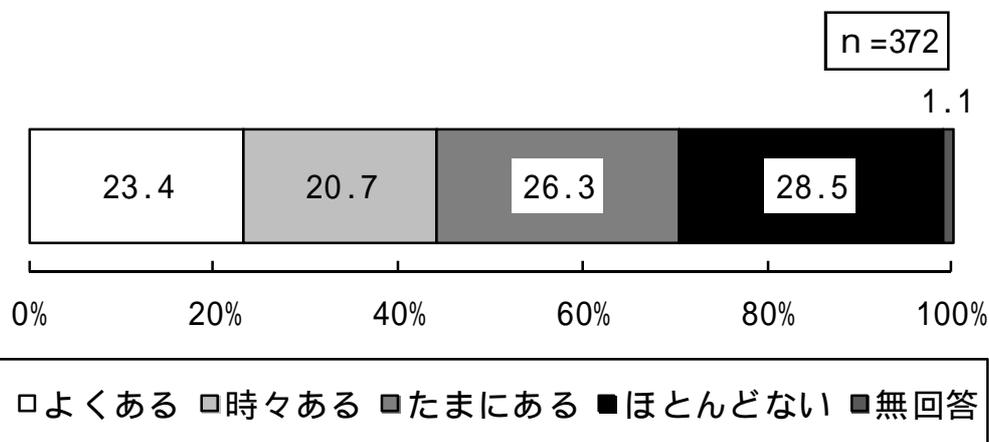


上記の協力意向を、宇治市の小・中学校の卒業生か否か（問13）でみた結果、全体結果と概ね同様であった（両者に差はみられなかった）。

【 8 . 市民】

問15 隣近所の子どもと話したり、挨拶したりすることがありますか。(1つに)

隣近所の子どもとの会話・挨拶について、「ほとんどない」28.5%が最も多く、次いで「たまにある」26.3%、「よくある」23.4%と続く。



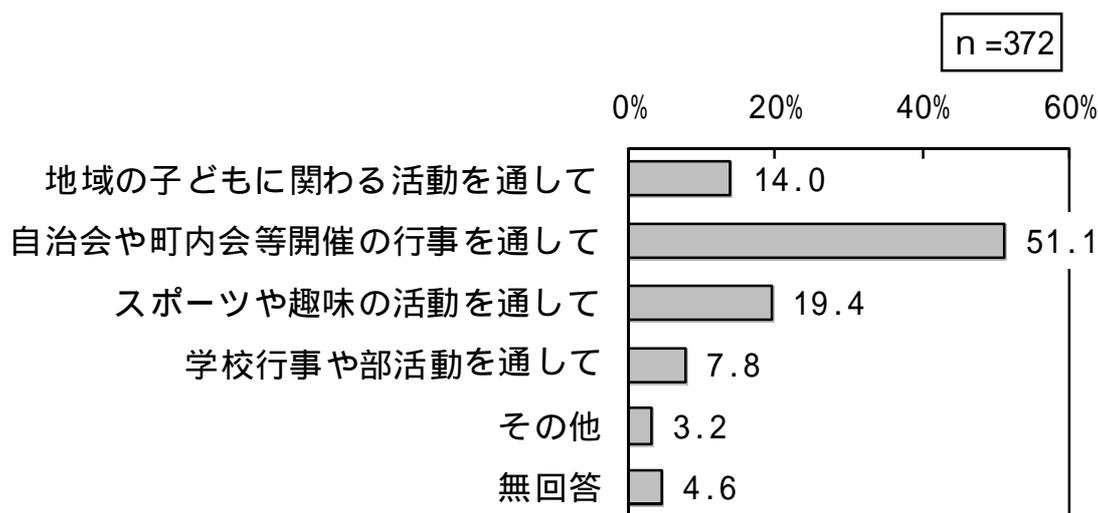
上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	よくある	時々ある	たまにある	ほとんどない	無回答
太字数値は、各区分の第1位							
全体		372 100.0	87 23.4	77 20.7	98 26.3	106 28.5	4 1.1
性別	男性	148 100.0	25 16.9	28 18.9	42 28.4	53 35.8	0 0.0
	女性	222 100.0	62 27.9	49 22.1	56 25.2	52 23.4	3 1.4
年齢	10歳代	14 100.0	5 35.7	4 28.6	1 7.1	4 28.6	0 0.0
	20歳代	40 100.0	4 10.0	7 17.5	9 22.5	20 50.0	0 0.0
	30歳代	57 100.0	22 38.6	12 21.1	10 17.5	13 22.8	0 0.0
	40歳代	62 100.0	9 14.5	14 22.6	20 32.3	19 30.6	0 0.0
	50歳代	62 100.0	12 19.4	10 16.1	21 33.9	18 29.0	1 1.6
	60歳代以上	136 100.0	35 25.7	30 22.1	37 27.2	32 23.5	2 1.5
子ども有無	就学前の子どもがいる	50 100.0	21 42.0	15 30.0	10 20.0	4 8.0	0 0.0
	小学生の子どもがいる	32 100.0	13 40.6	9 28.1	7 21.9	3 9.4	0 0.0
	中学生の子どもがいる	14 100.0	5 35.7	3 21.4	6 42.9	0 0.0	0 0.0
	全員が高校生以上	161 100.0	34 21.1	34 21.1	44 27.3	47 29.2	2 1.2
	子どもはいない	126 100.0	22 17.5	19 15.1	33 26.2	51 40.5	1 0.8

【 8 . 市民】

上段：人数（人） 下段：割合（％）		合計	よくある	時々ある	たまにある	ほとんどない	無回答
太字数値は、各区分の第1位							
居住校区 (3区分)	中宇治地域	96 100.0	23 24.0	20 20.8	26 27.1	26 27.1	1 1.0
	西宇治地域	129 100.0	30 23.3	31 24.0	36 27.9	31 24.0	1 0.8
	東宇治地域	125 100.0	33 26.4	21 16.8	29 23.2	41 32.8	1 0.8
	わからない	15 100.0	1 6.7	3 20.0	4 26.7	7 46.7	0 0.0
就学・就労	市内の学校に通学（高校、大学、専門学校等を含む）	12 100.0	5 41.7	2 16.7	2 16.7	3 25.0	0 0.0
	市外の学校に通学（同上）	31 100.0	6 19.4	8 25.8	5 16.1	12 38.7	0 0.0
	市内で働いている（会社、パート・契約、自営等を含む）	90 100.0	20 22.2	18 20.0	28 31.1	24 26.7	0 0.0
	市外で働いている（同上）	128 100.0	20 15.6	25 19.5	32 25.0	50 39.1	1 0.8
	上記以外（家事専業、働いていない等を含む）	125 100.0	39 31.2	29 23.2	34 27.2	21 16.8	2 1.6
休日の過ごし方	どちらかという、市内にすることが多い	192 100.0	40 20.8	45 23.4	54 28.1	52 27.1	1 0.5
	どちらかという、市外にすることが多い	55 100.0	12 21.8	15 27.3	17 30.9	11 20.0	0 0.0
	特に決まっていない・どちらともいえない	116 100.0	31 26.7	16 13.8	26 22.4	41 35.3	2 1.7

問16 子どもと地域の大人が関わりを持つきっかけとして、どのような方法が最もよいと思いますか。
(1つに)

子どもと地域の大人が関わりを持つきっかけとして、最良だと思える方法は、「自治会や町内会等開催の行事を通して」51.1%が最も多く、次いで「スポーツや趣味の活動を通して」19.4%、「地域の子どもに関わる活動を通して」14.0%と続く。



(全体結果と異なる区分のみ掲載)

上段：人数(人) 下段：割合(%)		合計	地域の子どもに関わる活動を通して	自治会や町内会等開催の行事を通して	スポーツや趣味の活動を通して	学校行事や部活動を通して	その他	無回答
太字数値は、各区分の第1位								
全体		372 100.0	52 14.0	190 51.1	72 19.4	29 7.8	12 3.2	17 4.6
就学・就労	市内の学校に通学(高校、大学、専門学校等を含む)	12 100.0	1 8.3	4 33.3	5 41.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0
	市外の学校に通学(同上)	31 100.0	5 16.1	14 45.2	9 29.0	3 9.7	0 0.0	0 0.0
	市内で働いている(会社、パート・契約、自営等を含む)	90 100.0	16 17.8	48 53.3	12 13.3	8 8.9	2 2.2	4 4.4
	市外で働いている(同上)	128 100.0	19 14.8	57 44.5	32 25.0	13 10.2	2 1.6	5 3.9
	上記以外(家事専業、働いていない等を含む)	125 100.0	13 10.4	74 59.2	16 12.8	6 4.8	8 6.4	8 6.4

【 8 . 市民】

問17 子どもたちの成長・発達のための、家庭及び保護者・学校・地域の役割分担について、項目毎に最も重要な役割と思うものに「1」を、次いで重要な役割に「2」をつけて下さい。

<p>ケース1 子どもたちの成長・発達において、「学校」が最も重要な役割を担い、次に「家庭」が重要な役割を担う項目</p>	<p>ア 学力の基礎・基本を身につける キ 運動能力や体力を向上させる サ 他国の文化を大切にすることを育てる</p>
<p>ケース2 子どもたちの成長・発達において、「家庭」が最も重要な役割を担い、次に「学校」が重要であるとする項目</p>	<p>イ 社会のマナーやルールを教える ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる エ いじめを決して許さない態度を育てる カ 自発的に行動する意欲を育てる ク 生まれ育った地域を愛することを育てる ケ 自然を大切にすることを育てる コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける</p>
<p>ケース3 子どもたちの成長・発達において、「学校」と「家庭」が同等に最も重要な役割を担う項目 ポイント差+-10%以内</p>	<p>オ 良好な人間関係をつくる力を育てる</p>

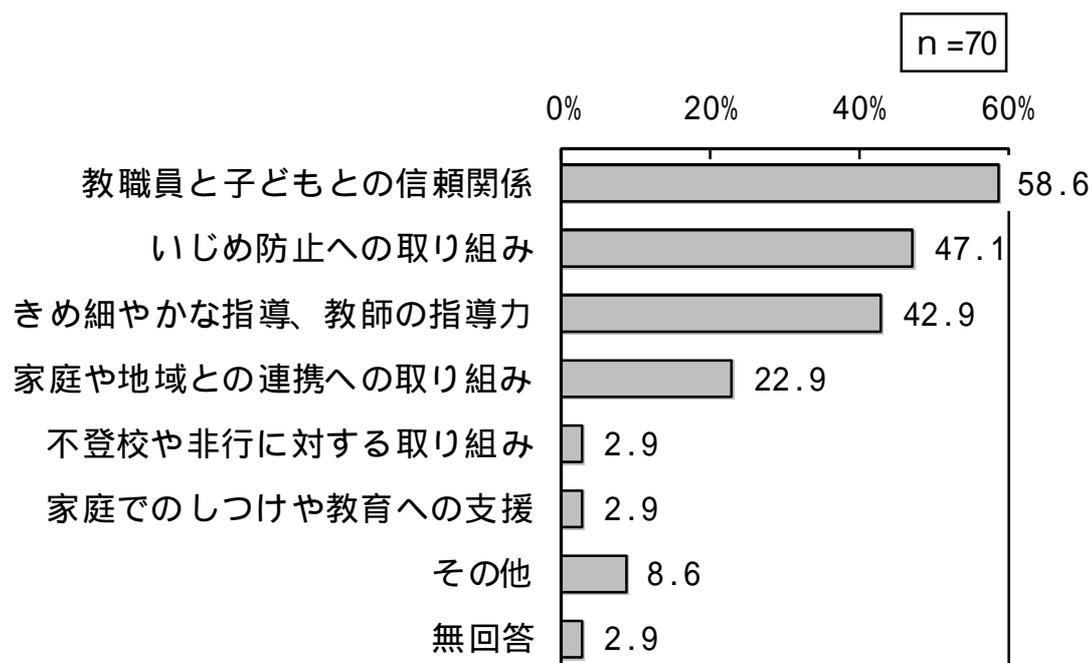
(上段：人数 下段：割合)

	合計	【最も重要な役割】				【次いで重要な役割】			
		家庭・保護者	学校	地域	無回答	家庭・保護者	学校	地域	無回答
<p>網掛けは最重要、重要それぞれの第1位</p>									
ア 学力の基礎・基本を身につける	372 100.0	38 10.2	307 82.5	1 0.3	26 7.0	282 75.8	38 10.2	8 2.2	44 11.8
イ 社会のマナーやルールを教える	372 100.0	299 80.4	43 11.6	8 2.2	22 5.9	41 11.0	249 66.9	45 12.1	37 9.9
ウ 思いやりや他人を大切にすることを育てる	372 100.0	307 82.5	46 12.4	2 0.5	17 4.6	37 9.9	263 70.7	33 8.9	39 10.5
エ いじめを決して許さない態度を育てる	372 100.0	200 53.8	141 37.9	6 1.6	25 6.7	117 31.5	183 49.2	30 8.1	42 11.3
オ 良好な人間関係をつくる力を育てる	372 100.0	160 43.0	169 45.4	15 4.0	28 7.5	131 35.2	150 40.3	52 14.0	39 10.5
カ 自発的に行動する意欲を育てる	372 100.0	200 53.8	132 35.5	13 3.5	27 7.3	106 28.5	194 52.2	32 8.6	40 10.8
キ 運動能力や体力を向上させる	372 100.0	46 12.4	272 73.1	23 6.2	31 8.3	194 52.2	65 17.5	72 19.4	41 11.0
ク 生まれ育った地域を愛することを育てる	372 100.0	165 44.4	103 27.7	78 21.0	26 7.0	95 25.5	134 36.0	101 27.2	42 11.3
ケ 自然を大切にすることを育てる	372 100.0	256 68.8	59 15.9	31 8.3	26 7.0	55 14.8	214 57.5	59 15.9	44 11.8
コ 規則正しい生活習慣、食生活を身につける	372 100.0	328 88.2	18 4.8	0 0.0	26 7.0	18 4.8	304 81.7	10 2.7	40 10.8
サ 他国の文化を大切にすることを育てる	372 100.0	100 26.9	222 59.7	21 5.6	29 7.8	162 43.5	101 27.2	67 18.0	42 11.3

問18 就学前の子ども、または小学生の子どもがいる保護者の方のみお答えください。

お子さんが進学する学校には、学力以外でどのようなことを望みますか。(主なもの2つまで)

就学前の子ども、または小学生の子どもがいる保護者の方のうち、子どもが進学する学校に学力以外で望むことは、「教職員と子どもとの信頼関係」58.6%が最も多く、次いで「いじめ防止への取り組み」47.1%、「きめ細やかな指導、教師の指導力」42.9%と続く。

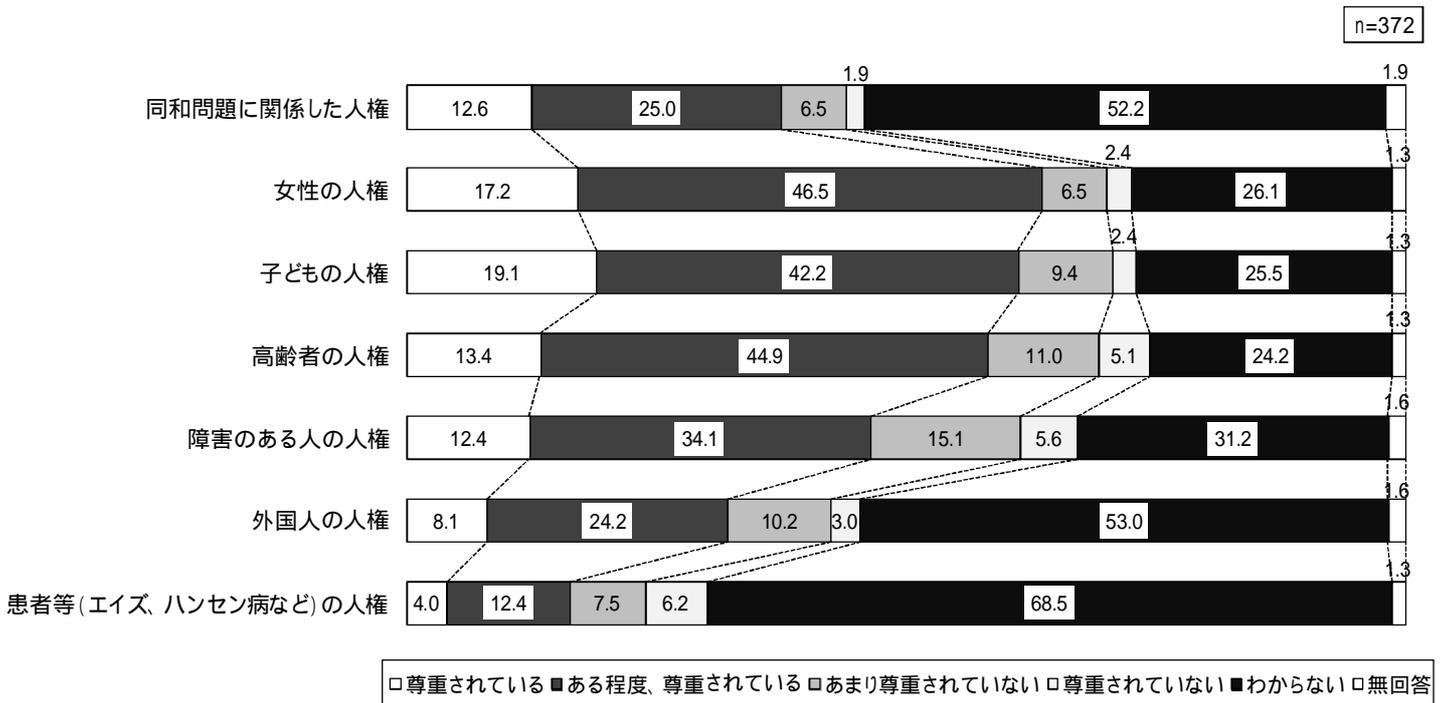


8 - 6 . 人権について

問19 あなたは、次にあげた人権が市内で尊重されていると思いますか。ア～キの各項目ではまる番号を選んで下さい。（それぞれ1つに ）

市内で尊重されていると思う人権のうち、尊重されている割合が50%を超える（「尊重されている」+「ある程度、尊重されている」）のは、『女性の人権』『子どもの人権』『高齢者の人権』である。

「尊重されている」割合が少ない『患者等（エイズ、ハンセン病など）の人権』『外国人の人権』『同和問題に関係した人権』では、「わからない」割合が50%を超える。



問19 付問 問19のいずれかの項目で「あまり尊重されていない」又は「尊重されていない」と答えた方への質問です。
よろしければ、どのような時にそう感じたのかを教えてください。（自由記入）

（複数意見の要約記載）

バリアフリー化されていない施設を利用する時
 整備が不十分な道路を利用する時
 高齢や障害で制度を利用する時や入院する時
 居住地区の話になった時 など

8 - 7 . 宇治市の教育行政への意見・提案

問20 今後の市の教育行政に対するご意見・ご提案がありましたら、ぜひ、お聴かせ下さい。（自由記入）

（複数意見の要約記載）

施設・設備の改良への要望（老朽化対策、整備不良、面積拡張など）

小中一貫教育に対する意見（推進賛成、検証必要、周知不足など）

市教育委員会、学校、教員への叱咤激励

家庭教育力の低下、親の役割の再確認

学校の学習内容の充実（外国語教育、郷土への愛着など）

いじめや体罰の根絶

安全な登下校の環境づくり

中学校での給食の実施

子どもの医療費助成の拡充 など